

望ましい人間関係を 形成する特別活動



小学校第2学年において内容相互の
関連及び学級活動の内容間の関連や
統合を図った事例集

小学校第2学年において特別活動の内容相互の関連及び学級活動の内容間の関連や統合を図った事例集

【もくじ】

1 はじめに

2 全体計画及び各活動・学校行事の年間指導計画

- (1) 特別活動全体計画（鹿嶋市立波野小学校）
- (2) 学級活動年間指導計画（全学年一覧）
- (3) 第2学年学級活動年間指導計画
- (4) 児童会活動全体計画
 - 代表委員会年間指導計画
 - 委員会活動年間指導計画（例：放送委員会）
 - 児童集会年間計画
- (5) クラブ活動全体計画
 - クラブ活動年間指導計画（例：卓球クラブ）
- (6) 学校行事全体計画
 - 学校行事年間指導計画

資料1 学級会ってどんなこと？

資料2 学級会の進め方（低学年用）

3 関連プログラム

- (1) プログラムを活用するために
- (2) プログラムの事例

①学級活動と児童会活動の関連

- プログラム1 学級活動（1）「6年生とおいもパーティーをしよう」
児童会活動（2）「なかよし友達集会（全校児童集会）」
- プログラム2 学級活動（2）「教室をきれいに」
児童会活動（2）「縦割り班校内清掃」
- プログラム3 学級活動（2）「たのしい給食」
児童会活動（2）「縦割り班交流給食」

②学級活動と学校行事

- プログラム4 学級活動（2）「持久走大会に向けて」
学校行事（3）「持久走大会」
- プログラム5 学級活動（2）「縄跳び大会に向けて」
学校行事（3）「縄跳び大会」
- プログラム6 学級活動（2）「安全・安心な帰り道」
学校行事（3）「避難訓練」

③学級活動、児童会活動及び学校行事の関連

- プログラム7 学級活動（1）（2）児童会活動（3）「波野っ子フェスタを成功させよう」
学校行事（2）「波野っ子フェスタ」

④学級活動の内容間の関連や統合

- プログラム8 学級活動（2）「気持ちのいい挨拶」
学級活動（1）「気持ちのいい挨拶を広げよう」
- プログラム9 学級活動（1）「係を決めよう」
学級活動（2）「係の仕事」

1 はじめに

昨今、社会状況の変化を背景に、生活体験の不足や人間関係の希薄化、集団のために働く意欲や生活上の諸問題を話し合っ解決する力の不足など好ましい人間関係を築けないことや望ましい集団活動を通じた社会性の育成が不十分であることが課題となっています。また、特別活動においては、指導計画の作成やその活用が不十分であったり、必ずしも全教職員の共通理解の下に組織的に取り組まれていなかったりするなどにより、各学級や学校で扱う内容や指導の方法に相違が生まれ、子どもたちの資質や能力の育成に十分つながっていないことも指摘されています。そこで、特別活動において教師の共通理解を図り、望ましい人間関係の形成を目指して「関連プログラム」などを作成しました。

本事例集では、児童が望ましい人間関係を形成するための助言や支援の仕方などを示してありますので、学校や児童の実態に応じて、本事例集をご活用ください。

鹿嶋市立波野小学校 宮内 裕子



平成26年度 特別活動 全体計画

○日本国憲法 ○教育基本法 ○学校教育法 ○学習指導要領 ○小学校教育課程編成の手引き ○その他の法令等	学校の教育目標 学習や生活の基本を身に付け、 主体的に取り組む 健康で心豊かな児童の育成	目指す児童像 ○よく学び、よく考え、進んで学習する子 ○礼儀正しく、決まりを守る子 ○思いやりをもち、仲良くできる子 ○健康で粘り強く取り組むたくましい子
---	---	---

その他の教育活動 ○朝の会や帰りの会(生活指導、話し合い) ○業間運動(火・木曜日業間活動) ○縦割り班活動(縦割り班遊び、縦割り班清掃) ○縦割り給食 ○当番活動(日直、給食、清掃、その他) ○ロング屋休み ○グループ活動 ○地域との関連 ○教育相談等	外国語活動 ○コミュニケーション能力の育成 ○異なる文化の人々との交流等	総合的な学習の時間 ○自然体験、社会体験の重視 ・宿泊学習での体験 地学習 ・幼稚園での体験学習 ・成田空港での体験学習 等 ○問題の解決や探究活動に主体的	特別活動 目標 望ましい集団生活を通して、心身の調和のとれた発達と個性の伸長を図り、集団の一員としてよりよい生活や人間関係を築こうとする自主的、実践的な態度を育てるとともに、自己の生き方についての考えを深め、自己を生かす能力を養う。 重点目標 相手の立場を理解し、協力し、助け合うなど望ましい人間関係を形成し、一人一人が存在感や所属感を持ち、よりよい学校生活を築き上げていく自主的、実践的な態度を養う。 重点目標を達成するために全校で取り組むこと ○学級目標を具現化する系統的な話し合い活動の指導(組織・進め方)の充実 ○異年齢集団による交流活動の充実 ○学級活動・児童会活動コーナーの設置 ○学校行事等の写真、特別活動の足跡の掲示	道徳 ◎自立心や自律性、生命を尊重し、豊かな心をはぐくむ。 (主として他の人とのかわりに関すること) 【低】友達と仲よくし、助け合う 【中】友達と互いに理解し、信頼し、助け合う	各教科 ○言語活動、伝統文化体験的な活動の重視	生徒指導 ○児童の生活や学習の望ましい習慣化を図るとともに、助け合い高め合うことのできる豊かな心を育てる。
--	--	---	--	--	----------------------------	--

学級活動 学級活動を通して、望ましい人間関係を形成し、集団の一員として学級や学校におけるよりよい生活づくりに参画し、諸問題を解決しようとする自主的、実践的な態度や健全な生活態度を育てる。 [指導の方針] ○自らよりよい生活を築くために合意形成をする話し合い 活動や自分たちでルールをつくって守る活動、 1学年：3・4時間 2～6年：3・5時間	児童会活動 児童会活動を通して、望ましい人間関係を形成し、集団の一員としてよりよい学校生活づくりに参画し、協力して諸問題を解決しようとする自主的、実践的な態度を育てる。 [指導の方針] ○よりよい学校生活を主体的に築くための話し合い活動や集団への寄与など 1～3学年：10時間 4学年：15時間 5・6学年：35時間	クラブ活動 クラブ活動を通して、望ましい人間関係を形成し、個性の伸長を図り、集団の一員として望ましいクラブづくりに参画しようとする自主的、実践的な態度を育てる。 [指導の方針] ○個性を伸長し、楽しい学校生活や人間関係を築く態度の形成を重視す 4～6学年：1・5時間程度	学校行事 学校行事を通して、望ましい人間関係を形成し、集団への所属感を深め、公共の精神を養い、協力してよりよい学校生活を築こうとする自主的、実践的な態度を育てる。 [指導の方針] ○学校への所属感や連帯意識を深め、共同の意義、自然や文化の大切さを実感できる体験活動を重視す 1学年：4・3時間 2学年：4・1・5時間 3学年：5・4・5時間
--	--	---	--

学年(1)(2) 第一学年 16時間 第二学年 17時間 第三学年 20時間 第四学年 20時間 第五学年 23時間 第六学年 23時間	学級活動の内容 学級を単位として、仲良く助け合い学級生活を楽しくするとともに、日常生活や学習に意欲的に取り組もうとする態度の育成に資する活動を行うこと。 (1)学級や学校の生活づくり ア 学級や学校における生活上の諸問題の解決 イ 学級内の組織づくりや仕事の分担処理 ウ 学校における多様な集団生活の向上 (2) 日常生活や学習への適応及び健康安全 ア 希望や目標をもって生きる態度の育成 イ 基本的な生活習慣の形成 ウ 望ましい人間関係の形成 エ 清掃などの当番活動等の役割と働くことの意味の理解 オ 学校図書館の利用 カ 心身ともに健康で安全な生活態度の形成 キ 食育の観点から健康な食生活と上手い食生活	児童会活動の内容 学校の全児童をもって組織する児童会において、学校生活の充実と向上を図る活動。 学年 児童会の計画・運営 代表委員会 異年齢による交流 第一学年 1年生を迎える会 第二学年 波野っ子フェスタ 第三学年 6年生を送る会 第四学年 毎月第4水曜日6校時児童会計審判委員が進行 学級代表2人、各委員委員長1人が参加 必要に応じて、提案者、クラブ長、通学路美化活動 第五学年 毎月第()曜日(話し合い)等 第六学年 毎月第()曜日(話し合い)等 通学路美化活動 持久走大会 縄跳び大会	クラブ活動の内容 学年や学級を離れ、第4学年以上の同好の児童をもって組織するクラブにおいて、異年齢集団の交流を深め、共通の興味関心を追求する活動。 学年 クラブの計画・運営 第一学年 第一学年 第一学年 第一学年 第二学年 第二学年 第二学年 第二学年 第三学年 第三学年 第三学年 第三学年 第四学年 第四学年 第四学年 第四学年 第五学年 第五学年 第五学年 第五学年 第六学年 第六学年 第六学年 第六学年 ※波野っ子フェスタ、児童朝会において、クラブ活動の発表会を実施	学校行事の内容 ○学校生活に有意義な変化や折り返しを付け、厳粛で新鮮な気分を味わい、新しい生活への展開への動機付けとなるような活動。 ○平素の学習活動の成果を発表し、その向上の意欲を一層高め、文化や芸術に親しむ態度の育成、責任感や連帯感の涵養、体力の向上などに資するような活動。 ○心身の健全な発達や健康の保持増進などに関する生活環境にあって、児童や文化などに親しむとともに、人間関係の集団生活の在り方や卒業進路などについての望ましい体験を積むことのできる活動。 ○自然の中で活動する児童の健全な生活環境にあって、児童や文化などに親しむとともに、人間関係の集団生活の在り方や卒業進路などについての望ましい体験を積むことのできる活動。 ○勤労の貴さや生産の喜びを体得するとともに、ボランティア活動などの社会奉仕の精神を養う体験が得られるような活動。 学年 儀式(1) 的行事 第一学年 7.5時間 第二学年 8時間 第三学年 8時間 第四学年 8時間 第五学年 8時間 第六学年 7.5時間 文化(2) 的行事 4時間 健康安全(3) 的行事 22.5時間 遠足・集団宿泊(4) 的行事 5時間 勤労生活・奉仕(5) 的行事 4時間 20.5時間 5時間 26.5時間 6時間 20.5時間 12時間 26.5時間 6時間 26.5時間 12時間 4時間
--	---	--	---	---

対象 ○指導計画、指導方法及び活動や展開の過程 ○集団の変容 ○個人の変容等	評価 ○いつ、どこで(時期、段階) ○だれが(主体) ○何を(対象・内容) ○どのようにして(方法) ○何のために(結果の活用目的) ○評価方法…児童による自己評価、児童による相互評価、教師による観察法等
---	--

【学級活動の目標】

学級活動を通して、望ましい人間関係を形成し、集団の一員として学級や学校におけるよりよい生活づくりに参画し、諸問題を解決しようとする自主的、実践的な態度や健全な生活態度を育てる。

【学級活動の内容】

〔第1学年及び第2学年〕学級を単位として、仲よく助け合い学級生活を楽しくするとともに、日常生活や学習に進んで取り組もうとする態度の育成に資する活動を行うこと。

〔第3学年及び第4学年〕学級を単位として、協力し合って楽しい学級活動をつくるとともに、日常生活や学習に意欲的に取り組もうとする態度の育成に資する活動を行うこと。

〔第5学年及び第6学年〕学級を単位として、信頼し支え合って楽しく豊かな学級や学校の生活をつくるとともに、日常の生活や学習に自主的に取り組もうとする態度の向上に資する活動を行うこと。

〔共通事項〕（1）学級や学校の生活づくり

- ア 学級や学校における生活上の諸問題の解決
- イ 学級内の組織づくりや仕事の分担処理
- ウ 学校における多様な集団の生活の向上

〔共通事項〕（2）日常の生活や学習への適応及び健康安全

- ア 希望や目標をもって生きる態度の形成
- イ 基本的な生活習慣の形成
- ウ 望ましい人間関係の形成
- エ 清掃などの当番活動等の役割と働くことの意義の理解
- オ 学校図書館の利用
- カ 心身ともに健康で安全な生活態度の形成
- キ 食育の観点を踏まえた学校給食と望ましい食習慣の形成

【第1学期】

白抜き丸数字 (①など) は、予定時数 黒抜き丸数字 (❶, ❷) 学級活動の内容間の関連 ㊦ 児童会との関連 ㊧ クラブ活動との関連 ㊨ 学校行事との関連

月	第1学年		第2学年		第3学年		第4学年		第5学年		第6学年	
4月 ④ (第1学年③)	(1) ①		(1) ①	○係を決めよう(イ) ❷	(1) ②	○係を決めよう(イ) ❷ ○学級会を開こう(ア)	(1) ②	○係を決めよう(イ) ❷ ○どうぞよろしくの会を計画しよう(ア)❷	(1) ②	○高学年になって(ア) ㊦㊨❷ ○係や当番の仕事を決めよう(イ)❷	(1) ②	○最高学年として(ア) ㊦㊨❷ ○係や当番の仕事を決めよう(イ)❷
	(2) ③	○1年生になって(ア) ㊦㊨ ○楽しい給食(キ, エ) 気持ちのいいあいさつ(イ, ウ) ❶	(2) ③	○2年生になって(ア) ㊦㊨ ○学級目標を立てよう(ア, ウ) ○気持ちのいいあいさつ(イ, ウ) ❶	(2) ②	○3年生になって(ア) ㊦㊨ ○学級目標を立てよう(ア, ウ)	(2) ②	○4年生になって(ア) ㊦㊨ ○学級目標を立てよう(ア, ウ)	(2) ②	○5年生になって(ア) ㊦㊨❶ ○学級目標を立てよう(ア, ウ)	(2) ②	○6年生になって(ア) ㊦㊨❶ ○学級目標を立てよう(ア, ウ)
5月 ②	(1) ①		(1) ①	・もっと気持ちのいいあいさつを広げよう(ア)❷	(1) ①		(1) ①	○陸上選手を励ます会の計画を立てよう(ウ)㊨	(1) ①	○陸上記録会に向けて(ア) ㊦㊨	(1) ①	○陸上記録会に向けて(ア) ㊦㊨
	(2) ②	○交通ルールを守ろう(カ) ○楽しい遠足(ウ) ㊦	(2) ①	○楽しい遠足(ウ) ㊦	(2) ②	○掃除のプロフェッショナルになろう(エ, ウ) ㊦㊨ ○楽しい遠足(ウ) ㊦	(2) ①	○掃除のプロフェッショナルになろう(エ, ウ) ㊦㊨	(2) ①	○よりよい清掃活動を目指して(エ, カ) ㊦㊨	(2) ①	○よりよい清掃活動を目指して(エ, カ) ㊦㊨
6月 ④	(1) ②	○学校のきまりを知ろう(イ, カ) ○雨の日の過ごし方を考えよう(ア)	(1) ①	○雨の日の過ごし方を考えよう(ア)	(1) ②	○雨の日の過ごし方を考えよう(ア) ○学級レクを計画しよう(ア)	(1) ①	○雨の日の過ごし方を考えよう(ア)	(1) ②	○1年生と仲良くなろう(ウ)㊨ ○雨の日の過ごし方を考えよう(ア)	(1) ②	○雨の日の過ごし方を考えよう(ア) ○学級レクを計画しよう(ア)
	(2) ②	○ふわふわ言葉とちくちく言葉(ウ, イ) ○歯を大切にしよう(カ) ㊨	(2) ③	○ふわふわ言葉とちくちく言葉(ウ, イ) ○歯を大切にしよう(カ) ㊨ ○めざせおそうじ名人(エ, ウ) ㊦㊨	(2) ②	○自分の情報は自分で守ろう(カ) ○歯を大切にしよう(カ) ㊨	(2) ③	○自分の情報は自分で守ろう(カ) ○歯を大切にしよう(カ) ㊨ ○学校のきまりを守ろう(イ, カ)	(2) ②	○インターネットのルールとマナー(カ) ㊦ ○学校のきまりを守ろう(イ, カ)	(2) ②	○携帯電話のルールとマナー(カ) ㊦ ○学校のきまりを守ろう(イ, カ)
7月 ③	(1) ①	○1学期を振り返って(ア, イ)	(1) ①	○1学期を振り返って(ア, イ)	(1) ②	○1学期を振り返って(ア, イ) ○運動会を盛り上げよう(ア, イ) ㊦㊨	(1) ②	○1学期を振り返って(ア, イ) ○運動会を盛り上げよう(ア, イ) ㊦㊨	(1) ②	○1学期を振り返って(ア, イ) ○運動会を盛り上げよう(ア, イ) ㊦㊨	(1) ②	○1学期を振り返って(ア, イ) ○運動会を盛り上げよう(ア, イ) ㊦㊨
	(2) ②	○図書室と仲よくなろう(オ)㊨ ○楽しい夏休み(ア, カ) ㊦	(2) ②	○図書室と仲よくなろう(オ)㊨ ○楽しい夏休み(ア, カ) ㊦	(2) ①	○楽しい夏休み(ア, カ) ㊦	(2) ①	○楽しい夏休み(ア, カ) ㊦	(2) ①	○楽しい夏休み(ア, カ) ㊦	(2) ①	○楽しい夏休み(ア, カ) ㊦

【第2学期】

9月 ③	(1) ①	○運動会におじいちゃんおばあちゃんを招待しよう(ウ) 行 兎 ②	(1) ①	○運動会におじいちゃんおばあちゃんを招待しよう(ウ) 行 兎 ②	(1) ②	○2学期に向けて(ア) ○運動会への取組を考えよう(ア,ウ) 行 兎	(1) ②	○2学期に向けて(ア) ○運動会への取組を考えよう(ア,ウ) 行 兎	(1) ②	○2学期に向けて(ア) ○運動会を成功させよう(ア,ウ) 行 兎	(1) ②	○2学期に向けて(ア) ○最後の運動会を成功させよう(ア,ウ) 行 兎
	(2) ②	○運動会に向けて(カ,ア,ウ) 行 兎 ① ○学校で大地震が起きたら(カ) 行	(2) ②	○運動会に向けて(カ,ア,ウ) 行 兎 ① ○学校で大地震が起きたら(カ) 行	(2) ①	○学校で大地震が起きたら(カ) 行	(2) ①	○オリジナル防災マップを作ろう(カ) 行	(2) ①	○オリジナル防災マップを作ろう(カ) 行	(2) ①	○オリジナル防災マップを作ろう(カ) 行
10月 ④	(1) ③	○学級会を開こう(ア) ○係の仕事を考えよう(イ) ② ○みんなで遊ぼう(ア)	(1) ③	○係の仕事を考えよう(イ) ② ○6年生とおいもパーティーをしよう(ウ) 兎 ○おいもパーティーの準備をしよう(ウ) 兎	(1) ②	○音楽会に向けて(ア) 行 ○係や当番の仕事を見直そう(イ) ②	(1) ②	○音楽会に向けて(ア) 行 ○宿泊学習の計画を立てよう(ア) 行 ②	(1) ③	○遠足の計画を立てよう(イ,ア) 行 ② ○係や当番の仕事を工夫しよう(イ,ア) ○1年生とともっと仲よくなるよう(ウ) 兎	(1) ③	○2年生とおいもパーティーをしよう(ウ) 兎 ○修学旅行の計画を立てよう(イ,ア) 行 ② ○係や当番の仕事を工夫しよう(イ,ア)
	(2) ①	○めざせおそうじ名人(エ,イ) 行 兎	(2) ①	○安全・安心な帰り道(カ,ウ) 日常	(2) ②	○目を大切に(カ) ○正しい自転車の乗り方(カ)	(2) ②	○楽しい宿泊学習(ウ) 行 ① ○よい姿勢(カ)	(2) ①	○楽しい遠足(ウ) 行 ①	(2) ①	○楽しい修学旅行(ウ) 行 ①
11月 ③	(1) ②	○波野っ子フェスタを成功させよう(ア,イ,ウ) 行 兎 ○波野っ子フェスタのスローガンを考えよう(ア) 行 兎	(1) ②	○波野っ子フェスタを成功させよう(ア,イ,ウ) 行 兎 ○波野っ子フェスタのスローガンを考えよう(ア) 行 兎	(1) ②	○波野っ子フェスタを成功させよう(ア,イ,ウ) 行 兎 ○外遊びを工夫しよう(ア)	(1) ②	○波野っ子フェスタを成功させよう(ア,イ,ウ) 行 兎 ○幼稚園生との交流の計画を立てよう(ウ,イ) 行	(1) ②	○波野っ子フェスタを成功させよう(ア,イ,ウ) 行 兎 ○クラブ発表会をしよう(ウ) 兎	(1) ②	○波野っ子フェスタを成功させよう(ア,イ,ウ) 行 兎 ○卒業文集への取組(ア)
	(2) ①	○持久走大会に向けて(カ,ウ) 行	(2) ①	○持久走大会に向けて(カ,ウ) 行	(2) ①	○図書室と仲よくなるよう(オ) 兎	(2) ①	○いろいろな本を読もう(オ) 兎	(2) ①	○いろいろな本を読もう(オ) 兎	(2) ①	○いろいろな本を読もう(オ) 兎
12月 ③	(1) ②	○仲よし集会をしよう(ア) ○2学期を振り返って(ア,イ)	(1) ②	○仲よし集会をしよう(ア) ○2学期を振り返って(ア,イ)	(1) ②	○学級レクを計画しよう(ア) ○学級レクをしよう(ア) ○2学期を振り返って(ア,イ)	(1) ②	○2学期を振り返って(ア,イ) ○学級レクを計画しよう(ア)	(1) ③	○2学期を振り返って(ア,イ) ○学級レクを計画しよう(ア) ○学級レクをしよう(ア)	(1) ③	○2学期を振り返って(ア,イ) ○学級レクを計画しよう(ア) ○学級レクをしよう(ア)
	(2) ①	○寒さ負けない体になろう(カ)	(2) ①	○寒さ負けない体になろう(カ)	(2) ①	○かぜの予防(カ,イ)	(2) ①	○かぜの予防(カ,イ)	(2) ①		(2) ①	

【第3学期】

1月 ③	(1) ②	○縄跳び大会に向けて(ア)行 ○幼稚園生と遊ぶ計画を立てよう(ウ)	(1) ②	○縄跳び大会に向けて(ア)行 ○係の仕事を工夫しよう(イ)②	(1) ②	○みんなに役立つ係をつくろう(イ)② ○縄跳び大会に向けて(ア)行	(1) ②	○みんなに役立つ係をつくろう(イ)② ○縄跳び大会に向けて(ア)行	(1) ②	○児童会のリーダーとして(ウ)兜 ○縄跳び大会に向けて(ア)行	(1) ②	○卒業までの計画を立てよう(ア)行兜 ○縄跳び大会に向けて(ア)行
	(2) ①	○いろいろ食べよう(キ,ウ)行	(2) ①	○みんなで仲よく楽しい給食(キ,ウ,エ)行	(2) ①	○バランスのよい食事の取り方(キ)行	(2) ①	○体によい飲み方を知ろう(キ)行	(2) ①	○おやつを取り方(キ)行	(2) ①	○自分で朝ごはん(キ,イ,カ)行
2月 ④	(1) ③	○お楽しみ会を計画しよう(ア) ○お楽しみ会の準備をしよう(イ) ○6年生ありがとう(ウ)兜	(1) ③	○お楽しみ会を計画しよう(ア) ○お楽しみ会の準備をしよう(イ) ○6年生ありがとう(ウ)兜	(1) ③	○お楽しみ会を計画しよう(ア) ○クラブ活動見学の計画を立てよう(ウ)ク ○6年生ありがとう(ウ)兜	(1) ③	○お楽しみ会を計画しよう(ア) ○委員会活動を取材しよう(ウ)兜 ○6年生ありがとう(ウ)兜	(1) ③	○お楽しみ会を計画しよう(ア) ○お楽しみ会の準備をしよう(イ) ○6年生ありがとう(ウ)兜	(1) ③	○下級生との交流活動をしよう(ウ)兜 ○思い出をつくろう(ア)② ○思い出レクをしよう(ア)
	(2) ①	○みんなで遊ぼう(ウ)	(2) ①	○友達の気持ちを考えて(ウ)	(2) ①	○さそわれたらどうする(ウ)	(2) ①	○本当の仲間(ア,ウ)	(2) ①	○6年生への感謝(ウ)	(2) ①	○卒業に向けて(ア,ウ)①
3月 ②	(1) ①	○新1年生を迎える準備をしよう(ウ)・1年間を振り返って(ア)	(1) ①	○1年間を振り返って(ア)	(1) ①	○1年間を振り返って(ア)	(1) ①	○1年間を振り返って(ア)	(1) ①	○1年間を振り返って(ア)	(1) ①	○6年間の思い出・卒業にあたって(ア)
	(2) ①	○もうすぐ2年生(ア)	(2) ①	○もうすぐ3年生(ア)	(2) ①	○もうすぐ4年生(ア)	(2) ①	○もうすぐ5年生(ア)	(2) ①	○もうすぐ6年生(ア)	(2) ①	○もうすぐ中学生(ア)

第2学年 学級活動年間指導計画

担任 ○○ ○○

【男子○名 女子○名 合計○名】

【学級活動（1）：17時間 学級活動（2）：18時間】

○＝活動題材 ●＝題材 ・＝学年，学級の時間で

【育てたい児童の姿】互いのよさや思いを生かし，みんなで楽しく進んで活動しようとする				
評価の観点 （1）よりよい学級をつくるために，仲よく助け合う。 （2）生活上の諸問題の解決方法について考え，正しい方法や自分に合った方法を選んで，目標をもって努力する。				
月	段階	(1) 学級活動や学校の生活づくり 望ましい活動題材名	(2) 日常生活や学習への適応及び健康安全 題材名	児童会活動 (児) 学校行事 (行)
4	仲 ④ 間 意 識 を	○係を決めよう (イ) ・学級のマークを決めよう ○気持ちのよい挨拶をしよう	● 2年生になって (ア) 学級や自分のめあてを決め，めあてに向かって努力することができる。 ● 学級の目標を立てよう (ア) 教師とともに学級目標を立て，目標に向かって学校生活を過ごそうとしている。 ● 気持ちのよい挨拶 (ア，ウ) 自分から進んで気持ちのよい挨拶をしようとする。	入学式，始業式 (行) 1年生を迎える会 (児) 登校班会議 (行)
5	③ 高 め	・仲よし学級集会をしよう (ウ) ・議題箱から学級会をしよう	● 楽しい遠足 (ウ) 遠足で行く場所，行き方を知り，約束について考え，楽しみにしていることを発表しようとしている。	遠足
6	④ る	○雨の日の過ごし方を考えよう (ア)	● ふわふわ言葉とちくちく言葉 (ウ，イ) ふわふわ言葉やちくちく言葉について知り，進んでふわふわ言葉をつかおうとすることができる。 ● 歯を大切にしよう (カ) 自分の歯の様子や歯磨きの仕方を知り，進んで取り組もうとする意欲を持つ。 ● めざせおそうじ名人 (ウ，リ) 清掃場所に応じたやり方を話し合い，友達と協力して清掃活動をよりよいものにしていこうとする。	歯科検診 (行) 縦割り班清掃 (児) 通学路美化活動 (行)
7	③	○1学期を振り返って (ウ，イ) ・運動会のスローガンを考えよう	● 図書室と仲よく (オ) 図書室の約束や使い方を知り，進んでいろいろな本を借りたり返したりできるようにする。 ● 楽しい夏休み (ア，カ) 充実した夏休みを過ごすことができるように自分のめあてを決めようとする。	図書委員会読み聞かせ (児) 終業式 (運動会 児 行)

※内容相互の関連や学級活動の内容間の**関連**や**統合**を図ったものは，太字で表す。

月	段階	(1) 学級活動や学校の生活づくり	(2) 日常生活や学習への適応及び健康安全	児童会活動 (児)
		望ましい活動題材名	題材名	学校行事 (行)
9	③ 仲間意識	○運動会におじいちゃんおばあちゃんを招待しよう(ウ)	●運動会をがんばろう(ウ, ア, ウ) 運動会に向けて自分のめあてを決めてがんばろうとする。	運動会 (児 行)
		・係を決めよう ・学級目標を振り返ろう	●学校で大地震が起きたら(カ) 安全に行動することの重要性を理解し、「きまり」「約束」を守ることや身の回りの危険に気付くことができるようにする。	避難訓練 (行)
10	④ を深め	○係の仕事を考えよう(イ)	●係や当番の仕事を見直そう(イ) 学級の係やいろいろな当番活動を振り返り、これからの取組方についてなど自分のめあてを決める。	
		○6年生と仲よし集会をしよう(ウ) 2時間		仲よし友達集会 (児)
11	③ る	○波野っ子フェスタを成功させよう(イ)	・波野っ子フェスタのために(ウ, イ, ウ) 波野っ子フェスタに向けて自分のめあてを決めて楽しんで取り組もうとする。	波野っ子フェスタ (児 行)
			●持久走大会に向けて(カ, ウ) 持久走大会に向けて友達と励まし合うなど自分のめあてを決めてがんばろうとする。	持久走大会 (行)
			●安全・安心な帰り道(カ, ウ) 身近に潜む危険について知り、友達と仲よく助け合って下校しようとする。	避難訓練 (行)
12	③	○仲よし集会をしよう(ウ)	●寒さに負けない体になろう(カ)	
		○2学期を振り返って(ウ, イ)	・楽しい冬休み(ア, カ) 楽しく元気な冬休みとするために自分のめあてを決めようとしている。	終業式 (行)
1	③ 仲間意識を広げる	○係の仕事を工夫しよう(イ)	・3学期のめあて(ア) 自分の3学期のめあてを決め、めあてに向かって努力することができる。	始業式 (行)
		・縄跳び大会をみんなががんばろう(ウ)	●縄跳び大会に向けて(ウ, ウ) 縄跳び大会に向けて友達と励まし合うなど自分のめあてを決めてがんばろうとする。	縦割り班交流給食 (行)
			●みんなで仲よく楽しい給食(キ, ウ) バランスのよい食事の仕方を知り、みんなと協力して準備や後片付けをしたりマナーを守って楽しい給食にしようとする。	縄跳び大会 (行)
2	④	○お楽しみ会をしよう(ウ) ○お楽しみ会の準備をしよう	●友達の気持ちを考えて(ウ) 互いのよさを認め合い、だれとでも仲よく助け合おうとすることができる。	
		○6年生へありがとうのプレゼントを考えよう(ウ)		6年生を送る会 (児)
3	②	○1年間を振り返って(ア)	●もうすぐ3年生(ア) 3年生の生活や学習について知り、がんばりたいことを決めようとする。	修了式 (行) 卒業式 (行)

※内容相互の関連や学級活動の内容間の関連や統合を図ったものは、太字で表す。

平成26年度児童会活動全体計画

1 児童会活動の目標

児童会活動を通して、望ましい人間関係を形成し、集団の一員としてよりよい学校生活づくりに参画し、協力して諸問題を解決しようとする自主的・実践的な態度を育てる。

2 ねらい

異年齢集団活動を通して、仲よく、協力し、信頼し支え合ったり、自分の役割を果たし協力してよりよい学校生活づくりに積極的に取り組んだりすることについて児童自身が意識し、自ら主体的に取り組むことにより、存在感や所属感を持ち、自主性や社会性を身に付けることができるようにする。

3 指導の方針

- 児童の自主的・自治的な活動が展開されるように、全教職員で共通理解を図りながら、指導計画の作成や指導を行う。
- 異年齢集団の特性を生かし、児童がお互いを認め合い、協力し合って活動できるようにする。
- 児童の意見・発想を大切にしながら、学校生活の充実・向上を目指した活動ができるようにする。
- 上学年が下学年を思いやり、下学年が上学年にあこがれをもって活動ができるようにする。

4 各学年の重点

第1・2学年～	第3・4学年～	第5学年	第6学年
みんなで仲よく助け合い、学校生活を楽しくする。	協力しながら、自分の役割を責任を持って果たすことができるようにする。	6年生と協力しながら、自主的に活動できるようにするとともに、自分の役割を責任を持って果たすことができるようにする。	中心となって活動計画を立て、自主的に運営や活動ができるようにするとともに、自分の役割を責任を持って果たすことができるようにする。

5 運営

- (1) 活動日 委員会活動第1・3水曜日 6校時（1単位時間は45分）、随時
代表委員会第3水曜日 6校時（前半25分）、その他
- (2) 主な活動内容 学校生活の充実と向上を図る活動
- ①児童会の計画や運営
 - ②異年齢集団による交流
 - ③学校行事への協力

6 組織

- (1) 児童会活動・・・学校の全児童
委員会活動・・・第5・6学年児童
代表委員会・・・各委員会委員長、第5学年委員会副委員長
必要に応じて学級代表（3年生以上各2名）、縦割り班長、通学班長
- (2) 設置委員会及び構成、活動内容

委員会名	構成人数（人）			指導者
	第5学年	第6学年	合計	
さわやか				
健康				
栽培				
放送				
広報				
図書				
給食				
スポーツ				

【代表委員会】年間指導計画

活動テーマ		仲よく楽しく笑顔いっぱいの学校にしよう
月	活動の計画と話合いの議題案	指導上の留意点
4月	<p>○代表委員会の組織づくりと年間計画を立てよう。</p> <ul style="list-style-type: none"> 代表委員会の組織づくり 1年間の活動計画の作成（活動テーマを含む） <p>○4月の目標を考えよう</p> <p>○「1年生を迎える会」について</p> <ul style="list-style-type: none"> 実行委員会の組織づくり 活動内容についての確認，準備 	<ul style="list-style-type: none"> 児童会の組織と運営の仕方については，代表委員の第6学年を中心に輪番制で行うこととする。 前年度の活動の様子（児童会活動の足跡参考），今年度の学校行事の諸行事等の予定を基にし作成するようにする。 活動のテーマは，望ましい学校像をイメージしたり，校訓を考慮するなどして具体的な言葉にまとめる。 1年間を通して，前月の反省などを生かし，各月の代表委員会としての目標を決定し，目標を達成するための取組について各委員会や各学級で話し合うようにする。 前年度末に立てた計画を基に，準備を進め実践する。
5月	<p>○5月の目標を考えよう</p> <ul style="list-style-type: none"> 4月の目標についての取組の反省 5月の目標についての取組 <p>○鹿嶋市陸上記録会壮行会について</p> <ul style="list-style-type: none"> 4年生を中心とした組織づくり 活動内容の検討，準備 	<ul style="list-style-type: none"> 代表委員会として，各委員会として，各学年や学級として目標について取り組んできたことの反省を生かし，学校生活で気になることなどを話し合い，5月の目標を決定し，その取組について話し合う。 4年生を中心として，1～4年生が陸上記録会壮行会の計画，準備を行い，実践する。
6月	<p>○6月の目標を考えよう</p> <ul style="list-style-type: none"> 5月の目標についての取組の反省 6月の目標についての取組 	<ul style="list-style-type: none"> 代表委員会として，各委員会として，各学年や学級として目標について取り組んできたことの反省を生かし，学校生活で気になることなどを話し合い，6月の目標を決定し，その取組について話し合う。
7月	<p>○7月の目標を考えよう</p> <ul style="list-style-type: none"> 6月の目標についての取組の反省 7月の目標についての取組 <p>○運動会について</p> <ul style="list-style-type: none"> 実行委員会の組織づくり 実行委員会の活動計画作成 <p>○1学期の活動を振り返ろう</p>	<ul style="list-style-type: none"> 代表委員会として，各委員会として，各学年や学級として目標について取り組んできたことの反省を生かし，学校生活で気になることなどを話し合い，7月の目標を決定し，その取組について話し合う。 9月に行われる運動会に向け，実行委員会を立ち上げ，活動計画を立てる。学校行事への協力として，自分たちのできることを考え，実践する。児童会活動の自治的範囲を超えないよう事前に指導する。 委員会活動や集会活動を振り返るとともに，2学期の見通しが持てるようにする。
9月	<p>○9月の目標を考えよう</p> <ul style="list-style-type: none"> 9月の目標についての取組 <p>○運動会を盛り上げよう</p> <ul style="list-style-type: none"> テーマの決定 運動会を盛り上げる工夫について 	<ul style="list-style-type: none"> 9月の目標を決定し，その取組について話し合う。 運動会のテーマを学級ごとに話し合い，出された意見を生かし，実行委員会において決定するようにする。 準備など自分たちのできることを，応援などのアイデアを出し合い，全校児童で取り組むことができるような計画を立てるようにする。
10月	<p>○10月の目標を考えよう</p> <ul style="list-style-type: none"> 9月の目標についての取組の反省 10月の目標についての取組 <p>○波野っ子フェスタを成功させよう</p> <ul style="list-style-type: none"> 実行委員会の組織づくり テーマの決定 波野っ子フェスタを成功させるために 	<ul style="list-style-type: none"> 代表委員会として，各委員会として，各学年や学級として目標について取り組んできたことの反省を生かし，学校生活で気になることなどを話し合い，10月の目標を決定し，その取組について話し合う。 地域交流の波野っ子フェスタ（学校行事）を成功させるために，児童会としての取組方を話し合う。みんなが仲よく楽しく過ごすことができるような工夫を各学級で考えたことを生かして取組方を考えるようにする。

11月	<ul style="list-style-type: none"> ○11月の目標を考えよう <ul style="list-style-type: none"> ・10月の目標についての取組の反省 ・11月の目標についての取組 ○波野っ子フェスタを成功させよう <ul style="list-style-type: none"> ・地域の方と楽しく交流するための工夫について 	<ul style="list-style-type: none"> ・代表委員会として、各委員会として、各学年や学級として目標について取り組んできたことの反省を生かし、学校生活で気になることなどを話し合い、11月の目標を決定し、その取組について話し合う。 ・ステージ発表の準備や縦割り班で行う地域交流に向けて工夫することや注意することなどを話し合い、実践する。
12月	<ul style="list-style-type: none"> ○12月の目標を考えよう <ul style="list-style-type: none"> ・11月の目標についての取組の反省 ・12月の目標についての取組 ○2学期の活動を振り返ろう 	<ul style="list-style-type: none"> ・代表委員会として、各委員会として、各学年や学級として目標について取り組んできたことの反省を生かし、学校生活で気になることなどを話し合い、12月の目標を決定し、その取組について話し合う。 ・委員会活動や集会活動を振り返るとともに、3学期の見通しが持てるようにする。
1月	<ul style="list-style-type: none"> ○代表委員会の組織づくり ○1月の目標を考えよう <ul style="list-style-type: none"> ・1月の目標についての取組 	<ul style="list-style-type: none"> ・児童会の組織と運営の仕方については、3学期は、6年生から5年生へ引き継ぐ。6年生は、5年生をサポートするようにする。 ・代表委員会として、各委員会として、各学年や学級として目標について取り組んできたことの反省を生かし、学校生活で気になることなどを話し合い、1月の目標を決定し、その取組について話し合う。
2月	<ul style="list-style-type: none"> ○2月の目標を考えよう <ul style="list-style-type: none"> ・1月の目標についての取組の反省 ・2月の目標についての取組 ○「6年生を送る会」の計画を立てよう <ul style="list-style-type: none"> ・実行委員会の組織づくり ・テーマ、プログラム、プレゼントの決定 ・役割分担、準備 	<ul style="list-style-type: none"> ・代表委員会として、各委員会として、各学年や学級として目標について取り組んできたことの反省を生かし、学校生活で気になることなどを話し合い、2月の目標を決定し、その取組について話し合う。 ・もうすぐ卒業する6年生を楽しませ、感謝することができるような計画を立てられるよう工夫する。 ・思い出に残るような会となるように計画を立て、1年生から5年生ま全員が協力して準備を行う。
3月	<ul style="list-style-type: none"> ○3月の目標を考えよう <ul style="list-style-type: none"> ・2月の目標についての取組の反省 ・3月の目標についての取組 ○「1年生を迎える会」の計画を立てよう <ul style="list-style-type: none"> ・実行委員会の組織づくり ・テーマの決定 ・プレゼントの決定、準備 ○1年間の代表委員会の活動をまとめよう。 	<ul style="list-style-type: none"> ・代表委員会として、各委員会として、各学年や学級として目標について取り組んできたことの反省を生かしたり、学校生活で気になることなどを話し合い、3月の目標を決定し、その取組について話し合う。 ・1年生から5年生の児童は進級することへの意識を高め、新しく波野小学校の児童として仲間入りする新入生を温かく迎えることができるようにする。 ・1年間の代表委員会の活動を振り返り、今後の代表委員会の活動に生かすために話し合う。

○その他の代表委員会活動

- ・児童朝会（毎月第3火曜日 8時10分～）の運営
- ・校内清掃活動（月1回、清掃の時間）についての計画、準備
- ・縦割り班遊び（月2回、業間休み時間）についての計画、準備
- ・校外美化活動（各学期1回）開会式進行
- ・児童会活動の足跡（写真掲示物）の作成
- ・児童会だよりの発行（月1回他必要に応じて随時）

【放送委員会】年間指導計画

1 児童会活動の目標

児童会活動を通して、望ましい人間関係を形成し、集団の一員としてよりよい学校づくりに参画し、協力して諸問題を解決しようとする自主的、実践的な態度を育てる。

〈委員会活動について〉

主として高学年の全児童が、自分たちの学校生活を向上発展させ、より豊かにしていくためのもので児童の発意を生かし、創意工夫して実際の活動を分担して行う。

2 委員会活動の評価規準

集団活動や生活への 関心・意欲・態度	集団の一員としての 思考・判断・実践	集団活動や生活についての 知識・理解
楽しく豊かな学校生活をつくるための諸問題に関心をもち、他の児童と協力し、積極的に児童会の活動に取り組もうとしている。	楽しく豊かな学校生活をつくるために、児童会の一員としての役割や諸問題を解決する方法などについて考え、判断し、協同して実践している。	楽しく豊かな学校生活をつくる児童会活動の意義や組織、そのための活動内容、方法などについて理解している。

3 放送委員会の年間指導計画

学期	日常活動	創意工夫を生かした活動	指導上の留意点
一学期	○放送委員会の計画や運営 ・活動計画 ・役割分担	○インタビュー放送 ○リクエスト放送	<ul style="list-style-type: none"> 放送委員会のねらいを基に、活動計画を考えるように助言する。 放送委員会の日常の活動内容を知らせ、協力して取り組むことができるようにする。 計画や運営の仕方を理解させ、自分たちで進行できるようにすることにより、児童が主体的に協力し合って放送委員会の活動に参画できるようにする。 児童朝会でどんな発表をするか児童の考えを十分に引き出すようにする。 反省点を話し合い、自己評価・相互評価したことを次の活動に生かすことができるように助言する。 児童の活動のよさを称賛し、次の活動への意欲付けをする。
二学期	○日常の活動内容 ・朝の放送 ・お昼の放送 ・掃除の放送 ・帰りの放送 ・集会時の放送器具準備	○児童朝会発表 ・リクエスト曲について ・委員会からのお願い	
三学期	○振り返り 【昼の放送の例】	○児童会目標への取組	
		活動の流れ	目指す児童の姿と評価
準備	○ 話し合い（活動計画の作成） ・放送の企画、役割分担 ○ 決定内容の連絡 ○ 放送の準備、練習 ・準備物の確認 ・運営の仕方		【関心・意欲・態度】 ・協力して計画や準備に意欲的に取り組もうとしている。 【思考・判断・実践】 ・楽しいインタビュー内容を考えたり、協力して準備を行っている。 〈観察〉
日常の活動	昼の放送（例） 1 始めの挨拶 2 児童会の目標の確認 2 インタビュー 3 リクエスト曲 4 終わりの挨拶		【知識・理解】 ・昼の放送のめあてや活動内容に即した運営の仕方を理解している。 【関心・意欲・態度】 ・放送することを進んで楽しく行っている。 【思考・判断・実践】 ・全児童が楽しめるように、委員全員で考え、協力し合って取り組んでいる。 〈観察〉
振り返り	○活動の成果や課題の確認 ・がんばったこと ・友達の努力 ・反省点		【思考・判断・実践】 ・活動を振り返り、自分の役割や活動への取組方、放送の成果や課題についてまとめている。 〈観察・振り返りカード〉

【児童集会】年間計画

月	児童朝会	児童集会（児童朝会を除く）	学校行事への協力
4		<ul style="list-style-type: none"> ○縦割り班活動計画 ○1年生を迎える会 ○なかよし友達集会（第1回）〈ペア学級交流〉 	<ul style="list-style-type: none"> ・入学式
5	<ul style="list-style-type: none"> ・代表委員会の発表 ・放送委員会の発表 ほか 	<ul style="list-style-type: none"> ○鹿嶋市陸上記録会選手を励ます会 ○校内清掃活動（縦割り班清掃） ○縦割り班遊び 	
6	<ul style="list-style-type: none"> ・実行委員会（運動会）の発表 ・スポーツ委員会の発表 	<ul style="list-style-type: none"> ○校内清掃活動（縦割り班清掃） ○縦割り班遊び 	<ul style="list-style-type: none"> ・校外美化活動（第1回）
7			<ul style="list-style-type: none"> ・終業式
9	<ul style="list-style-type: none"> ・代表委員会の発表 ・栽培委員会の発表 	<ul style="list-style-type: none"> ○校内清掃活動（縦割り班清掃） ○縦割り班遊び 	<ul style="list-style-type: none"> ・運動会
10	<ul style="list-style-type: none"> ・実行委員会（波野っ子フェスタ）の発表 ・図書委員会の発表 	<ul style="list-style-type: none"> ○校内清掃活動（縦割り班清掃） ○縦割り班遊び 	<ul style="list-style-type: none"> ・校外美化活動（第2回）
11	<ul style="list-style-type: none"> ・さわやか委員会の発表 ・健康委員会の発表 ・一輪車クラブの発表 	<ul style="list-style-type: none"> ○鹿嶋市音楽会鑑賞会 ○校内清掃活動（縦割り班清掃） ○縦割り班遊び 	<ul style="list-style-type: none"> ・波野っ子フェスタ
12		<ul style="list-style-type: none"> ○なかよし友達集会（第2回） 	<ul style="list-style-type: none"> ・持久走大会（スポーツ委員）
1	<ul style="list-style-type: none"> ・代表委員会の発表 ・給食委員会の発表 	<ul style="list-style-type: none"> ○校内清掃活動（縦割り班清掃） ○縦割り班遊び 	
2	<ul style="list-style-type: none"> ・広報委員会の発表 ・ダンスクラブの発表 	<ul style="list-style-type: none"> ○校内清掃活動（縦割り班清掃） ○縦割り班遊び 	<ul style="list-style-type: none"> ・縄跳び大会（代表委員、スポーツ委員） ・校外美化活動（第3回）
3		<ul style="list-style-type: none"> ○校内清掃活動（縦割り班清掃） ○縦割り班遊び ○6年生を送る会 	<ul style="list-style-type: none"> ・卒業式 ・修了式

平成26年度クラブ活動全体計画

1 クラブ活動の目標

クラブ活動を通して、望ましい人間関係を形成し、個性の伸長を図り、集団の一員として協力してよりよいクラブづくりに参画しようとする自主的、実践的な態度を育てる。

2 ねらい

同好の児童が、所属するクラブで交流を深め、共通の興味・関心を追求する自発的、自治的活動を行うことにより、自主性・社会性及び個性の伸長を図る。

3 指導の方針

- 全教職員で共通理解を図りながら、指導計画の作成や指導を行う。
- 子どもの発意・発想を生かし、児童が主体となって活動させる。
- 発達の段階を考慮しながら、児童の共通の興味・関心を追求させ、満足感や喜びが感じられるように指導する。
- クラブの計画や運営についての話し合いにより、異年齢の児童が協力し合って楽しく活動できるようにする。
- 学級活動、児童会活動及び学校行事との関連を図り、児童の自発的、自治的活動を充実させる。
- 様々な機会を生かして発表の機会や場を確保し、活動意欲を高め、情報発信（発表・掲示など）をさせる。

4 各学年の重点

第4学年	第5学年	第6学年
協力して楽しく活動できるようにする。準備や後片付けなど進んで活動に取り組む。	6年生と協力しながら自分たちで計画を立て、自主的に活動できるようにする。認め合い協力して活動する。	中心となって活動計画を立て、クラブを自主的に運営できるようにする。互いのよさに気づき、認め合い活動する。

5 運営

- (1) 活動日 第2・4水曜日 6校時（1単位時間は45分）
- (2) 主な活動内容 ①クラブの計画や運営に関する活動
 ②クラブを楽しむ活動
 ③クラブの成果の発表に関する活動

6 組織

- (1) 4年生以上の児童で組織し、クラブ長、副クラブ長、記録各1名をおく。2月に3年生を対象として見学会を実施し、次年度の所属を決定する。
- (2) 設置クラブ及び構成

クラブ名	構成人数（人）				指導者	
	第4学年	第5学年	第6学年	合計	※基本的に2名で担当	
ビックボール						
スモールボール						
パソコン						
卓球						
手芸						
イラスト						
図工						
一輪車						

【卓球クラブ】年間指導計画

1 クラブ活動の目標

クラブ活動を通して、望ましい人間関係を形成し、個性の伸長を図り、集団の一員として協力してよりよいクラブづくりに参画しようとする自主的、実践的な態度を育てる。

2 クラブ活動の評価規準

集団活動や生活への 関心・意欲・態度	集団の一員として 思考・判断・実践	集団活動や生活について 知識・理解
共通の興味・関心を追求するために、積極的にクラブの活動に取り組もうとしている。	共通の興味・関心を追求するために話し合い、クラブの一員としてよりよいクラブづくりについて考え、判断し、自己を生かして実践している。	共通の興味・関心を追求するクラブ活動の意義やそのための活動内容、方法などについて理解している。

3 卓球クラブの年間指導計画

学期	予想される主な活動	指導上の留意点												
一 学 期 二 学 期	○クラブの計画や運営 ・はじめの会 ・年間活動計画，組織づくり ・異年齢を基にしたグループ編成 ○クラブを楽しむ活動 ・練習や試合の計画を立てる。 ・練習や試合をする。 ・練習や試合を振り返る。	○楽しい雰囲気の中で、同好の集団としての 仲間意識を高め 、卓球クラブへの意欲を高めるようにする。 ○リーダーシップやメンバーシップを意識させ、役割分担の必要性に気付かせ、 異年齢集団による自発的、自治的な活動が効果的に展開 できるようにする。 ○一人一人の思いや願いを大切に、 全員が意欲的に取り組めるような練習 などを考えられるようにする。 ○ 発達の段階や経験の差を理解し、それぞれのよさに目を向け励まし合う ことができるようにする。 ○みんなが楽しめる練習や試合の方法を話し合い、実践できるようにする。												
三 学 期	〇クラブを楽しむ活動の例 <table border="1" style="width: 100%;"> <thead> <tr> <th></th> <th style="text-align: center;">予想される活動</th> <th style="text-align: center;">目指す児童の姿と評価方法</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td style="text-align: center;">準備</td> <td>(前時の最後に) ・練習、試合の方法の活動計画を話し合う。 ・グループごとに計画を立てる。 ・目標や留意点を確認する。</td> <td> 【関心・意欲・態度】 ・準備や後片付けに意欲的に取り組もうとしている。 〈観察〉 ・活動にあわせて、場の工夫やルールを考えようとしている。 〈観察〉 </td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">練習・試合</td> <td>・はじめの挨拶・出欠確認をする ・今日の活動の確認・活動の準備をする ・グループに分かれて活動する。 サーブ、フォアハンドの練習 ダブルスの試合 等</td> <td> 【思考・判断・実践】 ・みんなが楽しめる活動計画について考え活動している。 ・活動計画を基に異年齢の児童と教え合ったり、協力し合ったりしながら活動している。 ・活動を振り返り、みんなが楽しめるアイデアを出すなど、次回の活動計画に生かしている。〈クラブ活動ノート、観察〉 </td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">振り返り</td> <td>・活動を振り返る。 ・次の活動の計画を立てる。 ・先生の話聞く。 ・片付け、終わりの挨拶をする。</td> <td> 【知識・理解】 ・卓球クラブのねらいや活動内容を理解している。 〈クラブ活動ノート、観察〉 </td> </tr> </tbody> </table>		予想される活動	目指す児童の姿と評価方法	準備	(前時の最後に) ・練習、試合の方法の活動計画を話し合う。 ・グループごとに計画を立てる。 ・目標や留意点を確認する。	【関心・意欲・態度】 ・準備や後片付けに意欲的に取り組もうとしている。 〈観察〉 ・活動にあわせて、場の工夫やルールを考えようとしている。 〈観察〉	練習・試合	・はじめの挨拶・出欠確認をする ・今日の活動の確認・活動の準備をする ・グループに分かれて活動する。 サーブ、フォアハンドの練習 ダブルスの試合 等	【思考・判断・実践】 ・みんなが楽しめる活動計画について考え活動している。 ・活動計画を基に異年齢の児童と教え合ったり、協力し合ったりしながら活動している。 ・活動を振り返り、みんなが楽しめるアイデアを出すなど、次回の活動計画に生かしている。〈クラブ活動ノート、観察〉	振り返り	・活動を振り返る。 ・次の活動の計画を立てる。 ・先生の話聞く。 ・片付け、終わりの挨拶をする。	【知識・理解】 ・卓球クラブのねらいや活動内容を理解している。 〈クラブ活動ノート、観察〉	
	予想される活動	目指す児童の姿と評価方法												
準備	(前時の最後に) ・練習、試合の方法の活動計画を話し合う。 ・グループごとに計画を立てる。 ・目標や留意点を確認する。	【関心・意欲・態度】 ・準備や後片付けに意欲的に取り組もうとしている。 〈観察〉 ・活動にあわせて、場の工夫やルールを考えようとしている。 〈観察〉												
練習・試合	・はじめの挨拶・出欠確認をする ・今日の活動の確認・活動の準備をする ・グループに分かれて活動する。 サーブ、フォアハンドの練習 ダブルスの試合 等	【思考・判断・実践】 ・みんなが楽しめる活動計画について考え活動している。 ・活動計画を基に異年齢の児童と教え合ったり、協力し合ったりしながら活動している。 ・活動を振り返り、みんなが楽しめるアイデアを出すなど、次回の活動計画に生かしている。〈クラブ活動ノート、観察〉												
振り返り	・活動を振り返る。 ・次の活動の計画を立てる。 ・先生の話聞く。 ・片付け、終わりの挨拶をする。	【知識・理解】 ・卓球クラブのねらいや活動内容を理解している。 〈クラブ活動ノート、観察〉												
	○クラブの成果の発表に関する活動 ・児童朝会（活動発表会） ・クラブ見学会 （第3学年 2月実施） ・学期ごとの振り返り	【関心・意欲・態度】 ・準備や発表に意欲的に取り組もうとしている。 〈観察、クラブ活動ノート〉 【思考・判断・実践】 ・発表会に向けて、異年齢の児童と教え合って活動している。 〈観察、クラブ活動ノート〉 【知識・理解】 ・発表会や見学会のねらいや活動内容を理解している。 〈観察、クラブ活動ノート〉												

学校行事年間指導計画

1 学校行事の目標

学校行事を通して、望ましい人間関係を形成し、集団への所属感や連帯感を深め、公共の精神を養い、協力してよりよい学校生活を築こうとする自主的、実践的な態度を育てる。

2

評価規準と評価の仕方

観点	関心・意欲・態度	思考・判断・実践	知識・理解	主な学校行事
儀式的行事	行事を節目としたこれからの生活に関心をもち、学校や学年の一員として厳粛な雰囲気の中で儀式的行事に取り組もうとしている。	新しい生活への展開や集団の場における規律などについて考え、判断し、実践している。	儀式的行事の意義や、その場にふさわしい参加の仕方などについて理解している。	・入学式 ・始業式 ・着任式 ・始業式 ・終業式 ・卒業式 ・修了式
文化的行事	文化や芸術、平素の学習活動などに関心をもち、互いの努力を認め合い、積極的に文化的行事に取り組もうとしている。	学校や学年の一員としての自覚をもち、美しいものや優れたもの、自他のよさや自己の成長などについて考え、判断し、協同して実践している。	文化的行事の意義や、日頃の学習成果を発表する方法、鑑賞の仕方などについて理解している。	・波野っ子フェスタ ・音楽鑑賞会 ・書き初め大会
体育的行事 健康安全・	心身の健全な発達や健康の保持増進、運動などに関心をもち、積極的に健康安全・体育的行事に取り組もうとしている。	学校や学年の一員としての自覚をもち、自己の健康や安全、規律ある集団行動などについて考え、判断し、実践している。	健康安全・体育的行事の意義や、心身の健康な発達、安全な生活、体力向上の方法などについて理解している。	・避難訓練 ・運動会 ・持久走大会 ・縄跳び大会 ・身体測定 ・視力検査 ・内・歯科検診 ・交通安全教室
遠足的行事 遠足・集団宿	自然や文化などに関心をもち、互いに思いやり、積極的に遠足・集団宿泊的行事に取り組もうとしている。	学校や学年の一員としての自覚をもち、平素と異なる生活環境の中で望ましい人間関係や行動の在り方などについて考え、判断し、協同して実践している。	遠足・集団宿泊的行事の意義や、校外における集団生活の在り方、公衆道徳などについて理解している。	・遠足 (第1, 2, 3, 5学年実施) ・宿泊学習 (第4学年) ・修学旅行 (第6学年)
奉仕的行事 勤労生産・	学校や地域社会など公共のために役立つことや働くことに関心をもち、積極的に勤労生産・奉仕的行事に取り組もうとしている。	学校や学年の一員としての自覚をもち、よりよい勤労や生産の在り方について考え、判断し、協同して実践している。	勤労生産・奉仕的行事の意義や、勤労体験活動、ボランティア活動などについて理解している。	・校外美化活動 ・大掃除
評価の仕方	学校行事に積極的に取り組もうとしているか等を、活動前、活動中、活動後に評価する。 評価方法：観察 準備物等	学校行事のねらいについて考え、判断し、実践しているか、主に活動中に評価する。 評価方法：観察等	学校行事の意義を理解しているか、主に活動後の学校行事カードなどの振り返りから評価する。 評価方法：振り返りカード等	

3 学校行事計画時数

学 年	儀 式	学 芸	健康・体育	遠足・宿泊	勤労奉仕	合 計
第1学年	7.5	4	22.5	5	4	43
第2学年	8	4	20.5	5	4	41.5
第3学年	8	10	26.5	6	4	54.5
第4学年	8	10	20.5	12	4	54.5
第5学年	8	4	26.5	6	5	49.5
第6学年	7.5	4	26.5	12	4	54

学びゆう会ってどんなこと？

○学びゆう会は、みんなの生かつを楽しくし、なかよくすごすためにどうしたらいいかを考えるべんきょうです。

【まもらなければいけないこと】

- (1) みんなで考える
- (2) 少ないいけんも大切にする
- (3) きまったことは、かならずまもる
- (4) 目ひょうをもって、じっさいに取り組む
- (5) 友だちとなかよくたすけあう



【ぎだいポスト】

○水色の紙に、学びゆうで話し合いたいことを書きます。書いたら、ぎだいポストの中に入れます。

○けいかくいん(つぎの学びゆう会のしかいだん)の人と先生でポストを開けます。どれをぎだいにするかきめます。

【そうだんポスト】

○ピンクの紙に、こまっていることやなやんでいて、そうだんしたいことがあったら、書きます。書いたら、そうだんポストに入れます。

○先生がポストを開けます。先生と話をしたり、学びゆう会で話し合ったりします。

学びゆう会のすすめ方

※始まるまでに、黒ばんに「だい〇回学びゆう会」と「しかいだん」を黒板に書いておく。

1 はじめ

しかい「きりつ、これからだい〇回学びゆう会を始めます。

れい、ちゃくせき」

しかい「今日のしかいは、☆☆です。」

「ふくしかいは、★★です。」

「黒ばん書記の△△です。」

「ノート書記の▲▲です。」

※名前をいったあとに、学びゆう会でのじぶんの目ひょうをいう。

しかいだん全員「よろしくおねがいます。」



2 ぎだいのたしかめ

「きょうのぎだいは、『〇〇』です。□□さん、せつ明をおねがいます。」

3 ていあんりゆうのせつ明

「わたし（ぼく）は、『〇〇』についてみんなで話し合いたいと思ってこのぎだいをていあんしました。なぜかというと、・・・・・・・・・・だからです。」

→「□□さん、ありがとうございました。」

→「□□さんに、しつ問はありませんか。」

4 話し合い

「みんなからのいけんをおねがいます。」

「グループで話し合ってください。」

「時間は〇分です。」

はっぴょうのしかた

【話がつながるようにしよう】

「□□（さんのいけん）にさんせいで、～です。」

「□□（さんのいけん）にはんたいで、～です。」

「□□（さんのいけん）ににていて、～です。」

「□□（さんのいけん）につけてして、～です。」

「わたし（ぼく）は、みんなとちがって～というように考えます。（思います）」

◎さんせいやはんたいのわけもつけくわえよう！（なぜかというと・・・）

◎はっきりと、みんなに聞こえるように

5 話し合いのまとめ

「いけんが、出つくしたようなので（時間になったので）そろそろ、まとめたいと思います。」

*まだ、話し合いをしたい人は、「ちょっとまってください」といって、じぶんのいけんをいみましょう。（決まった後には、いけんは言えません。）

方ほう①「はい」「はく手」で決める。

「▽▽は、▼▼ということにしていいですか。」

→「はい。」

「はく手で決めてもいいですか。」 →「はい」

→「▽▽は、▼▼でいい人ははく手をおねがいします。」

方ほう②多数決をとる。（さい後の手だんです）

「多数決をとってもいいですか。」 →「はい」

→「■と◇と△の中からえらんでください。一人一回手をあげてください。」

話し合いのおりあいのつけ方

AとBのいけんがある場合

① AかBのどちらかをえらぶ

② AとBのいけんをあわせる

③ Aをしてから、Bもやる

④ Cのいけんを考える

ルールです！

話し合っただけ決めたことは、自分をはんたいしていたことでも、したがいませぬ。

6 かくにん

「今日決まったことをまとめます。」「ノート書記の▲▲さんおねがいします。」

「・・・・・・・・と決まりました。」

「ありがとうございました。決まったことは、みんなでまもりましょう（もりあげましょう）」



7 先生からのお話

「先生からのお話。先生、おねがいします。」「ありがとうございました」

8 おわり 「きりつ、これでだい〇回学きゅう会をおわりにします。れい」

【題材】 6年生とおいもパーティーをしよう

【関連及び統合】学級活動(1)ウ 学校における多様な集団の生活の向上 児童会活動(2) 異年齢集団による交流

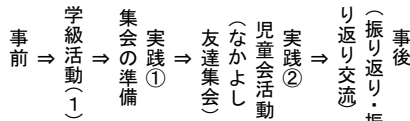
【プログラムのねらい】異学年との交流を深めるための方法や手段を全員で考え、話し合い、それを協力して実践できるようにする。

【プログラムを通して目指す児童の姿】異学年との交流を通して、自分の役割を果たすとともに、互いのよさを認め合い、所属感や連帯感を持つことができる。

【これまでの活動】

ペア学級や縦割り班での活動、地域の方との活動などの異年齢集団による交流

【関連図】



【関連・統合の意図】

学級活動(1)で活動の目標を達成するための方法や手段を全員で話し合い、自治的、自発的な活動となるようにする。さらに自分の役割を考え、準備等を行えるようにする。児童会活動では、活動の目標を意識し、自発的、自治的に実践する。自発的、自治的な活動を重ねることで目指す児童の姿に迫る。

【望ましい人間関係の形成に向けて】

自分たちができることで6年生に楽しんでもらえることを話し合う。実践までの準備では、自分の役割を果たすとともに仲よく助け合えるようにする。活動を楽しみお互いのよいところを認め合い、所属感や連帯感を持ち、望ましい人間関係が形成できるようにする。

【次の活動へとつなげる】

◎縦割り班交流給食
縦割り班で、お世話になった6年生を囲んで仲よく楽しい給食となるように交流する。

事前 帰りの会

- ・日々の生活を振り返り、6年生にお世話になっていることに気付く。
- ・自分の考えを持って話し合い活動に臨めるようにする。

【事前調査】

- ・6年生にお世話になっていることは何ですか。
- ・6年生と一緒にやりたいことは何ですか。
- ・6年生に教えてもらいたいことはありますか。
- ・6年生は、すごいなあと思うことは何ですか。

今まで一緒に活動したときの振り返りや活動している様子(画像など)を示し、アンケートに答えられるようにする。

6年生に対して具体的なイメージをもってアンケートに答えられるようにする。

【題材を知る】

- ・全校児童集会で「なかよし友達集会」があることを知る。
 - ・題材を知り、自分の考えを持って話し合い活動に臨む。
 - ・学級活動での話し合いの進め方を確認する。
 - ・司会団の役割分担をする。
- ※アンケート詳細は事前調査参照

話し合い活動 学級活動(1)

- ・「なかよし友達集会」で行う6年生との交流活動について話し合うことができる。
- ・6年生に感謝するために自分たちのできることを考え、実践しようとする。

1 議題及び提案理由の確認

「6年生に感謝する」という提案理由を意識して、話し合いを進めることができるように助言する。また、自治的活動の条件についても確認する。

- 2 話し合い①「どんなパーティーにするか」
- 話し合い②「どんなゲームにするか」
- 話し合い③「どんな係が必要か」

小グループでの話し合いの時間では、全員が考えを発表できるように小グループの司会を中心に進めるようにする。

小グループでの話し合いで出された意見はグループの記録者がホワイトボードに書き、一人一人の自発的な思いを大切にしようという意識を高めるようにする。

- 3 決まったことの発表
- 4 話し合いの振り返りをする。
- 5 教師の話

前回の学級活動と比べ、よかったところを称賛するとともに、今後の課題を伝える。計画委員会にねぎらいの言葉を掛ける。

※詳細は学習指導案参照

実践 係活動

- ・学級活動(1)で話し合ったことを基に集会の準備を進んで行う。
- ・友達のよさを認め合い、仲よく協力して活動できるようにする。

○係ごとに集会の準備を行う。

仲よく協力して集会の準備を行うことができるように全員で役割分担を決めたり、準備の進め方を考えたりする時間を設定する。

友達のよいところや自分の得意なことを認め合って活動している係を教師が見取り、称賛することでよさを生かして活動に取り組むことができるようにする。

係の準備で必要なものを事前に考えさせ、必要なものは揃えておきすぐに活動できるようにする。

児童が主体的に活動できるように見守りながら、準備物などできあがったものを称賛し、次の活動へも意欲を持って取り組めるようにする。

2年生から6年生に招待状を書き、渡す際にゲームについての説明に係の児童からするようにする。

※詳細は活動支援案①参照

実践 児童会活動(なかよし友達集会)

- ・自分の役割や責任を果たすとともに、異学年で活動する楽しさを味わう。
- ・2年生と6年生の間に、所属感や連帯感を持ち、互いのよさを認め合おうとする。

「なかよし友達集会」

◎開会セレモニー(全校児童)
・2年生と6年生の交流活動

- 1 始めの言葉
- 2 なかよしゲーム
- 3 2年生からのプレゼント(メダル、歌など)
- 4 6年生からのプレゼント(おいも料理、レシピ、手紙など)
- 5 感想の発表
- 6 終わりの言葉

◎閉会セレモニー(全校児童、振り返り)

2年生と6年生が十分に交流を図ることができるように、活動前に目標を確認する。

自分たちが計画したことを協力して進められるようにし、教師は児童の自主的な活動については見守るようにする。

教師も仲よしゲームの中に入り、2年生と6年生が積極的に交流できている場面を見取り称賛する。

※詳細は活動支援案②参照

事後(振り返り) 帰りの会

- ・振り返りを行い、反省を生かして、次の活動へとつなげる。
- ・異学年においても互いのよさを認め合うことができるようにする。

○「おいもパーティー」の準備や集会活動で仲よく協力してできたかなど振り返りを行う。

自発的、自治的に取り組んだことでよかったことや改善した方よいところを考え、次の活動に生かすことができるようにする。

協力して準備を進めることや相手の立場になって考え、行動する大切さを理解できるように助言する。

※カード詳細は振り返りカード参照

事後(振り返りの交流)

○2年生と6年生で振り返りを交流する。

互いに向けたメッセージを記述し交流する。楽しかったことやうれしかったこと、今度はどんなことをしたいかなど視点を設け、書くことができるようにする。

【凡例】

人間関係を形成するための支援

自主的、実践的な態度を育てる手立て

指導上の留意点

プログラム 1

6年生とおいも

パーティーをしよう

- 1 議題 6年生とおいもパーティーをしよう
 (1) ウ 学校における多様な集団の生活の向上
 【関連】児童会活動（なかよし友達集会）

2 議題について

(1) 児童の実態（計26名）

本学級の児童は、第6学年児童と入学前から交流を行っている。第6学年児童が第4学年の時に幼稚園訪問等を通して交流し、入学してからも継続して活動している。

6年生との交流についてアンケート調査を行った。

	質問事項	回 答 (人)
1	6年生にお世話になっていることは何ですか。 (自由記述, 複数回答)	<ul style="list-style-type: none"> ・登校してくるとき (登校班長) 20 ・縦割り班活動の時に教えてくれる 15 ・休み時間一緒に遊んでくれる 7 ・委員会活動 (図書, 給食, さわやか, 体育等) 7 ・困ったときに声をかけてくれる 5
2	6年生とやってみたいことは何ですか。	<ul style="list-style-type: none"> ・サッカー, ドッチボール 15 ・縄跳び (長縄, 短縄) 5 ・ゲーム (フルーツバスケット, 伝言ゲーム等) 4 ・勉強 2
3	6年生はすごいと思うことは何ですか。	<ul style="list-style-type: none"> ・クラス全員で行っている長縄跳び 9 ・サッカーがうまい 7 ・力が強い, 足が速い 5 ・難しい勉強をしている 5

アンケート結果から、6年生との交流を通して児童は、あこがれや尊敬の気持ちやさらに親睦を深めたいという思いがあることが分かった。また、6年生や代表委員会等の取組をお手本として、1年生のお世話をするなどの活動も自主的に行う児童がいる。

(2) 議題選定の理由

「どんなパーティーにするか」「どんな飾り付けをするか」「どんな係が必要か」という3点について、互いの意見を尊重し合いながら協力して計画を立て、実践することを通して、学級内と6年生との人間関係を深めるとともに、自分たちの力でよい学級生活をつくっていかうとする自治的な自主的、実践的な態度を高めていきたい。

道徳の内容項目「〔第1学年及び第2学年〕2主として他の人とのかかわり(4)日頃世話になっている人々に感謝することと関連を図り、6年生と交流を深め、望ましい人間関係を築く態度を形成するために「6年生に感謝の気持ちを伝える」場を設定する。6年生を招待し、集会活動を企画、運営するために役割分担を行ったり、交流を深めるためのプログラムを考えたりすることで楽しい学級生活及び学校における多様な集団の生活向上をめざした活動としたい。さらに生活科で栽培したサツマイモを自分たちで調理するだけではなく、6年生にも調理をしてもらい、集会活動後の交流へと広げていくことができるようにする。

3 評価規準と本議題が目指す児童の姿

観 点	集団活動や生活への 関心・意欲・態度	集団の一員としての 思考・判断・実践	集団活動や生活への 知識・理解
評 価 規 準	異学年との交流に関心をもち、他の児童と協力して進んで集団活動に取り組もうとしている。	異学年との交流を楽しくするために話し合い、自己の役割や集団としてのよりよい方法などについて考え、判断し、実践している。	みんなで学級生活を楽しくすることの大切さや、学級集団としての意見をまとめる話し合い活動の基本的な進め方などについて理解している。

目指す児童の姿	6年生との交流に関心を持ち、感謝の気持ちが伝わるような活動を他の児童と協力して取り組もうとしている。	6年生との交流を楽しむために話し合い、自分の役割や交流内容を考え、実践している。	6年生と仲良く楽しく交流するための意見をまとめる話し合い活動の進め方を理解している。
---------	--	--	--

4 活動の指導と見通し

	活動内容	いつ	指導・支援	目指す児童の姿と評価方法
話し合いの準備	<ul style="list-style-type: none"> 6年生との交流に関するアンケート調査を行う。 <p>【計画委員会】 議題の提案 役割分担 活動計画案の作成</p> <ul style="list-style-type: none"> 議題を知る 議題について考えておく。 	休み時間 帰りの会	<ul style="list-style-type: none"> アンケート調査をもとに、教師から、6年生に感謝の気持ちを表すことができないかを問いかける。 帰りの会で計画委員会が議題「おいもパーティーの計画を立てよう」を全員に提案し、議題を決定できるようにする。 計画委員会と教師で活動計画を作成し、役割を確認する。 	<p>【関心・意欲・態度】</p> <ul style="list-style-type: none"> 6年生との交流を深めたり、よりよい学級生活づくりのために、進んで議題を選ぼうとしている。 <p>[提案カード・観察]</p> <p>【知識・理解】</p> <ul style="list-style-type: none"> 「おいもパーティー」を開くために話し合わなければならないことを理解している。 <p>[計画委員会活動計画]</p>
話し合い	本時の展開 参照			
実行	<ul style="list-style-type: none"> 係ごとに、集会の準備を行う。 おいもパーティー（なかよし友達）を行う。 		<ul style="list-style-type: none"> 会場づくりやゲームの準備が、みんなで仲良く助け合っているようにする。 進行は、できるだけ係の児童に任せる。 6年生に感謝の気持ちを伝える会だということを意識させ、自分勝手な行動はとらず約束を守って楽しい活動とするように声かけをする。 	<p>【関心・意欲・態度】</p> <ul style="list-style-type: none"> 準備や集会に進んで取り組もうとしている。 <p>[観察]</p> <p>【思考・判断・実践】</p> <ul style="list-style-type: none"> 集会の目的を考え、友達と協力し責任を持って準備したり、参加したりしている。 <p>[観察、振り返りカード]</p>
振り返り	<ul style="list-style-type: none"> 学級全体や個人としてよかったこと、改善点などについて話し合い、次の活動に生かす点を明らかにする。 6年生にお礼の手紙を書き交流を深める。 	帰りの会	<ul style="list-style-type: none"> 一人一人が自分の役割を果たすことの大切さを実感できるように、会を成功できたことを認め、称賛する。 お礼の手紙を書くことで、これからの交流を広げることができるようにする。 今回だけで終わらず、これからもお世話になっている人たちへの感謝の気持ちを忘れずに、自分たちも協力できるよう支援する。 	<p>【思考・判断・実践】</p> <ul style="list-style-type: none"> 6年生との交流を通して、自分や友達の活動のよかったことに気付き、今後の生活に生かそうとしている。 <p>[観察、お礼の手紙、振り返りカード、感想文]</p>

5 本時の展開

(1) 本時のねらい

お世話になっている6年生に感謝の気持ちを伝えるために、自分たちができることを考え、実践しようとする。

(2) 児童の活動計画

学びゅう会 かつどう計画		*月*日 (*) *時間目
ぎだい	6年生とおいもパーティーをしよう	
やくわり	し会 (□□□□) 黒ばん書記 (□□□□)	ふくし会・ていあんしゃ (□□□□) ノート書記 (□□□□)
ていあんりゆう	学びゅうで行ったアンケートのけっかから、「6年生にお世話になっている」ことや「6年生と楽しくあそびたい」「生活科で育てたおいもをつかってパーティーがしたい」ということがわかりました。そこで、なかよし友達集会の時に「ありがとう」の気持ちをこめて「おいもパーティー」がしたいと思い、ていあんしました。	
めあて	お世話になっている6年生にかんしゃの気持ちをつたえるために「おいもパーティー」のくふうとゲームとかかりを考えよう。	
きまってること	○やる日・・・*月*日 (*) *時間目	○場所・・・音楽室
	○6年生にしょうたいじょうをおくる	○6年生にもおいもをりょうりしてもらう
	○やること・・・みんなでよういできること、2年生と6年生がいっしょに楽しめること	
話合いのじゅんじょ (時間)	気をつけること	じゅんび
1 はじめのことは	・大きな声ではっきりと言う。	
2 し会グループのしょうかい	・じぶんのめあてを言って、じこしょうかいをする。	
3 ぎだいのかくにん	「おいもパーティーをしよう」	
4 ていあんりゆうやめあてのかくにん	・大きな声でみんなにわかりやすくせつめいする。	・せつめいの紙
5 きまっていることのかくにん	・黒ばんに書いて、わすれないようにする。	
6 話合い		
①どんなパーティーにするか	・ていあんりゆうにそって、「6年生といっしょに楽しめる」パーティーやゲームにしたらいいか考えてもらう	・タイマー ・ホワイトボード ・ペン
②どんなゲームにするか		
③どんなかかりがひつようか	・かならず、ぜんいんがかかりに入るように考えてもらう。かざりつけのしかたも考えてもらう。	
7 きまったことのはっぴょう	・きまったことをみんなできょう力してできるようにおねがいする。	
8 ふりかえり	・じぶんや友だちのよかったところを考えてはっぴょうする。	学びゅう会ノート
9 先生の話		
10 おわりのことは	・気持ちのよいあいさつをする。	

(3) 教師の指導計画

話合いの順序	指導上の留意点 望ましい人間関係の形成に向けた支援ポイント	目指す児童の姿と 評価方法
1 始めの言葉 2 計画委員の 自己紹介 3 議題の確認 4 提案理由やめ あての確認	<ul style="list-style-type: none"> ・計画委員が話合いの自分のめあてを自信をもって言えるように支援する。 ・提案者の思いを学級の全員が理解し、話合いの指針となるように発表できるようにする。 ・話合いを始める前に「6年生に感謝する」という提案理由を意識し、みんなで楽しめる内容を提案できるように助言する。 	
5 決まっている こと	<ul style="list-style-type: none"> ・話合いの準備の中で用意したものを活用する。 ・自治的活動の条件についてもふれるようにする。 	【思考・判断・実践】 <ul style="list-style-type: none"> ・提案理由を踏まえて集会の目的に合った内容や工夫、係について考えて発言している。
6 話合い ①どんなパーティーにするか ②どんなゲームにするか ③どんな係が必要か	<ul style="list-style-type: none"> ・小グループでの話合いの時間を設け、全員が議題について考えを発表できるようにする。 ・小グループの話合いでは、輪番制で司会者、発表者、記録者を決めておき、進めることができるようにする。 ・小グループで出された意見は、記録者がすべてホワイトボードに書く。全員の意見を可視化できるようにすることで、一人一人の考えを大切にしようという意識を高める。 ・発言者が偏らないように助言するとともに、なかなか発言できない児童や進んで参加できない児童には、個別に助言する。 ・少数意見でも発言の機会を与え、話合いがより深まるようにする。 ・自分（自分のグループ）の考えに固執せずに、納得した上で考えを変えるなど、折り合いを付けることなどを司会者がうまく進められない場合は、助言する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・友達の意見を参考にして、新たな意見や折衷案を考えて発言している。 【知識・理解】 <ul style="list-style-type: none"> ・話合いの進め方や約束を理解している。 【観察・学級活動ノート】 【観察】
7 決まったこと の発表	<ul style="list-style-type: none"> ・決まったことは、全員で協力して取り組むことを司会者から確認する。 	
8 話合いの振り返り	<ul style="list-style-type: none"> ・よかった点や課題について自己評価するとともに、友達よかった点などについても相互評価ができるように助言する。 ・話合いの最後に、話合いの中で頑張ったことを発表することで、自分のことだけでなく、友達の良いところにも目を向けることができるようにする。 	
9 先生の話	<ul style="list-style-type: none"> ・前回の学級会と比べてよかったところを称賛するとともに、今後の課題を伝える。 ・計画委員へねぎらいの言葉を掛けるとともに、実践への見通しをもたせ、事後の活動への意欲が高まるような言葉掛けをする。 	
10 終わりの言葉		

6 事後の活動

日 時	児童の活動	指導上の留意点	目指す児童の姿と 評価方法
*月*日 帰りの会	<ul style="list-style-type: none"> ・決まったことを学級活動コーナーに掲示する。 ・係の中で役割分担をする。 ・6年生に招待状を書く。 	<ul style="list-style-type: none"> ・学級会で決まったことを要点をまとめて書けるように計画委員会に助言する。 ・複数名で担当し，協力して活動できるようにする。 ・6年生に気持ちが伝わるような招待状を書くように助言する。 	<p>【関心・意欲・態度】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・準備や集会に進んで取り組もうとしている。 〔観察〕 <p>【思考・判断・実践】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・集会の目的を考え，友達と協力し責任を持って準備したり，参加したりしている。 〔観察・振り返りカード・お礼の手紙・感想文〕
*月*日~ *日 休み時間	<ul style="list-style-type: none"> ・係ごとの準備をする。 (飾り付け，プログラム作り，ゲームの準備等) 	<ul style="list-style-type: none"> ・協力したり，工夫したりして活動している児童を称賛する。 	
*月*日 *,*校 時 帰りの会	<ul style="list-style-type: none"> ・「おいもパーティー」 ・振り返り ・6年生にお礼の手紙を書いて交流を深める。 	<ul style="list-style-type: none"> ・自分の態度を振り返り，今後の6年生との交流や生活づくりに生かせるようにするとともに，友達のよいところについても認められるように助言する。 	

6年生にかんするアンケート

2年 組 名前

○6年生とのことについてしつ問します。しつ問に答えましょう。

1 6年生にお世話になっていることはなんですか。

2 6年生とやってみたいことはなんですか。

3 6年生に教えてもらいたいことがありますか。

4 6年生のすごいなあと思うところは、どんなところですか。

6年生とおいもパーティーをしよう

名前

話し合うこと	じぶんの考え	きまったこと
① どんなパーティーに したいですか		
② どんなゲームをした いですか		
③ プレゼントは何にしま すか		
④ どんなかかりになり たいですか		

今日の学きゅう会の話合いで思ったことを書きましょう。



【じぶんのかかりやじゅんびすること】

•めあてを考えてはっぴょうしましたか		•じぶんのいけんをはっぴょうしましたか	
•友だちのいけんをよく聞きましたか		•きまったこと、やくわりがわかりましたか	

題材 6年生とおいもパーティーをしよう

【係準備】活動支援案①

〔ねらい〕 学級活動で計画した6年生とのおいもパーティーに向けて活動の方法や手段をみんなで考え、仲よく協力して、互いのよさを認め合って実践しようとする。

① 係ごとに分かれ、自分たちの活動について、目標を確認する。

自分たちの係の仕事を話し合い、互いのよさを発揮して実践できるように役割分担をする。

一人一人が役割を分担し、その役割を全員が共通理解し、共に協力して取り組もうとする。

目標を意識する

係の仕事を話し合って、分担しましょう。友達のよいところや自分の得意なことが生かせるように役割を決めましょう。

準備に必要なだと予想されるものは、教師が前もって用意し、すぐに活動に入れるようにする。

② 集会活動のための準備を行う。

係ごとに、仲よく協力して準備をする。交流をしながら、友達のよいところに気付く。

2年生は、6年生に招待状を書き、直接届け「おいもパーティー」への意識を高める。

実践する

友達のよいところや自分の得意なことをみんなよく分かっていますね。6年生が楽しんでくれそうな会ができそうですね。

6年生が喜んでくれるように心をこめて招待状を書きましょう。

児童の発意や発想が生かされるように教師は見守り、助言を求められたら行うようにする。

③ 集会活動の係準備や活動を振り返る。【帰りの会】

仲よく協力して活動できたか、集会活動を楽しくするための準備ができたかなどを振り返る。

友達のよいところに気づき、認め合う。

振り返る

協力して片付けすると早くきれいにできますね。友達のよかったところはどんなことですか。

お互いを認め合う場面を積極的に取り入れることで、友達とのかかわり方に自信を持たせるようにする。

〈凡例〉

目指す児童の姿

望ましい人間関係の形成に向けた声かけの例

指導上の留意点など

題材 6年生とおいもパーティーをしよう

【なかよし友達集会】活動支援案②

〔ねらい〕 学級活動で計画した6年生とのおいもパーティーに向けて自分の役割を果たすとともに、仲よく協力して、互いのよさを認め合って実践しようとする。

① 自分の役割を果たすとともに、仲よく協力して活動できるように目標を確認する。

集会活動の目標を確認し、お世話になっている6年生に感謝の気持ちを持ち、活動しようとする。

一人一人が役割を分担し、その役割を全員が共通理解し、共に協力して取り組もうとする。

目標を意識する

お世話になっている6年生にみんなは、どんなことができるかな。6年生に楽しんでもらえるように、みんなで考えたことに協力して取り組みましょう。

目標や取組を一斉、係ごとに分けて確認することで活動への意欲を持てるようにする。

② 2年生と6年生で交流を深める。

グループで、目標を意識して実践する。交流をしながら、友達のいいところに気付く。

2年生と6年生の交流を深めることで、自分の役割を果たすとともに積極的に話しかけたり、活動したりする。

実践する

いつもリーダーとして頑張っている6年生は、ゲームをするのが上手ですね。2年生に優しくしてくれてすてきですね。

2年生は、上手に進行できていますね。どんどん6年生と仲よくなりましょう。

教師も児童と一緒に活動し、交流が深められている場面を見取り、称賛する。

③ 協力して後片付けをしたり、活動を振り返ったりする。【帰りの会】

仲よく協力して活動できたか、目標を意識して集会活動を楽しく過ごすことができたかななどを振り返る。

友達のよいところに気づき、認め合う。

振り返る

協力して片付けすると早くきれいにできますね。友達のよかったところはどんなことですか。

異学年間でもお互いを認め合う場面を積極的に取り入れることで、友達とのかかわり方に自信を持たせるようにする。

〈凡例〉

目指す児童の姿

望ましい人間関係の形成に向けた声かけの例

指導上の留意点など

6年生とおいもパーティーをしよう

名前

【じぶんのかかり】

かかり どんなことをがんばりましたか。

--

【パーティーをふりかえって】

○6年生とパーティーをしたのしかったこと

○これからいっしょにやってみたいこと

【6年生のみなさんへ】 名前



おいもパーティーを振り返って

名前

【2年生とのかかわり】*どんなことを意識してかかわりましたか。

--

【パーティーを振り返って】

○2年生とパーティーをして思ったことや次にやってみたいことを書きましょう。

【2年生のみなさんへ】 名前



【題材】 教室をきれいに

【関連及び統合】学級活動（２）エ 清掃などの当番活動と働くことの意義 ウ 望ましい人間関係の形成
児童会活動（２）（縦割り班における校内清掃）

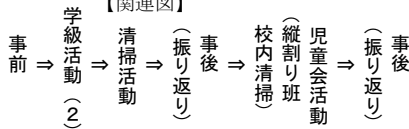
【プログラムのねらい】今での清掃活動を振り返り、清掃の大切さや当番活動の意義を理解し、みんなで協力して清掃に取り組むことができるようにする。

【プログラムを通して目指す児童の姿】みんなと協力して働くことの意義を理解し、進んで学校をきれいにする。集団の中で、自分の役割を考え、所属意識を持ち、活動に取り組むことができる。

【これまでの活動】

- ◎清掃活動（日常）
- ◎縦割り班校内清掃（児童会活動）
- ◎学校行事（縦割り班校外美化活動）

【関連図】



【関連・統合の意図】

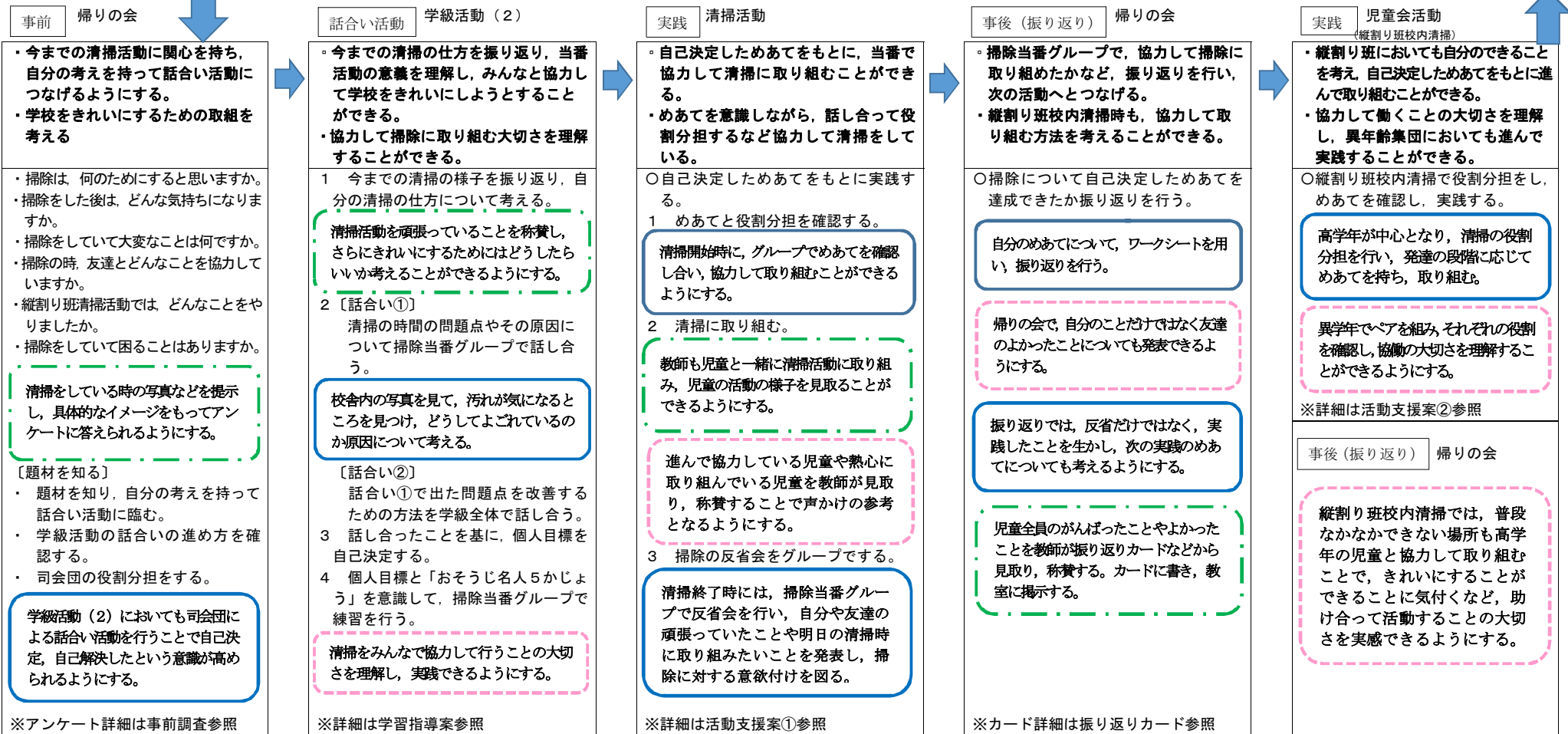
学級活動（２）の工とウを統合させることにより、協働の大切さを理解し、積極的に協力して活動に取り組むことができる。学級の清掃活動で役割分担を行い、協力して取り組む大切さを実感させ、縦割り班における校内清掃においても、自分の役割を考え、協力して実践することができるようにする。

【望ましい人間関係の形成に向けて】

清掃活動は、自分人ではなく、みんなで協力して取り組むことが大切であることを実感できるようにする。役割分担をし、自分の担当が終わったら、進んで終わっていない所を手伝うなど、所属意識を持って、仲よく助け合うことができる。

【次の活動へつなげる】

- ◎清掃活動（日常）
- ◎縦割り班校内清掃（児童会活動）
- ◎学校行事（縦割り班校外美化活動）



【凡例】

人間関係を形成するための支援

自主的、実践的な態度を育てる手立て

指導上の留意点

プログラム2

教室をきれいに

- 1 題材 教室をきれいに
 (2) エ 清掃などの当番活動等の役割や働くことの意義の理解
 ウ 望ましい人間関係の形成
 (関連) 児童会活動 (縦割り班における校内・校外美化活動)

2 児童の実態と題材設定の理由

本学級の児童は、身支度を調える、各清掃場所ごとの清掃の仕方で行うなどの約束を守って清掃活動に参加し、スムーズに活動することができるようになってきた。しかし、清掃が終わってから教室を見ると清掃用具が整頓されていなかったり、ゴミが残っていたりすることがある。約束を守ってスムーズに行うことだけに気を取られていて、清掃用具を正しく使ったり、みんなと協力して進んで教室や学校をきれいにしたりしようとする意識は、まだ低いと感じる。

清掃についての話し合い活動を行うことで、普段の清掃を振り返り、一人一人がめあてをもち、進んで活動できるようにするとともに、協働の大切さや自分の役割をを考えて働く喜びを感じることができるようになりたいと考え、本題材を設定した。

3 評価規準と本題材が目指す児童の姿

観点	集団活動や生活への 関心・意欲・態度	集団の一員としての 思考・判断・実践	集団活動や生活についての 知識・理解
評価規準	清掃などの当番活動に関心をもち、友達と協力しながら、進んで日常生活に取り組もうとしている。	学級生活を気持ちよく、楽しくするために清掃の課題について話し合い、自分に合ったよりよい解決方法などについて考え、判断し、友達と協力しながら実践している。	当番活動の役割や働くことの意義や大切さを理解し、そのための基本的な生活や学習の仕方などについて理解している。
目指す児童の姿	教室などの清掃活動の仕方について関心を持ち、みんなと協力して取り組もうとしている。	清掃活動の仕方を改善し、自分なりによりよい清掃の仕方を自己決定しようとする。 友達と協力して役割分担を考えながら実践している。	学級での清掃活動の大切さが分かり、掃除用具の使い方やみんなと協力して行う取り組み方を理解している。

4 活動の指導の見通し

	活動内容	いつ	指導上の留意点・資料	目指す児童の姿・評価方法
事前	<ul style="list-style-type: none"> 題材を知る 清掃に関するアンケート調査を行う 自分の問題について考えておく 清掃当番グループで話し合いをすることを知り、役割分担を行う。 司会グループは、話し合いの柱立てや役割分担などを教師と打ち合わせる。 	朝の会	<ul style="list-style-type: none"> アンケート調査では、今までの清掃活動を振り返ることができるようにし、意見を持って学級活動に参加できるように意識付けを行う。 清掃場所で気になる場所を撮影しておく。 みんなと協力して自信を持って学級活動を運営できるように指導する。 	<ul style="list-style-type: none"> 自分の清掃の仕方を振り返り、協力して行う清掃活動について考える (関心・意欲・態度) [実態調査] 話し合いの進め方を理解している。 (思考・判断・実践) [観察]
話し合い	<ul style="list-style-type: none"> 本時の展開 参照 			
事後	<ul style="list-style-type: none"> 「おそうじ名人5かじょう」を教室掲示し、自分のめあてにそって清掃を行い、1週間後振り返りを行う。 		<ul style="list-style-type: none"> 「めぎせおそうじ名人カード」に実践したことや友達がんばっていることを記録することを伝える。 	<ul style="list-style-type: none"> 自分で決めたことについて努力している。 友達の清掃の仕方でのよいところを見つけることができる。

<ul style="list-style-type: none"> 縦割り班で行う校内美化活動でも自分に役割や清掃の仕方を考え、活動することができるようにする。 	<ul style="list-style-type: none"> 帰りの会の中で全員が発表できるように伝える。 	<p>(思考・判断・実践) [観察・めざせおそうじ名人カード]</p> <ul style="list-style-type: none"> 実践していることを発表している。 <p>(思考・判断・実践) [発表・観察]</p>
--	--	--

5 本時の展開

(1) 本時のねらい

今までの清掃の仕方を振り返り、当番活動の意義を理解し、みんなと協力しながら教室や学校をきれいにしようとするができる。

(2) 本時の展開

	児童の活動	指導上の留意点 望ましい人間関係の形成に向けた支援ポイント	資料	目指す児童の姿と評価方法
つかむ	<p>1 今までの清掃の様子を振り返り、自分の清掃のしかたについて考える。</p> <ul style="list-style-type: none"> アンケート結果をから気付いたことを話し合う。 教室の写真から、汚れの気になるところを確認する。 「おそうじ名人5かじょう」を知り、自分たちの清掃の仕方はどうだったか考える。 <p>2 清掃グループに分かれて話し合う。</p> <ul style="list-style-type: none"> 自分たちのグループでは、よくできているところはどこか、何が問題だったかを考えて、発表する。 <p>3 話し合うことを確認する。</p>	<ul style="list-style-type: none"> 清掃活動ががんばっていることを称賛する。さらにみんなで協力したり、きれいにするためには、どうしたらいいか考えるように助言する。 困っていることや大変なことが何かを確認させ、それを改善するためにはどうしたらいいか考える話合いだということを意識させるようにする。 自分たちの掃除分担だけでなく、学校の中で気のあるところがあったら、発表してもいいことを知らせる。 「おそうじ名人5かじょう」を掲示し、振り返りのポイントとなるようにする。 当番グループに分かれて話合いを進めることで、実践につながる話合いになるようにする。 アンケート結果などを参考にし、よくできていたところと改善が必要などころの考えてまとめられるようにする。 話し合うことを黒板に書き出し、話合いを可視化する。 	<ul style="list-style-type: none"> アンケートの結果 清掃活動後の教室の写真 おそうじ名人5かじょう掲示物 ホワイトボード 黒板用掲示物 	<ul style="list-style-type: none"> 自分の清掃の仕方に関心をもっている。(関心・意欲・態度) [観察・アンケート] 自分から進んで協力して清掃する大切さについて理解している。(知識・理解) [観察]
さぐる 見つけ	<p>4 [話合い①] 清掃の時間によくできていないと思うこと、問題点の原因を話し合い、発表する。</p>	<ul style="list-style-type: none"> 他のグループの発表を自分たちの意見と比較しながら聞くことができるように助言する。 グループ全員が自分の意見を言えるように司会者が進行するようにする。 	<ul style="list-style-type: none"> ワークシート ホワイトボード 	

る	<p>〔話し合い②〕 話し合い①で出た問題点を解決するためにはどうしたらいいか学級全体で話し合い、発表する。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・具体的に提案ができるように支援する。 ・始めにグループで話し合い、解決する方法を考える。その後、グループの発表者が、意見を発表することで、学級全員が話し合いに積極的に参加できるようにする。 ・話し合っただけの意見をホワイトボードに書き、自己決定の際に参考とできるように掲示する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・どんな清掃の仕方がいいのか自分の意見を出しながら話し合っている。 (思考・判断・実践) 〔観察〕
決める	<p>5 自分で実践しようと思うことを「めざせおそうじ名人カード」に書く。</p> <p>6 自己決定したことや「おそうじ名人5かじょう」を意識してグループで、練習をする。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・具体的にどんなめあてを持って清掃をするのか分かるようにカードに書くことができるようにする ・なかなか書き出せない児童には、板書したものや友達の考えを参考にできるように助言する。 ・友達のめあても確認しながら、協力して取り組むことができるように、実際に掃除用具を用い、練習することができるようにする。 	<ul style="list-style-type: none"> ・自分が実践できそうなことを考え、清掃の仕方を決定している。 (思考・判断・実践) 〔発表・カード〕

(3) 事後指導

- ・1週間自己決定したことを実践し、清掃をしたときの気持ちや、友達のよいところなどを「めざせおそうじ名人カード」に記録するように伝える。
- ・帰りの会で、実践していることを学級全体に発表することを伝える。
- ・縦割り班清掃活動でも、自己決定したことを実践することができるようにする。

そうじについてのアンケート

名前

1 そうじは、何のためにすると思いますか

2 そうじをしたあとは、どんな気持ちになりますか

3 そうじをしていて、たいへんなことはありますか。

4 友だちとそうじのとき、どんなことをきょう力していますか。

5 たてわりはんびかかつどうで、どんなことをしましたか。

6 そうじをしていてこまることはありますか。

教室をきれいに

名前

今日の学きゅうかつどうの話合いで思ったことを書きましょう。

【じぶんのめあて】



【ふりかえってみよう】○じぶんのめあてをたっせいできたかな

日にち						
めあて(きめたこと)ができましたか。						

【やってみたかんそうを書きましょう】

Blank rounded rectangular box for writing.

おそうじ名人 五かじょう

- 一 はじは しつかり ほこりをとろう！
- 二 ほうきは やさしく 同じ方こうに！
- 三 ぞうきんは しつかりしぼってすき間なく！
- 四 ちりとりは おしりをあげて 下がらつ！
- 五 つかつたどうぐは きれいに ならべて おかたづけ！



題材 教室をきれいに

【日常：清掃活動時】活動支援案①

〔ねらい〕 自己決定した掃除の仕方を実践する。掃除の仕方を友達と確認しながら、教室など隅々まで協力してきれいにすることができるようにする。

① 自己決定した各自のめあてを確認する。

清掃開始時にグループで役割分担を確認し、協力して取り組もうとする。

各自がめあてを意識するようにする。同じグループの友達の取組も知り、共に取り組もうとする。

目標を意識する

みんなのめあてを確認できましたか。めあてを意識して、協力して掃除ができるといいですね。

目標を意識して取り組めるように教室に目標カードを掲示する。掃除当番グループ全員のめあてを確認することで協働の意識を持つことができるようにする。

② 自己決定したことをもとに実践する。

めあてを意識して、自分の掃除分担を行う。

自分の分担が終わったら、まだ終わっていない友達を進んで手伝おうとする。

実践する

〇〇さんは、隅々まできれいにしようと頑張っていますね。きれいになると気持ちがいいですね。協力して取り組むと心もすっきりして気持ちがいいですね。

教師も児童と一緒に清掃を行い、協働する大切さを気付かせることができるようにする。

③ 振り返りを行う。【清掃終了後、帰りの会】

めあてを意識して、協力して教室をきれいにすることができたか振り返り、振り返りカードに書く。

自分のことだけでなく、掃除をしたときに気付いた友達のよいところも発表する。

振り返る

みんな協力してきれいにすることができていましたね。この次もめあてを意識して仲よく助け合ってできるといいですね。

みんな協力してきれいにしたことを称賛するなどをし、継続して取り組むことができるようにする。

〈凡例〉

目指す児童の姿

望ましい人間関係の形成に向けた声かけの例

指導上の留意点など

題材 教室をきれいに

【児童会活動（縦割り班校内清掃）】活動支援案②

〔ねらい〕 縦割り班で自分のできることを考え、協力しながら、自己決定した掃除の仕方を実践する。異学年とペアを組み、学校の隅々まで協力してきれいにするができるようにする。

① 自己決定した各自のめあてを確認する。

清掃開始時に縦割り班で発達の段階に応じた役割分担をし、協力して取り組もうとする。

各自がめあてを意識するようにする。縦割り班で行う意義を理解し、仲よく助け合って取り組もうとする。

目標を意識する

みんなのめあてを確認できましたか。めあてを意識して、協力して掃除ができるといいですね。

縦割り班の中で、異学年でペアを組み、協力して活動できるようにすることで上学年は下学年を思いやり、下学年は上学年にあこがれをもつことができるようにする。

② 自己決定したことをもとに実践する。

めあてを意識して、異学年のペアで協力してを行うことができる。

自分の分担が終わったら、まだ終わっていない掃除場所を進んで協力してきれいにするができる。

実践する

さすが6年生は、高いところなど隅々まできれいにできますね。2年生もぞうきんのかけ方がすき間なく上手にできていますね。分担がうまくできていますね。

教師も児童と一緒に清掃を行い、協働する大切さを気付かせることができるようにする。

③ 振り返りを行う。【清掃終了後、帰りの会】

めあてを意識して、協力して教室をきれいにする事ができたか振り返り、振り返りカードに書く。次回のめあてを考える。

自分のことだけでなく、掃除をしたときに気付いた友達のよいところも発表する。

振り返る

みんな協力してきれいにする事ができていましたね。この次もめあてを意識して仲よく助け合ってできるといいですね。

みんな協力してきれいにしたことを称賛するなどをし、継続して取り組むことができるようにする。

〈凡例〉

目指す児童の姿

望ましい人間関係の形成に向けた声かけの例

指導上の留意点など

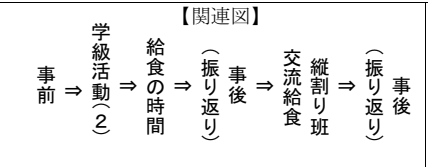
【題材】 みんなでなかよくたのしいきゅうしょく

【関連及び統合】 学級活動(2)キ 食育の観点を踏まえた学校給食と望ましい食習慣の形成 心身ともに健康で安全な生活態度の形成 望ましい人間関係の形成 給食の時間、児童会活動(縦割り班交流給食)

【プログラムのねらい】 健康によい食事の取り方を考えるとともに、協力して準備や後片付けを行ったり、食事のマナーについて考えたりして楽しい給食の時間にしようすることができる。

【プログラムを通して目指す児童の姿】 みんなで仲よく楽しい給食とするために、学級集団・縦割り班において、バランスよく食べたり、協力して準備や後片付けをしたり、食事のマナーについて考えたりする。

【これまでの活動】
◎児童朝会〔全校児童集会〕
給食委員会の発表
給食週間の話や給食センターの人へのインタビューを聞く。



【関連・統合の意図】
学級活動(2)のキ・カ・ウを統合させることにより、給食の時間だけでなく家庭での食事の仕方に結びつけることができ、日常生活での実践へとつなげる。縦割り班交流給食を通して人間関係を深めることができるようにする。

【望ましい人間関係の形成に向けて】
学校給食の場は、社会の一員として自覚を高めるための社交の場である。楽しい給食とするために食事のマナーや相手を思いやる気持ちが大切であることを理解する。

【次の活動へとつなげる】
◎6年生を送る会
6年生に感謝の気持ちを持ち、進んで活動に取り組もうとする。児童会活動(全校児童集会)

<p>事前 帰りの会</p>	<p>話し合い活動 学級活動(2)</p>	<p>実践 給食の時間</p>	<p>事後(振り返り) 帰りの会</p>	<p>縦割り班交流給食 児童会活動</p>
<ul style="list-style-type: none"> 今までの食事の仕方に関心を持ち自分の考えを持って話し合い活動につなげることができるようにする。 楽しい給食とはどんな給食か考えることができる。 	<ul style="list-style-type: none"> 好き嫌いをせずに、友達と仲良く楽しい給食の時間とするための方法を話し合い、目標を自己決定する。 食事はバランスよく食べることが大切なことを理解する。 	<ul style="list-style-type: none"> 自己決定しためあてをもとに、仲良く楽しい給食にしようとする実践する。 準備や後片付けを協力して行うことができる。 	<ul style="list-style-type: none"> 給食の時間について振り返りを行い、反省を生かして、次の活動へとつなげる。 縦割り班交流給食でも、仲よく楽しい給食にするためにどうするか考えることができる。 	<ul style="list-style-type: none"> 交流給食を通して、異年齢集団の人間関係を深められるようにする。 振り返りを行い、反省を生かして、次の活動へとつなげる。
<p>【事前調査】</p> <ul style="list-style-type: none"> 給食は好きですか。 好き嫌いはありますか。 食べるときに気をつけていることはありますか。 準備や後片付けはどのようにするのがいいですか。 <p>給食の時の写真などを提示し、具体的なイメージをもってアンケートに答えられるようにする。</p>	<p>1 給食の時間を振り返り、問題点について話し合う。</p> <p>事前調査や給食時の写真から、好き嫌いが多いことや食事のマナーを守れていないことがあることに気付かせる。</p> <p>2 【話し合い①】 栄養教諭の話聞き、バランス良く食事するための方法を話し合う。 【話し合い②】 準備や後片付けの仕方や食事のマナーについて話し合う。</p>	<p>○自己決定しためあてをもとに実践する。</p> <p>グループのみんなで各自のめあてを確認し、意識して給食の時間を過ごすことができるようにする。</p> <p>協力して準備や後片付けを行ったり、食事のマナーを守って食事をする意識を高め、習慣化することで家庭での食事などでも継続して実践できるようにする。</p> <p>食事を作ってくれた人にも感謝の気持ちを持つことができるように声かけをする。</p> <p>食物アレルギー等の有無については、事前に十分把握しておくようにする。</p>	<p>○みんなが仲良く楽しい給食するために自己決定しためあてを達成できたか振り返りを行う。</p> <p>自分のめあてについて、ワークシートを用い、振り返りを行う。帰りの会で自分のことだけでなく、グループの友達の頑張ったことやよかったことについても発表できるようにする。</p> <p>家庭にも学級通信等で児童の頑張りの取組を伝え、バランスのよい食事や望ましい食事のマナーの習慣化の協力を呼びかける。</p>	<p>○給食の時間に実践してきたことを縦割り班交流給食でも実践する。</p> <p>異年齢集団においても準備や後片付けを協力して行ったり、楽しい給食とするために食事のマナーを守ったりすることが大切であることを確認する。</p> <p>※詳細は活動支援案②参照</p>
<p>【題材を知る】</p> <ul style="list-style-type: none"> 題材を知り、自分の考えを持って話し合い活動に臨む。 学級活動の話し合いの進め方を確認する。 司会団の役割分担をする。 <p>学級活動(2)においても司会団による話し合い活動を行うことで自己決定、自己解決したという意識が高められるようにする。</p> <p>※アンケート詳細は事前調査参照</p>	<p>みんなで仲よく楽しい給食にすることを意識させ、自分に合った解決方法を考えることができるようにする。</p> <p>3 めあてを自己決定する。</p> <p>自己決定したことをもとに、食事のマナーや片付け方などのスキルトレーニングを行う。</p> <p>※詳細は学習指導案参照</p>	<p>※詳細は活動支援案①参照</p>	<p>○縦割り班交流給食では、どうしたら楽しい給食になるか考える。</p> <ul style="list-style-type: none"> 役割分担 食事のマナー など <p>※詳細は振り返りカード参照</p>	<p>事後(振り返り) 帰りの会等</p> <p>縦割り班で楽しい給食にするためには、異学年の関わり合いの方が大きな影響をもつことを確認し、給食に限らず様々な場面で様々な人と実践してきた食事に対する取組を継続していくことが大切なことに気付かせる。</p>

【凡例】 人間関係を形成するための支援 | 自主的、実践的な態度を育てる手立て | 指導上の留意点

プログラム3

みんなでなかよく
たのしいきゆうしょく

第2学年1組 学級活動学習指導案

指導者(T1) 宮内 裕子

栄養教諭(T2) 井坂 暁子

- 1 題材 みんなでなかよくたのしいきゅう食
 学級活動(2)キ 食育の観点を踏まえた学校給食と望ましい食習慣の形成
 ウ 望ましい人間関係の形成
 カ 心身ともに健康で安全な生活態度の形成
 【関連】 給食の時間 縦割り班交流給食

2 児童の実態(計26名)と題材設定の理由

本学級の児童は給食の残菜は少ないが、児童一人一人を見ると好き嫌いがある児童が多い。また、話すことに夢中になってしまい時間内に食べ終わらなかったり、食事のマナーを守れなかったりすることがある。

本題材では、児童が日常の食生活を振り返り、栄養教諭をゲストティーチャーに迎え、専門的な栄養指導を受けることで栄養について関心を持ち、好き嫌いなく食べる意識を高め、偏りのない食事が習慣化できるようにしたい。また、準備や後片付けを協力して行うことや楽しく会食することの大切さに気づき、望ましい人間関係の形成ができるようにしたい。

3 評価規準と本題材が目指す児童の姿

観点	集団活動や生活への 関心・意欲・態度	集団の一員としての 思考・判断・実践	集団活動や生活についての 知識・理解
評価規準	望ましい食習慣の形成に関心を持ち、友達と楽しく進んで日常の食事に取り組もうとしている。	望ましい食習慣の形成の課題について話し合い、自分に合ったよりよい解決方法などについて考え、判断し、実践している。	食事を楽しくすることの大切さ、そのための基本的な生活や学習の仕方などについて理解している。
目指す児童の姿	食べ物の働きについて関心を持ち、バランスよく食事しようとする。また、食事のマナーについて考え、友達と楽しい給食の時間に行おうとする。	食べ物の働きについて考え、好き嫌いをせずに、友達と楽しい給食の時間にするために自分に合った方法を考え、実践している。	食べ物の働きを知り、バランスよく食べることの大切さや食事のマナーを守るなど楽しい給食とするために必要なことを理解している。

4 活動の指導の見通し

	活動内容	いつ	指導上の留意点・資料	目指す児童の姿・評価方法
事前	<ul style="list-style-type: none"> 題材を知る。 生活に関するアンケート調査を行う。 自分の問題について考えておく。 グループでの話し合いがあることを伝え、グループ内で役割分担を決めておく。 	朝の会	<ul style="list-style-type: none"> 食事についてアンケートを実施し、栄養とマナーの両面から自分の食事について意識することができるようにする。 給食の時間のグループで話し合いをすることを知らせ、具体的な話し合いが進められるようにする。 	<ul style="list-style-type: none"> 給食の時間などを振り返り、自分の食事の仕方に関心を持つ。(関心・意欲・態度) [実態調査] 話し合いの進め方を理解している。(思考・判断・実践) [観察]
本時	本時の展開 参照			
事後	<ul style="list-style-type: none"> 自己決定したことについて実践する。 	給食の時間	<ul style="list-style-type: none"> 給食の時間の前に自己決定したことを確認するように声かけをする。 給食の時間には、教師も 	<ul style="list-style-type: none"> 自分で決めたことについて努力している。(思考・判断・実践) [観察・ワークシート]

<ul style="list-style-type: none"> 実践したことを振り返り、発表する。 	帰りの会	<ul style="list-style-type: none"> 児童と一緒に食事をし、会話を楽しむようにする。 友達がしたことでもよかったことも発表できるようにする。 	<ul style="list-style-type: none"> 友達ががんばっているところを見つけることができる。 <p>(思考・判断・実践) [観察・ワークシート]</p>
<ul style="list-style-type: none"> 縦割り班交流給食を行う。 	給食の時間	<ul style="list-style-type: none"> 縦割り班交流給食でも、自己決定した目標を実践できるように声かけをし、交流を深めることを意識できるようにする。 	<ul style="list-style-type: none"> みんなで仲良く楽しい給食とするために自分に合った方法を考え、実践しようとしている。 <p>(思考・判断・実践) [発表・観察]</p>

5 本時の展開

(1) 本時のねらい

食べ物の働きについて知り、健康によい食事の取り方を考えるとともに、協力して準備や後片付けを行ったり、食事のマナーを守ったりして、楽しい給食の時間にするための目標を自己決定できる。

(2) 本時の展開

	児童の活動	指導上の留意点 望ましい人間関係の形成に向けた支援のポイント		資料	目指す児童の姿と評価方法
		T1	T2 (栄養教諭)		
つかむ	1 今までの給食の時間を振り返る。 ○給食の時間の写真を見る(残菜, 当番活動, 食事中)	<ul style="list-style-type: none"> アンケートの結果や給食の時間の写真などから具体的に振り返りができるようにする。 結果発表は、司会団の児童とともに行う。 	<ul style="list-style-type: none"> アンケートの結果をまとめたものや給食の時間の写真を黒板に貼る。 アンケートの中に嫌いなものを克服した児童にインタビューをする。 	<ul style="list-style-type: none"> アンケートの結果 給食の時間の写真 	<ul style="list-style-type: none"> 自分の食事について関心をもっている。 <p>(関心・意欲・態度) [観察・アンケート]</p>
さぐる	2 問題点は何か考え発表する。	<ul style="list-style-type: none"> 多くの児童に好き嫌いがあること気付かせる。 			<ul style="list-style-type: none"> 自分の問題として捉え、話合いに進んで参加しようとする。 <p>(関心・意欲・態度) [観察]</p>
見付ける 決める	3 本日の給食の献立から食材を仲間分けをする。	<ul style="list-style-type: none"> 献立表や給食に使われている食材のイラストを黒板に貼る。 グループで相談してもいいことを伝える。 なかなか仲間分けができない児童には、ヒントカード(食品の分類表)を渡す。 	<ul style="list-style-type: none"> 本日の給食の献立を発表し、3つのグループに分けることを説明する。 それぞれのグループの働きを説明する。 実態調査の児童の嫌いな食べ物についても仲間分けす 	<ul style="list-style-type: none"> 献立表 黒板添付用食材のイラスト ワークシート 	<ul style="list-style-type: none"> 三つの栄養素を知り、バランス良く食べる大切さを理解する。 <p>(知識・理解) [観察・ワークシート]</p>

<p>4 給食の時間の過ごし方を考え、話し合う。 ○準備や後片付け ○バランスのよい食べ方 ○食事のマナー</p> <p>5 自分で実践しようと思うことを「たのしいきゅう食カード」に書く。</p> <p>6 給食のグループとなり、スキルトレーニングをする。</p> <p>7 教師の話聞く。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・振り返りで提示した写真をもう一度提示し、どんな過ごし方がいいか考えさせる。 ・写真の中で友達の良いところを見つけさせるようにする。 ・食事中にふさわしい話題についても考えるように助言する。 ・栄養と食事のマナーの両面から自分の目標を考えることができるようにする。 ・目標を書いた児童の紹介をしながら全員が書くことができたかを確認する。 	<p>ることを伝える。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・専門的立場から、楽しく食べると体にいいことを伝える。 ・好き嫌いせず食べることの大切さを栄養面から考えるように助言する。 ・栄養面でなかなか書き出せない児童に助言を行う。 	<ul style="list-style-type: none"> ・楽しい給食とするために食事のマナーについて理解する。 (知識・理解) [観察・発表] ・たのしいきゅう食カード ・栄養について考え、好き嫌いをせずに、友達と楽しい給食の時間にするために自分に合った方法を考える。 (思考・判断・実践) [ワークシート]
---	--	--	--

(3) 事後指導

- 児童には、給食時にみんなで協力したり、楽しい食事となるようにしたりするために声かけをする。
- 家庭には、学級通信を通して協力を呼びかけ、好き嫌いなく食べたり、食事のマナーを守ることが日常化できるようにする。
- 縦割り班交流給食では、どのようにすれば楽しい給食になるかを実践の振り返りを生かし、工夫して実践できるようにする。

きゅうしょくにかんするアンケート

2年 組 名前

○しょくじ（きゅうしょく）のことをしつ問します。しつ問に答えましょう。

1 すきなたべものとながてなたべものを書きましょう。（それぞれ3つまで）

*すきなものやきらいなたべものがないときは、「ない」と書いてください。

【すきなたべもの】

【にがてなたべもの】

2 にがてなたべものが きゅうしょくに出たらどうしていますか。

*一つに○をつけましょう。

ア たべている イ 少したべている ウ たべていない

3 いえのしょくじで にがてなものが出たらどうしますか。

*一つに○をつけましょう。

ア たべる イ 少したべる ウ たべない

4 きゅうしょくのときに 気をつけていることはありますか。

*いくつ書いてもいいです。

(れい)・口の中にもものが入っているときは、話をしない、手をあらう など

たのしい きゅうしょく

名前

今日の学びゆうかつどうの話合いで思ったことを書きましょう。



【じぶんのめあて】

--	--

【ふりかえってみよう】○じぶんのめあてをたっせいできたかな

日にち						
めあて(きめたこと)ができましたか。						

【やってみたかんそうを書きましょう】

--

たのしい きゅうしょく 名前

今日のこん立て

- 牛にゅう
- ごはん
-

【なかま分けをしよう】

エネルギーになる
なかま

ちやほね, 肉になる
なかま

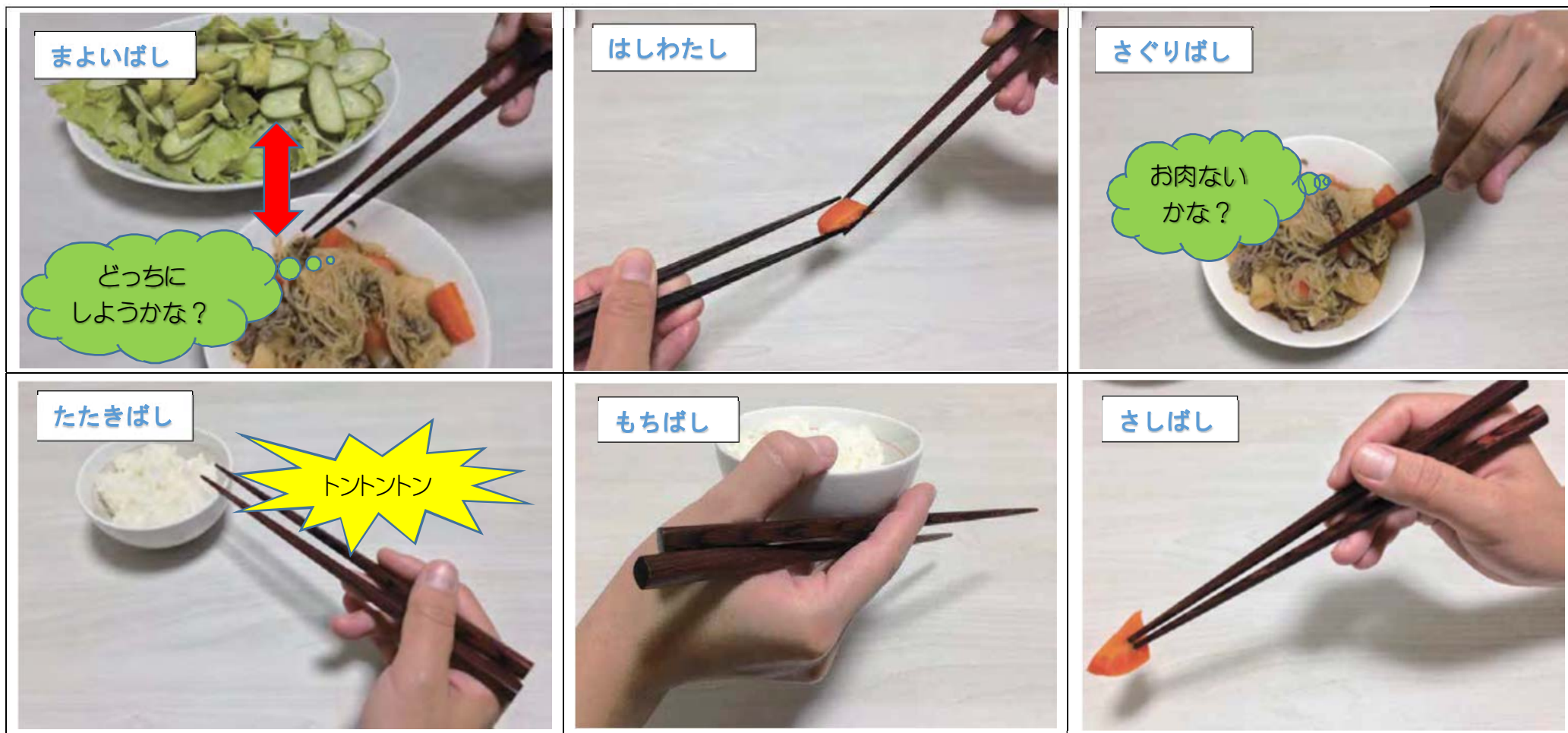
体のちょうしを
ととのえる
なかま



しょくじは,

たべるのが, 大切です!

こんなはしのつかい方をしていますか？



マナーいはいはんです！

【給食の時間】活動支援案①

〔ねらい〕 協力して準備や後片付けを行ったり、学級活動において自己決定しためあてを実践しようとしたりする。

① 協力して給食の準備を行ったり、各自のめあてを確認したりする。【給食の時間】

給食当番や係の仕事を協力して行う。自分から進んで給食の準備を行おうとする。

各自が目標を意識するようにする。友達の取組も知り、共に取組もうとする。

目標を意識する

〇さんが、給食台を運ぶのを手伝ってましたよ。すてきですね。

楽しい給食となるように、どんなことをしますか。

グループで確認することで目標や取組を意識することができるようにする。

② 食事のマナーなどを意識して楽しい給食にしようとする。

グループで、目標を意識して実践する。交流をしながら、友達のいいところに気付く。

時間内に食べ終わることができるようにする。苦手なものでも食事のバランスを考え、挑戦しようとする。

実践する

〇さんは、苦手なものにも挑戦していてすごいですね。△さんの食べ方は、とてもきれいですね。楽しいお話は、ご飯がおいしくなりますね。

教師も児童と一緒に食事をし、会話を楽しむようにする。

③ 協力して後片付けをしたり、活動を振り返ったりする。【給食後・帰りの会】

協力して片付けたり、めあてを意識して給食の時間を楽しく過ごしたりすることができたかななどを振り返る。

友達のよいところに気づき、認め合う。

振り返る

協力して片付けすると早くきれいにできますね。友達のよかったところはどんなことですか。

お互いを認め合う場面を積極的に取り入れることで、友達とのかかわり方に自信を持たせるようにする。

〈凡例〉

目指す児童の姿

望ましい人間関係の形成に向けた声かけの例

指導上の留意点など

給食については、食物アレルギーの有無について十分に把握しておくようにする。

【縦割り班交流給食】活動支援案②

〔ねらい〕 縦割り班交流給食において、自分の役割を自覚し、協力して準備や後片付けを行ったり、異年齢での交流を深めるために決めた自分のめあてを実践しようとしたりする。

① 協力して、給食の準備を行ったり、めあてを確認したりする。【交流給食の時間】

給食当番や係の仕事を協力して行う。自分から進んで給食の準備を行おうとする。

座席の配置について考えたり、自分の役割を考えて行動したりしようとする。

目標を意識する

みんなで楽しい給食にするために、協力して活動しましょう。どうすれば、いいか自分で考えたことをやってみましょう。

今まで、学級で取り組んできた活動を想起させ、自分の役割などを意識することができるようにする。(活動の積み重ね)

② 交流を深めることなどを意識して楽しい給食にしようとする。

縦割り班での交流をしながら、異学年の友達のいいところに気付くことができるようにする。自分の役割を果たそうとする。

嫌いなものでも食事のバランスを考え、挑戦しようとする。

実践する

6年生のみなさんは、周りにも目を配らせ、声かけするなどさすがですね。1, 2年生もお兄さん、お姉さんと仲よく楽しく食事するととってもおいしく感じますね。

教師も児童と一緒に食事をし、会話を楽しむようにする。

③ 協力して後片付けをしたり、活動を振り返ったりする。【給食後・帰りの会】

協力して片付けたり、目標を意識して給食の時間を楽しく過ごしたりすることができたかななどを振り返る。

縦割り班の交流を深め、次の活動(6年生を送る会)への意欲を高める。

振り返る

今日は、いろいろな学年の人とお話できましたね。自分の役割を果たせましたか。

お互いを認め合う場面を積極的に取り入れることで、友達とのかかわり方に自信を持たせるようにする。

〈凡例〉

目指す児童の姿

望ましい人間関係の形成に向けた声かけの例

指導上の留意点など

【題材】 持久走大会に向けて

【関連及び統合】学級活動(2) ア 希望や目標をもって生きる態度の形成 ウ 望ましい人間関係の形成
学校行事(3) 健康安全・体育的行事 体育, 業間運動

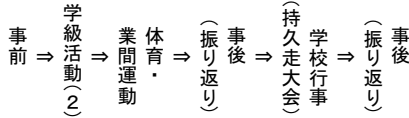
【プログラムのねらい】持久走大会に向けて、運動に親しみ、楽しさを味わえるように励まし合い、互いの頑張りを認め合いながら、みんなで楽しく力一杯走ることができるようにする。

【プログラムを通して目指す児童の姿】持久走大会に向けて、目標を持ち、目標を達成に向けて励ましの声をかけ合ったり、互いの頑張りを認め合ったりすることができる。

【これまでの活動】

◎運動会, 体育, 業間運動
自分が得意としていることを生かし、精一杯取り組もうとする。

【関連図】



【関連・統合の意図】

学級活動(2)の「ア・ウ」を統合したことで、目標に向かって励まし合うなどの協力をして、努力することの大切さを実感できるようにする。学級活動と持久走大会を関連させることで、持久走大会への意欲を高め、異年齢集団においても望ましい人間関係を形成しようとする自主的、実践的な活動を助長することができるようにする。

【望ましい人間関係の形成に向けて】

持久走大会に至るまでの指導の過程で励ましの声かけをしたり互いの頑張りを認め合ったりする場面を多く設定する。持久走大会では、異年齢集団においても励ましの声かけをしたり励まし合ったりするなど望ましい人間関係が形成できるようにする。

【次の活動へとつなげる】

◎縄跳び大会(学級活動(2), 学校行事)
縄跳び大会に向けてみんなで頑張ることや目標を持って努力することの大切さを理解している。



プログラム4

じきゅう走大会にむけて

- 1 題材 持久走大会に向けて
 (2) ア 希望や目標をもって生きる態度の形成 ウ 望ましい人間関係の形成
 【関連】 学校行事 「持久走大会」

2 題材について

(1) 児童の実態 (計26名)

本学級の児童は、これまでに学級の目標を決める話し合いや、運動会に向けてスローガンを考える話し合いなどを行ってきた。「みんなで楽しく、仲良く」活動するためには、どうしたらいいかを小グループで話し合い、その後、全体で話し合い折り合いをつける活動を行った。日常生活において目標を持っているか尋ねたところ、5人の児童が「持っている」と答えた。課題に取り組み、解決していこうとする態度は育ってきているが、目標を持って活動をする意識が低いため、自分の力を十分に発揮できていないような場面も見られる。

持久走大会は、昨年と同じ距離(1000m)を走る。それに向け、体育の授業や業間運動で練習を行う。持久走大会に向けてのアンケート調査を行った。

		回答(人)	
① 持久走は好きですか。(理由)	好き 12	好きではない 14	
	・体を鍛えられるから 6	・疲れるから 9	
	・走ることが好きだから 5 ・走ることが得意だから 1	・走ることが苦手だから 4 ・足が遅いから 1	
② 持久走のよいと思うことは何ですか。 【自分のこと】 (複数回答)	・ゴールしたときにうれしい 19	・体力がつく 18	
	・練習の成果が出る 17	・苦手なことにも挑戦しようという気持ちになる 13	
	・自分の努力の結果が出る 12		
③ 持久走のよいと思うことは何ですか。 【友達のこと】 (複数回答)	・励ましてくれる 17		
	・応援してもらおうとうれしくなる 16		
	・競走して走ると力がつく 13		
	・みんなと一緒に走ることができる 12		

「好き」と答えた児童の多くは、昨年の持久走大会の結果が上位であった。好きと答えた児童のうち7名は、持久走大会のコースで継続して自主練習を行っている。「好きではない」と答えた児童も半数以上いたが、持久走のよいところをあげることはできた。自分の力で目標に向かって努力し、乗り越えたときの達成感や喜びを感じたり、困難に向かって努力していることを他者から認められたり、励まされたりすることで意欲を高めたりすることを通して、「みんなでがんばると楽しい」という気持ちを育てていきたい。

(2) 題材選定の理由

本題材は、学級活動(2)ア、ウを統合し、学校行事「持久走大会」との関連を図り選定した。課題に対して、明確に目標を設定し、それに向けて努力し、友達と励まし合いながら取り組むことができるようにするための話し合い活動を行うことで、課題の取組への意欲を喚起できると考える。

児童は、*月の運動会において目標を持ち、それに向かって努力することや結果だけではなくその過程も大切であるということに気付くことができた。そこで、持久走大会に向けて、自己の目標を設定し、学級全体の取組を話し合うことで、「希望や目標をもって生きる態度の形成」や「望ましい人間関係の形成」を目指していきたい。児童同士が互いに働きかけながら、持久走大会に向けて走る楽しさを感じたり、「みんなと一緒に頑張っているんだ」という連帯感を持ったりすることができるようにしたい。

3 評価規準と本題材が目指す児童の姿

観点	集団活動や生活への 関心・意欲・態度	集団の一員としての 思考・判断・実践	集団活動や生活への 知識・理解
評価規準	持久走大会に向けて、関心を持ち、他の児童と協力して進んで集団活動に取り組もうとしている。 自分の目標を決め、取り組もうとしている。	持久走大会に向けて話し合い、自己の役割や集団としてのよりよい方法などについて考え、判断し、実践している。 自分に合った目標を考え、判断し、実践している。	みんなで学級生活を楽しくすることの大切さや、話し合い活動の基本的な進め方などについて理解している。 持久走大会に向けて、目標をもって取り組むことが大切だということを理解している。
目指す児童の姿	持久走大会に向けて、決定したことを協力して取り組もうとしている。 持久走大会に向けて自分の目標を決め、意欲をもって取り組もうとしている。	持久走大会に向けて、自分の目標を決定し、実践している。 自分の目標を決め、目標を達成するための方法を考え、実践している。	持久走大会に向けて、話し合いの仕方を理解している。 自分に合った目標を持って活動に取り組むことの大切さを理解している。

4 活動の指導の見通し

	活動内容		指導上の留意点・資料	目指す児童の姿・評価方法
事前	<ul style="list-style-type: none"> 題材を知る。 持久走に関するアンケート調査を行う。 自分の課題について考えておく。 	朝の会 帰りの会	<ul style="list-style-type: none"> *月*日に行われる持久走大会について話し、昨年と同じ距離を走らせることを知らせ、意欲を喚起することができるようにする。 持久走についてアンケートを実施することで、持久走大会への関心を高め、自分の課題や取り組み方を考えておくように伝える。(アンケート用紙) 	<ul style="list-style-type: none"> 持久走大会に向けて、目標を持って取り組もうとしている。 (関心・意欲・態度) [観察・アンケート]
本時	本時の展開 参照			
事後	<ul style="list-style-type: none"> 決めたことについて実践する。(業間運動、体育など) 持久走大会(学校行事) 実践したことを振り返り、発表する。 	常時 * / * 帰りの会	<ul style="list-style-type: none"> 共に励まし合い、自分の目標を意識して、持久走大会に向けて練習する。 がんばりカードに、自分が努力したことや友達の頑張りに気付いたことを記入するようにする。 (がんばりカード) 本番に、話し合って決めた自分の目標を達成したり、実践できるように支援する。 帰りの会の中で全員が発表できるようにする。 	<ul style="list-style-type: none"> 自分で決めた目標に向かって努力している。 友達の頑張っていることを見つめることができる。 (思考・判断・実践) [観察・がんばりカード] 自分の目標を達成できるように実践している。 (思考・判断・実践) [観察・がんばりカード] 実践できたことを発表している。 (思考・判断・実践) [観察・発表]

5 本時の展開

(1) 本時のねらい

持久走大会に向けて、励まし合いながら一杯走ることができるように、目標や取組を話し合い、実践しようとする意欲を持つことができるようにする。

(2) 本時の展開

	児童の活動	指導上の留意点 望ましい人間関係の形成に向けた支援ポイント	資料	目指す児童の姿と 評価方法
つかむ	1 昨年の持久走大会を振り返り、持久走への取組について考える。 ○昨年の持久走大会の様子の写真や現3年生の記録などを見て振り返り、伝える。 ○アンケート結果を見て気付いたことを話し合う。	<ul style="list-style-type: none"> ・昨年の持久走大会を振り返り、同じ距離を走ることを確認し、1年生の時よりも充実した持久走大会にするためにはどうしたらいいか考えることができるようにする。 ・アンケート結果から、励まし合ったり、応援してもらったりすることで力が出せることがあることを読み取り、みんなで協力して取り組むことが大切だということが分かるようにする。 ・アンケート結果については、司会団の児童が発表するようにする。 	<ul style="list-style-type: none"> ・アンケート結果 ・昨年の持久走大会の様子(写真) ・昨年の2年生の結果 	<ul style="list-style-type: none"> ・持久走大会に向けて、関心を持って話し合おうとしている。 (関心・意欲・態度) 〔観察・実態調査〕
さぐる ② 見付ける ②	5 持久走大会に向けて自分の目標について考える。 (1) 目標の持ち方について、グループで考える。 (2) 持久走大会に向けての目標を発表する。	<ul style="list-style-type: none"> ・グループでも話し合いに必要な役割分担(司会、記録、発表、計時)を行う。役割分担は輪番制で行う。 ・グループで考えることで、具体的に目標を持つことができるようにする。 ・グループの話し合いでは、全員が意見を出せるように司会者から配慮できるようにする。 ・グループで出された意見をホワイトボードに書き、自己決定の際に参考とできるようにする。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ホワイトボード 	<ul style="list-style-type: none"> ・持久走大会に向けて、どんな目標を持って取り組めばいいか考えている。 (思考・判断・実践) 〔発表・カード〕
決める ②	6 自分の目標を「がんばりカード」に書く。	<ul style="list-style-type: none"> ・具体的に自分のこと、友達とのことについてどんな目標なのか分かるようにカードに書くように支援する。 ・なかなか書き出せない児童には、板書したものや友達の考えを参考にするように助言する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・がんばりカード 	<ul style="list-style-type: none"> ・自分が実践できそうなことを考え、持久走の目標をを決定している。 (思考・判断・実践) 〔発表・カード〕

	7 教師の話聞く。	<ul style="list-style-type: none"> ・目標を持って取り組むことの大切さを意識させる。 ・前回の学級活動よりよくなったところを称賛するとともに、今後の課題を伝える。 ・司会団にねぎらいの言葉をかける。 		
--	-----------	---	--	--

(3) 事後指導

- ・体育の授業や業間運動の時間に、個人の目標を達成できるように支援する。
- ・がんばりカードには、目標を達成するために努力していることや、友達とのかかわりについても記録するように伝える。
- ・持久走大会本番まで、意識が継続できるようにするために、帰りの会などで記録したことを学級全体に発表することを伝える。

じきゅうそうにかんするアンケート

2年 組 名前

○じきゅうそうについてしつ問します。しつ問に答えましょう。

1 じきゅうそうは、すきですか。一つに○をつけましょう。

ア すき イ すきではない

りゅう

2 じきゅうそうのよいと思うことはなんですか。○をつけましょう。○は、いくつつけてもかまいません。

【じぶんのこと】

ア 体力がつく イ れんしゅうのせいかができる

ウ じぶんのどりよくがわかる エ ゴールしたときうれしい

オ にがてなことにもちょうせんしていこうという気持ちになる

カ そのほか

【友だちのこと】

ア はげましてくれる イ おうえんしてもらおううれしい

ウ みんなといっしょに走れる エ きょう走ると力がつく

じきゅう走大会にむけて

名前

今日の学きゅうかつどうの話合いで思ったことを書きましょう。



【じぶんのことのめあて】



【友だちとのことのめあて】

【やってみたかんそうを書きましょう】

1 2 / 5 に書きます (じぶんのこと, 友だちのこと)



日にち						
めあて(きめたこと)ができましたか。						
日にち						
めあて(きめたこと)ができましたか。						
日にち						
めあて(きめたこと)ができましたか。						

【じきゅう走大会をふりかえって】

【つぎはどんなことをがんばりたいですか】なわとび大会

題材 持久走大会に向けて

持久走を行う前には、健康観察をしっかりと行い、児童の体調について把握しておくようにする。

【業間運動】活動支援案①

〔ねらい〕長い距離を走ることにより、心身の増強を図ると共に、積極的に健康管理意識を高める。励ましの声かけをしたり、がんばりを認め合ったりする。

① 業間運動（体育）の前に自分たちの活動について、目標を確認する。

がんばりカードに書いた自分の目標を確認し、持久走へ取り組む意欲を高める。

目標を達成するためには、どうすればいいか考え、考えたことを実践しようとする。

目標を意識する

自分のことと友達とのことで頑張りたいことを確認して、みんなで楽しく一杯走れるようにしましょう。

持久走を苦手としている児童にも、応援や励ましの声かけなど活躍できる場を設定する。所属感を持つことができるようにする。

② 業間運動（体育）に参加する。

異学年においても、今までの取組を生かして励ましの声を積極的にかけることができる。

自分の頑張りを評価したり、お互いの頑張りを認め合ったりすることができる。

実践する

〇さんの励ましの声が届いているみたいですね。パワーアップしているように見えますね。

みんなの目標に向かって頑張る姿が素晴らしいですね。

教師は、声かけのモデルとなるような励ましの声をかける。児童が目標を意識して取り組んでいることを見取り、称賛する。

③ 持久走大会を含めた今までの取組を振り返る。【帰りの会】

励ましの声がかけられたか、自分の目標を意識して持久走を頑張ることができたかなどを振り返る。

友達のよいところに気づき、認め合う。

振り返る

励ましの声をかけたり、友達のよいところを見つけられたり、自分で努力して頑張ったりできましたね。これからも続けていきましょう。

お互いを認め合う場面を積極的に取り入れることで、友達とのかかわり方に自信を持たせるようにする。

〈凡例〉

目指す児童の姿

望ましい人間関係の形成に向けた声かけの例

指導上の留意点など

題材 持久走大会に向けて

持久走を行う前には、健康観察をしっかりと行い、児童の体調について把握しておくようにする。

【持久走大会】活動支援案②

〔ねらい〕長い距離を走ることにより、心身の増強を図ると共に、積極的に健康管理意識を高める。異学年においても励まし合ったり、がんばりを認め合ったりする。

① 開会式に臨み、自分たちの活動について、目標を確認する。

自分の目標を確認し、持久走大会へ取り組む意欲を高める。

今まで励まし合いながら頑張ってきたことを想起し、持久走大会でも積極的に励ましの声かけをしようとする。

目標を意識する

今まで頑張って取り組んできたことを十分に発揮できるようにしましょう。友達からの声かけでパワーアップできますね。

会場での応援場所や互いに励まし合ったり認め合ったりできるような応援の仕方について確認を行う。応援に来た保護者にも同様に確認をする。

② 持久走大会に参加する。

異学年においても、今までの取組を生かして励ましの声を積極的にかけることができる。

自分の頑張りを評価したり、お互いの頑張りを認め合ったりすることができる。

実践する

みんなの励ましの声がパワーになっているみたいですね。もっとパワーアップさせてあげましょう。

みんなすばらしい頑張りでですね。応援の態度もいいですね。

教師も積極的に励ましの声をかける。児童が目標を意識して取り組んでいることを見取り、称賛する。

③ 持久走大会を含めた今までの取組を振り返る。【帰りの会】

異学年のおいても励ましの声がかけられたか、自分の目標を意識して持久走を頑張ることができたかななどを振り返る。

友達のよいところに気づき、認め合う。

振り返る

今日も励ましの声をかけたり、友達のよいところを見つけられたりして、一人一人が光っていました。ますますパワーアップしましたね。

お互いを認め合う場面を積極的に取り入れることで、友達とのかかわり方に自信を持たせるようにする。

〈凡例〉

目指す児童の姿

望ましい人間関係の形成に向けた声かけの例

指導上の留意点など

【題材】 縄跳び大会に向けて

【関連及び統合】学級活動（２）ア 希望や目標をもって生きる態度の形成 ウ 望ましい人間関係の形成
学校行事（３）、体育、業間運動

【プログラムのねらい】縄跳び大会に向けて、運動に親しみ、楽しさを味わえるように励まし合い、互いの頑張りを認め合いながら、みんなで楽しく取り組むことができるようする。

【プログラムを通して目指す児童の姿】縄跳び大会に向けて、目標を持ち、目標を達成するために同年齢集団や異年齢集団の友達に励ましの声をかけ合ったり、互いの頑張りを認め合ったりすることができる。

<p>【これまでの活動】 ◎持久走大会 友達に励ましの声かけをしたり、よさを認め合ったりして仲よく助け合おうとする。</p>	<p>【関連図】 事前 → 学級活動（２） → 業間運動・体育 → （振り返り）事後 → （縄跳び大会）学校行事 → （振り返り）事後</p>	<p>【関連・統合の意図】 学級活動（２）の「ア・ウ」を統合したことで、目標に向かって励まし合うなどの協力をして、努力することの大切さを実感できるようにする。学級活動と縄跳び大会を関連させることで、縄跳び大会への意欲を高め、一つの目標に向かって協力しようとする自主的、実践的な活動を助長することができるようにする。</p>	<p>【望ましい人間関係の形成に向けて】 縄跳び大会に至るまでの指導の過程で励ましの声かけをしたり互いの頑張りを認め合ったりする場面を多く設定する。縄跳びの練習では、上学年に跳び方を教えてもらうなど仲よく助け合うことで望ましい人間関係を形成できるようにする。</p>	<p>【次の活動へとつなげる】 ◎6年生を送る会 お世話になった6年生に感謝の気持ちを伝えることができるようにする。</p>
--	---	---	---	--



【凡例】

人間関係を形成するための支援

自主的、実践的な態度を育てる手立て

指導上の留意点

プログラム5

なわとび大会にむけて

- 1 題材 縄跳び大会に向けて
 (2) ア 希望や目標をもって生きる態度の形成 ウ 望ましい人間関係の形成
 【関連】 学校行事 「縄跳び大会」

2 題材について

(1) 児童の実態 (計26名)

本学級の児童は、学級としての取組を折り合いをつけるなどの話し合い活動を行っている。また持久走で友達と声をかけ合うなど励まし合って活動することの大切さを実感してきた。縄跳び大会に向けてのアンケート調査を行った。(アンケート結果は省略)

持久走での取組を通して、みんなの力で目標に向かって努力し、乗り越えたときの達成感や喜びを感じたり、困難に向かって努力していることを認め合ったり、励まし合ったりすることで、「みんなでがんばると楽しい」という気持ちを育ててきている。

(2) 題材選定の理由

本題材は、学級活動(2)ア、ウを統合し、学校行事「縄跳び大会」との関連を図ることを考え、選定した。課題に対して、明確に目標を設定し、それに向けて努力し、友達と励まし合いながら取り組むことができるようにするための話し合い活動を行うことで、課題の取組への意欲を喚起できると考える。

児童は、持久走大会において目標を持ち、それに向かって努力することや結果だけではなくその過程も大切であるということに気付くことができた。また自己の目標を設定し、学級全体の取組を話し合うことで、「希望や目標を持って生きる態度の形成」や「望ましい人間関係の形成」を目指していきたい。児童同士が互いに働きかけながら、縄跳び大会に向けてみんなで力を合わせて取り組む楽しさを感じたり、「みんなと一緒に頑張っているんだ」という連帯感を持ったりすることができるようにしたい。

3 評価規準と本題材が目指す児童の姿

観点	集団活動や生活への 関心・意欲・態度	集団の一員としての 思考・判断・実践	集団活動や生活についての 知識・理解
評価規準	縄跳び大会に向けて、関心を持ち、他の児童と協力して進んで集団活動に取り組もうとしている。 自分の目標を決め、取り組もうとしている。	縄跳び大会に向けて話し合い、自己の役割や集団としてのよりよい方法などについて考え、判断し、実践している。 自分に合った目標を考え、判断し、実践している。	みんなで学級生活を楽しくすることの大切さや、学級集団としての意見をまとめる話し合い活動の基本的な進め方などについて理解している。 縄跳び大会に向けて、目標をもって取り組むことが大切だということを理解している。
目指す児童の姿	縄跳び大会に向けて、学級で目標を話し合い、決定したことを協力して取り組もうとしている。 縄跳び大会に向けて自分の目標を決め、意欲をもって取り組もうとしている。	縄跳び大会に向けて、学級で取り組む目標を話し合い、決定したことを実践している。 自分の目標を決め、仲よく助け合って取り組むための方法を考え、実践している。	縄跳び大会に向けて、学級全体の取組を考える話し合いの仕方を理解している。 自分に合った目標を持って友達と協力して活動に取り組むことの大切さを理解している。

4 活動の指導の見通し

	活動内容		指導上の留意点・資料	目指す児童の姿・評価方法
事前	<ul style="list-style-type: none"> ・題材を知る。 ・自分の課題について考えておく。 	朝の会 帰りの会	<ul style="list-style-type: none"> ・2月に行われる縄跳び大会について話し、昨年の様子を想起させ、2年生として目標を持って取り組めるようにする。 ・縄跳びについてアンケートを実施することで、縄跳び大会への関心を高め、自分の課題や取り組み方を考えておくように伝える。(アンケート用紙) 	<ul style="list-style-type: none"> ・縄跳び大会に向けて、目標を持って取り組もうとしている。 (関心・意欲・態度) 〔観察・アンケート〕・自分で決めた目標に向かって努力している。 ・友達の頑張っていることを見つけることができる。 (思考・判断・実践) 〔観察・がんばりカード〕
本時	本時の展開 参照			
事後	<ul style="list-style-type: none"> ・決めたことについて実践する。(業間運動、休み時間など) ・縄跳び大会(学校行事) ・実践したことを振り返り、発表する。 	* / *	<ul style="list-style-type: none"> ・共に励まし合い、自分の目標を意識して、縄跳び大会に向けて練習する。 ・がんばりカードに、自分が努力したことや友達の頑張りに気付いたことを記入するようにする。(がんばりカード) ・本番に、話し合っただけ決めた自分の目標を達成したり、学級全体での取組を実践できるように支援する。 ・帰りの会の中で全員が発表できるようにする。 	<ul style="list-style-type: none"> ・学級で決めた取組を実践している。 ・自分の目標を達成できるように実践している。 (思考・判断・実践) 〔観察・がんばりカード〕 ・実践できたことを発表している。 (思考・判断・実践) 〔観察・発表〕

5 本時の展開

(1) 本時のねらい

縄跳び大会に向けて、励まし合いながらみんなで楽しく力一杯できるように、目標や取組を話し合い、実践しようとする意欲を持つことができるようにする。

(2) 本時の展開

	児童の活動	指導上の留意点 望ましい人間関係の形成に向けた支援のポイント	資料	目指す児童の姿と 評価方法
つかむ	<p>1 昨年の縄跳び大会を振り返り、持久走への取組について考える。</p> <p>○昨年の縄跳び大会の様子の写真や現3年生の記録などを見て振り返る。</p> <p>○アンケート結果を見て気付いたことを話</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・昨年の縄跳び大会を振り返り、1年生の時よりも充実した縄跳び大会にするためには、どうしたらいいか考えることができるようにする。 ・アンケート結果から、励まし合ったり、応援してもら 	<ul style="list-style-type: none"> ・アンケート結果 ・昨年の縄跳び大会の様子(写真) ・昨年の2年生の結果 	<ul style="list-style-type: none"> ・縄跳び大会に向けて、関心を持って話し合おうとしている。 (関心・意欲・態度) 〔観察・実態調査〕

	し合う。	<p>ったりすることで力が出せることがあることを読み取り、みんなで協力して取り組むことが大切だということが分かるようにする。</p> <ul style="list-style-type: none"> アンケート結果については司会団の児童が発表するようにする。 		
さ ぐ る	2 縄跳び大会に向けて協力して取り組むための課題を話し合う。	<ul style="list-style-type: none"> ・グループでも話合いに必要な役割分担（司会、記録、発表、計時）を行う。役割分担は輪番制で行う。 	・ホワイトボード	・縄跳び大会に向けて、どんな目標を持って取り組めばいいか考えている。 (思考・判断・実践) [発表・カード]
見 付 け る	3 縄跳び大会に向けて練習などの取組方について考える。 ○目標の持ち方について、グループで考える。	<ul style="list-style-type: none"> ・グループで考えることで、具体的に目標を持つことができるようにする。 ・グループの話合いでは、全員が意見を出せるように司会者から配慮できるようにする。 ・グループで出された意見をホワイトボードに書き、自己決定の際に参考とできるようにする。 		
決 め る	4 縄跳び大会に向けての個人目標を自己決定する。 5 自分目標を「がんばりカード」に書く。 6 教師の話聞く。	<ul style="list-style-type: none"> ・具体的にどんな目標なのか分かるようにカードに書くように助言する。 ・なかなか書き出せない児童には、板書したものや友達の考えを参考にするように助言する。 ・目標を持って取り組むことの大切さを意識させる。 ・前回の学級活動よりよくなったところを称賛するとともに、今後の課題を伝える。 ・司会団にねぎらいの言葉をかける。 	・がんばりカード	・自分が実践できそうなことを考え、縄跳び大会に向けて目標を決定している。 (思考・判断・実践) [発表・カード]

(3) 事後指導

- ・業間運動や休み時間に、目標を達成できるように支援する。
- ・がんばりカードには、目標を達成するために努力していることや、友達とのかかわりについて記録するように伝える。
- ・縄跳び大会本番まで、意識が継続できるようにするために、帰りの会などで記録したことを学級全体に発表することを伝える。

なわとびにかんするアンケート

2年 組 名前

○なわとびについてしつ問します。しつ問に答えましょう。

1 長なわとび（8の字とび）は、すきですか。一つに○をつけましょう。

ア すき イ すきではない

りゆう

2 長なわとびのよいと思うことはなんですか。○をつけましょう。○は、いくつつけてもかまいません。

ア 体力がつく イ れんしゅうのせいかができる

ウ 長くつづくとおもしろい エ みんなと声をかけ合ってできる

オ にがてなことにもちょうせんしていこうという気持ちになる

カ そのほか

3 ぎょうかんうんどうや休み時間には、どのようにれんしゅうしたいですか。

なわとび大会にむけて

名前

今日の学きゅうかつどうの話合いで思ったことを書きましょう。



【じぶんのことのめあて】

【友だちとのことのめあて】

【やってみたかんそうを書きましょう】

*/*に書きます（じぶんのこと，友だちのこと）

日にち						
めあて(き めたこと) ができたか。						
日にち						
めあて(き めたこと) ができたか。						
日にち						
めあて(き めたこと) ができたか。						

【なわとび大会をふりかえって】

【友だちとがんばったこと】

題材 縄跳び大会に向けて

縄跳びを行う前には、健康観察をしっかりと行い、児童の体調について把握しておくようにする。

【業間運動・休み時間】活動支援案①

〔ねらい〕 みんなで長縄跳び（8の字跳び）をすることにより、心身の増強を図るとともに、励ましの声かけをしたり、がんばりを認め合ったりすることができるようにする。

① 業間運動（休み時間）の前に自分たちの活動について、目標を確認する。

がんばりカードに書いた自分の目標を確認し、長縄跳びへ取り組む意欲を高める。

目標を達成するためには、どうすればいいか考え、考えたことを実践しようとする。

目標を意識する

自分のことと友達とのことで頑張りたいことを確認して、みんなで楽しく長縄跳びをしましょう。

長縄跳びを苦手としている児童にも、応援や励ましの声かけなど活躍できる場を設定する。所属感を持つことができるようにする。

② 業間運動（休み時間の練習）に参加する。

異学年においても、今までの取組を生かして励ましの声を積極的にかけることができる。

自分の頑張りを評価したり、お互いの頑張りを認め合ったりすることができる。

実践する

〇さんの励ましの声が届いているみたいですね。パワーアップしているように見えますね。かけ声がそろって息もぴったりですね。

みんなの目標に向かって頑張る姿が素晴らしいですね。

教師は、声かけのモデルとなるような励ましの声をかける。児童が目標を意識して取り組んでいることを見取り、称賛する。

③ 今までの長縄跳びの練習を振り返る。【帰りの会】

励ましの声がかけられたか、自分の目標を意識して長縄跳びを頑張ることができたかななどを振り返る。

みんなと協力して、頑張ったことを振り返り、さらに工夫するなどして継続できるようにする。

振り返る

励ましの声をかけたり、友達のよいところを見つけられたり、自分で努力して頑張ったりできましたね。これからも続けていきましょう。

お互いを認め合う場面を積極的に取り入れることで、友達とのかかわり方に自信を持たせるようにする。

〈凡例〉

目指す児童の姿

望ましい人間関係の形成に向けた声かけの例

指導上の留意点など

題材 縄跳び大会に向けて

縄跳びを行う前には、健康観察をしっかりと行い、児童の体調について把握しておくようにする。

【縄跳び大会】活動支援案②

〔ねらい〕 みんなで長縄跳び（8の字跳び）をすることにより、心身の増強を図るとともに、励ましの声かけをしたり、がんばりを認め合ったりすることができるようにする。

① 縄跳び大会の前に自分たちの活動について、目標を確認する。

がんばりカードに書いた自分の目標を確認し、長縄跳びへ取り組む意欲を高める。

目標を達成するためには、どうすればいいか考え、考えたことを実践しようとする。

目標を意識する

自分のことと友達とのことで頑張りたいことを確認して、みんなで楽しく縄跳び大会に参加をしましょう。

長縄跳びを苦手としている児童にも、応援や励ましの声かけなどで活躍できる場を設定する。所属感を持つことができるようにする。

② 縄跳び大会に参加する。

異学年においても、今までの取組を生かして励ましの声を積極的にかけることができる。

自分の頑張りを評価したり、お互いの頑張りを認め合ったりすることができる。

実践する

〇年生に励ましの声が届いているみたいですね。パワーアップしているように見えますね。目標を達成できるといいですね。

みんなの目標に向かって頑張る姿が素晴らしいですね。

学級の目標回数を達成できなかった場合でも、今までの取組を評価し、みんなで協力して頑張ったことを称賛する。

③ 今までの長縄跳びの練習を振り返る。【帰りの会】

励ましの声がかげられたか、自分の目標を意識して長縄跳びを頑張ることができたかななどを振り返る。

みんなと協力して、頑張ったことを振り返り、仲よく助け合って取り組むことの大切さを理解する。

振り返る

励ましの声がかげたり、友達のよいところを見つけられたり、自分で努力して頑張ったりできましたね。心を一つに頑張ることができましたね。素晴らしい縄跳び大会でした。

お互いを認め合う場面を積極的に取り入れることで、友達とのかかわり方に自信を持たせるようにする。

〈凡例〉

目指す児童の姿

望ましい人間関係の形成に向けた声かけの例

指導上の留意点など

【題材】 あんぜん・あんな帰りの道

【関連及び統合】学級活動（２）カ 心身ともに健康で安全な生活態度の形成 ウ 望ましい人間関係の形成 日常生活の中で継続的に異年齢交流を行う活動（１年生との下校）、学校行事（３）健康安全・体育的行事

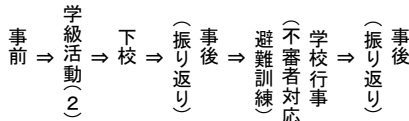
【プログラムのねらい】下校時の通学路の危険などに気付き、安全に行動し、安心して生活できるようにする。

【プログラムを通して目指す児童の姿】身近に潜む危険について知り、回避するために、方法や手段をみんなで考え、自己決定した目標を実践しようとする。仲よく助け合い、安心して生活できるようにする。

【これまでの活動】

◎登校班会議・一斉下校
集合場所、時間・通学路の確認
並び方、歩き方を考える。

【関連図】



【関連・統合の意図】

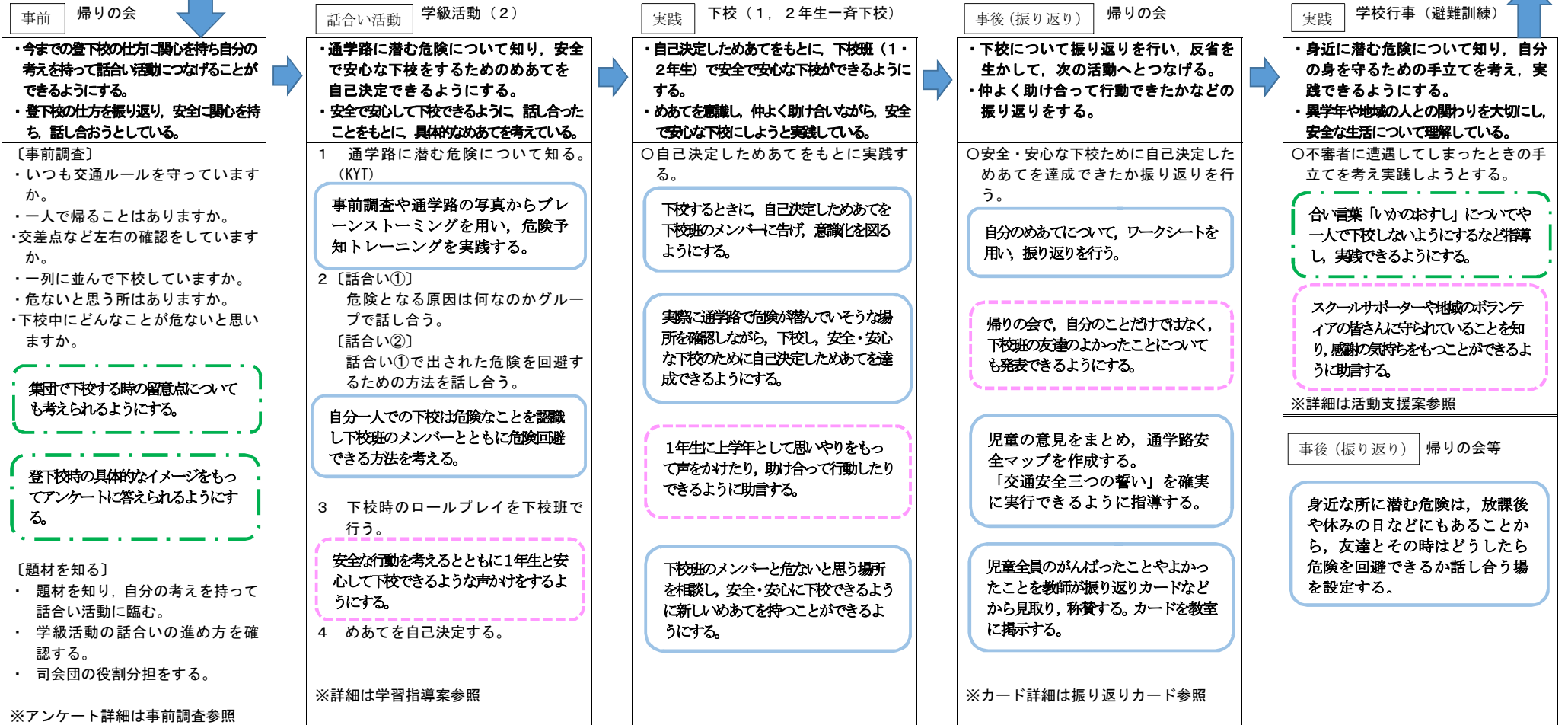
学級活動（２）のカ・ウを統合したことで、安全と安心について考える。問題を解決するための方法や手段などを全員で考え、登下校時に実践できるようにする。身近に潜む危険を回避のために実践したことを学校行事を通じて異学年との活動や地域での活動に広げる。

【望ましい人間関係の形成に向けて】

下校班（１年生との下校）では２年生がリーダーとなることから、１年生にも危険について意識できるように学級活動で考えたことを共有し、仲よく助け合うことができるようにする。また、地域の人に守られていることに気付き、感謝の気持ちを持つ。

【次の活動へとつなげる】

◎楽しい冬休み
楽しい冬休みとするために、めあてを持ち、約束を守って生活しようとする。学級活動（２）



【凡例】

人間関係を形成するための支援

自主的、実践的な態度を育成する活動

指導上の留意点

プログラム 6

あんぜん・あん心な帰り道

- 1 題材 あんぜん・あんな帰道
 (2) カ 心身ともに健康で安全な生活態度の形成 ウ 望ましい人間関係の形成
 【関連】日常生活の中で継続的に異年齢交流を行う活動 1年生との下校
 学校行事 避難訓練 (不審者対応)

2 児童の実態と題材設定の理由

本校では、1・2年生で集団下校を行っている。2年生が、各方面のリーダーとなり下校している。下校の際には、「交通安全3つのちかい」を復唱し、安全に対する意識付けをするなど日々継続して指導している。しかし、2年生は、学校生活に慣れてきていると同時に、道路の歩行にも気が緩みがちなところが見えてきている。

自ら身近に潜む危険に気付くことができるようにすることが安全な生活態度を形成するために必要なことである。安全意識を高めていくために危険予知トレーニングを活用し、安全で安心な生活をしようとする実践意欲を高めたいと考えた。2年生は「1年生のお世話する」立場にあることを踏まえ、学級活動(2)の共通事項カとウを統合した。また、学級活動で話し合い実践したことと学校行事の避難訓練(不審者対応)との関連を図ることができるように本題材を設定した。

3 評価規準と本題材が目指す児童の姿

観点	集団活動や生活への 関心・意欲・態度	集団の一員としての 思考・判断・実態	集団活動や生活についての 知識・理解
評価規準	自己の身の回りの問題に関心をもち、健康で安全に過ごすために進んで取り組もうとしている。 安心して下校するために下校班で協力しようとしている。	学級生活を健康で安全に過ごすために、日常の生活や学習の課題について話し合い、自分に合ったよりよい解決方法などについて考え、判断し、実践している。 上学年として下学年に対して思いやりをもった接し方を考えている。	学級生活を健康で安全に過ごすことの大切さ、そのための基本的な生活や学習の仕方などについて理解している。 下校班の意義を理解している。
目指す児童の姿	通学路にも危険が潜んでいることに気付き、安全で安心な下校をしようとしている。 下校班のメンバーと危険箇所を確認しながら、助け合って下校しようとしている。	通学路において危険な場所だと思ふ理由について話し合い、安全に安心して下校するための具体的な手立てを考え、実践している。 下校班のリーダーとして1年生への言葉のかけ方を考え、実践している。	通学路の危険箇所が分かり、安全で安心な下校の仕方を理解することができる。 安心して下校するために下校班があることを理解することができる。

4 活動の指導の見通し

	活動内容	いつ	指導上の留意点・資料	目指す児童の姿・評価方法
事前	<ul style="list-style-type: none"> 題材を知る。 登下校に関するアンケート調査を行う。 自分の問題について考えておく。 	朝の会	<ul style="list-style-type: none"> 通学路について、改めて自分自身の下校の仕方を振り返らせておくとともに、通学路の危険箇所を確認するように伝える。 (アンケート用紙) 	<ul style="list-style-type: none"> 下校の仕方を振り返り、安全で安心な下校について考える。 (関心・意欲・態度) [実態調査]
	<ul style="list-style-type: none"> 通学路の写真を撮る。 	放課後	<ul style="list-style-type: none"> 通学路安全マップから、危険箇所として考えられ 	

	<ul style="list-style-type: none"> グループでの話し合いがあることを伝え、グループの中で役割分担を決めておくように伝える。 	帰りの会	<ul style="list-style-type: none"> 場所を撮影する。 (通学路安全マップ) 司会者、報告者、記録者の役割を確認し、話し合いの進め方を確認する。 (話し合いの進め方マニュアル) 	<ul style="list-style-type: none"> 話し合いの進め方を理解している。 (思考・判断・実践) [観察]
本時	本時の展開 参照			
事後	<ul style="list-style-type: none"> 決めたことについて実践する。 実践したことを振り返り、発表する。 	帰りの会	<ul style="list-style-type: none"> 「あんぜん・あんしんな帰り道カード」に実践したことや友達や1年生ががんばっていることを記録することを伝える。 帰りの会の中で全員が発表できるようにする。 	<ul style="list-style-type: none"> 自分で決めたことについて努力している。 友達や1年生ががんばっているところを見つけることができる。 (思考・判断・実践) [観察・ワークシート] 実践していることを発表している。 (思考・判断・実践) [発表・観察]

5 本時の展開

(1) 本時のねらい

下校時の通学路の危険に気付き、自分の身を守る方法を考え、より安全な生活を目指し話し合い、実践しようとする意欲を持ち、さらに1年生に教えようとするができるようにする。

(2) 本時の展開

	児童の活動	指導上の留意点 望ましい人間関係の形成に向けた支援ポイント	資料	目指す児童の姿と 評価方法
つかむ	<p>1 今までの下校の様子を振り返り、自分の下校のしかたについて考える。</p> <p>○通学路の写真を見る。 ○自分の下校の様子を振り返り、伝える。</p> <p>2 危険予知トレーニングについて確認する。</p>	<ul style="list-style-type: none"> アンケートの結果や通学路の写真から、身近なところに危険が潜んでいることを実感できるようにする。 下校時の様子を想起し、1, 2年生帰るときに問題はないか考えることができるようにする。 写真からどんな危険があり、どうすればその危険を防ぐことができるかをグループで考える危険予知トレーニングであることを伝える。 	<ul style="list-style-type: none"> 実態調査 通学路の写真 危険予知トレーニングマニュアル 	<ul style="list-style-type: none"> 通学路の危険箇所に気付き、関心をもっている。 (関心・意欲・態度) [観察・実態調査] 話し合いの進め方を理解している。 (思考・判断・実践) [観察]
さぐる	<p>3 通学路に潜む危険について、グループごとに危険予知トレーニングを活用しながら話し合う。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ブレインストーミングを用い、自分の意見を全員が言えるようにする。 	<ul style="list-style-type: none"> ブレインストーミング掲示物 	

見付ける	<p>(1) 危険な場所の写真を見ながら、どんなところが危ないかを考え、話し合う。</p> <p>(2) 危険をなくしたり、防いだりするための手立てを考え、話し合う。</p> <p>4 危険をなくしたり、防いだりする手立てをグループごとに発表する。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ピンクの付箋を用い、写真の上にどんな危険があるか具体的に書くように伝える。 ・交通安全で気をつけることと危険箇所を気をつけることを考えるように助言する。 ・机間指導しながら、書かれた内容を称賛し、意欲的に取り組めるようにする。 ・水色の付箋を用い、写真の上に危険を防ぐ具体的な手立てを書くように伝える。 ・話し合っただけの意見をホワイトボードに書き、自己決定の際に参考とできるように掲示する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・通学路写真（各グループ） ・付箋（ピンク・水色） ・ ・ホワイトボード 	<ul style="list-style-type: none"> ・どんなところが危ないか理解している。 （知識・理解） 〔観察・付箋〕 ・自分の身を守るためにどうしたらいいか考えている。 （思考・判断・実践） 〔観察・付箋〕
決める	<p>5 自分で実践しようと思うことを「あんぜん・あんしんな帰り道」カードに書く。</p> <p>6 教師の話聞く。</p> <p>7 下校班で、自分で実践するためにロールプレイングを行う。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・具体的にどんな手立てをするのか分かるようにカードに書くように助言する。 ・なかなか書き出せない児童には、板書したものや友達の考えを参考にしながら自己決定するように助言する。 ・司会団をねぎらい、話し合い活動のよかった点と今後の課題を話す。 ・危険箇所については、休日や帰宅後にも注意するように指導する。 ・1年生と下校するためにどんなことに声かけをするかを十分に意識して行うように指導する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・あんぜんあんしんな帰り道カード 	<ul style="list-style-type: none"> ・自分が実践できそうなことを考え、安全な下校のための具体的な手立てを書いている。 （思考・判断・実践） 〔発表・カード〕

(3) 事後指導

- ・1週間自己決定したことを実践し、その反省を「あんぜん・あんしんな帰り道」カードの自己評価欄に書くことと、友達や1年生と一緒に取り組んだことを記録するように伝える。
- ・帰りの会で、実践していることを学級全体に発表することを伝える。

あんぜん・あん心な帰り道

名前

今日の学びゆうかつどうの話合いで思ったことを書きましょう。

【じぶんのめあて】

【じぶんのめあて】

【1年生に教えてあげること】



【ふりかえってみよう】○じぶんのめあてをたっせいできたかな

日にち						
めあて(きめたこと)ができましたか。						

【やってみたかんそうを書きましょう】

ブレインストーミング四かじょう

一 ユニークな考え 大かんげい

二 「それできない」「むりー!」と「はい」「おは
きんし!」

三 たくさんのアイデアを 出すべし

四 合体オーケー!

友だちのいけんに くっつけてもいい
のです

KYT(きけんよちトレーニング)

マニュアル

みなさんのみぢかなところに たくさんのきけんが ひそんでいます。

「きけんなこと」に気づき よそくできるきけんをさけて 「じぶんでみをまもる」ことが できるようにする学しゅうが KYT(きけんよちトレーニング)です。

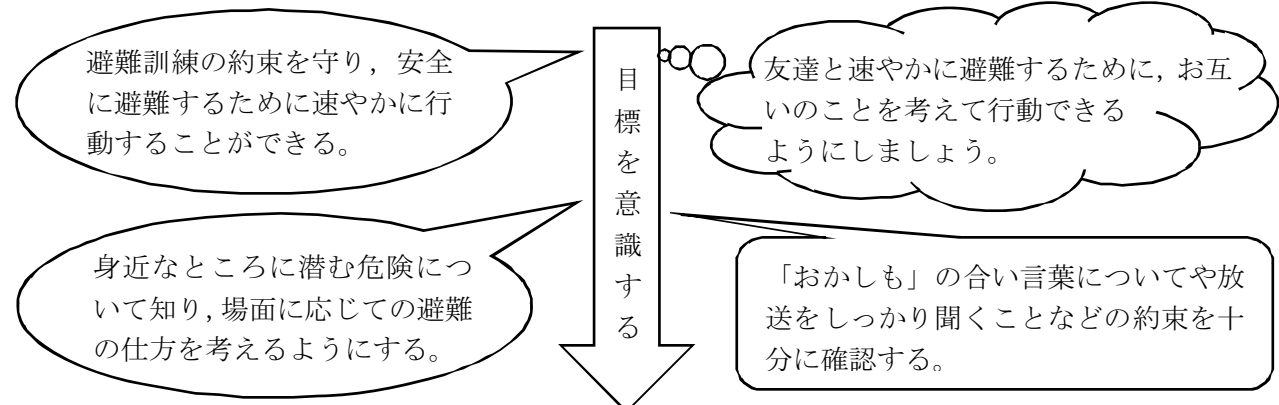
KYT のやり方

話合いのはしら	考えること・話し合うこと
1 どんなきけんが ひそんでいるかな	•どんなところに きけんがあるかな。さがしてみよう。 •ブレンストーミングをしよう。
2 これが きけんのポイントだ!	•グループで さがしだしたきけんの げんいんを 話し合おう。 •みんなで 話し合ったげんいんを せいりしよう。
3 あなたなら どうする?	•どうしたらふせげるか じこをなくせるか みんなで 話し合おう
4 わたし(たち)は こうします	•話し合ったことから じぶんのめあてを 考えよう。決めたことは 友だちにつたえよう

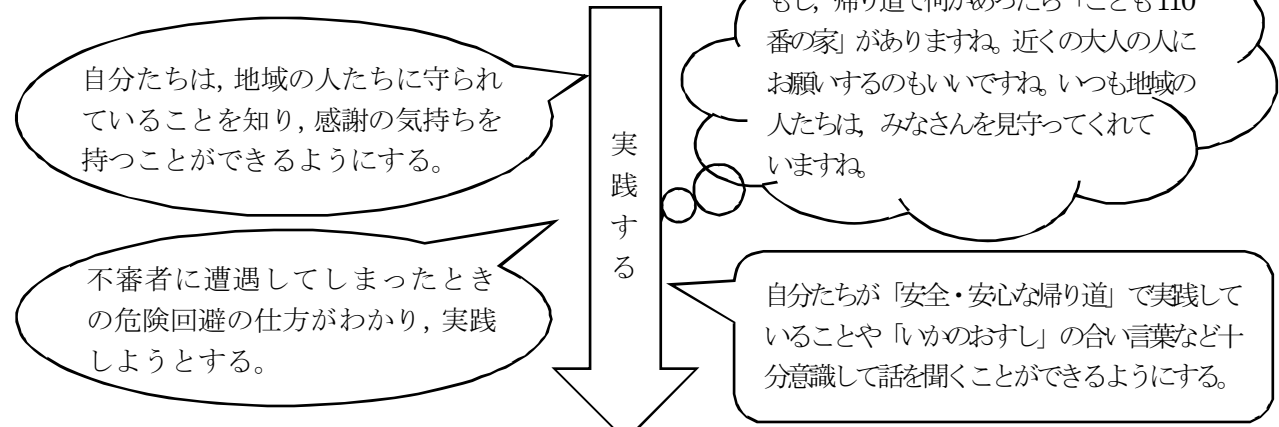
【学校行事（避難訓練：不審者対応）】活動支援案

〔ねらい〕 身近に潜む危険について知り、危険を回避するための方法を考えたり、めあてを実践しようとしたりする。安心に生活するために、仲よく、助け合うことが大切なことを理解する。

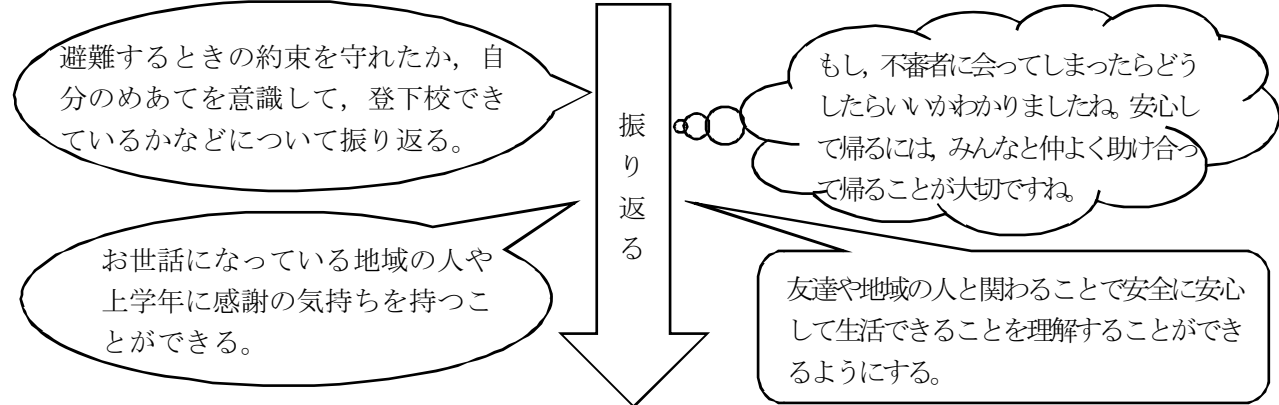
① 校舎内に不審者が侵入してきたことを想定して、避難場所へと避難する。【避難訓練】



② スクールサポーターの話を聞く。



③ 避難訓練の活動の振り返りを行い、自分のめあてを確認する。【避難訓練後・帰りの会】



〈凡例〉

目指す児童の姿

望ましい人間関係の形成に向けた声かけの例

指導上の留意点など

【題材】 波野っ子フェスタ

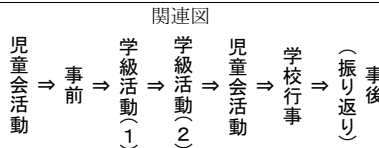
【関連及び統合】学級活動（１）ア 話し合い活動 学級活動（２）ウ 望ましい人間関係の形成 その他（学校行事事前事後指導）児童会活動（２）異年齢集団による交流 （３）学校行事への協力 学校行事（２）文化的行事

【プログラムのねらい】 児童の自主的、実践的な活動を多く取り入れ、様々な集団の中でもめあてを意識し、取り組むことができるようにする。

【プログラムを通して目指す児童の姿】 様々な集団の中での活動を通して、児童相互の連帯感を高め、仲よく助け合い、よさを認め合ったり、地域の方と交流を深めたりする。

【これまでの活動】

- ◎児童会活動〔波野っ子フェスタ実行委員会〕
- スローガンの募集
- 地域交流内容決定



【関連・統合の意図】

学校行事として地域の方々との交流を取り入れた「波野っ子フェスタ」と学級活動、児童会活動を関連させることで、自発的、自主的な活動の積み重ねができ、自分たちの発意、発想が活かされているという意識が生まれ、自主的実践的な活動が助長されるようになる。

【望ましい人間関係の形成に向けて】

様々な集団による活動を通して、自分の役割を考え協力して実践することで、児童相互の連帯感を高めることができる。学校内外の異年齢集団による活動を通して、互いのよさを認め合い、交流を深めようとすることができる。

【次の活動へとつなげる】

- ◎各学年による地域の方との交流
- ・スタジアム探検（２年）・幼稚園訪問（１、４年）
- ・キャベツ農家（３年）・門松作り（５年）
- ・地域に住む外国出身の方との交流（６年）

事前 帰りの会	話し合い活動 学級活動（１）	話し合い活動 学級活動（２）	話し合い活動 児童会活動 (縦割り班による交流計画)	実践 学校行事 (波野っ子フェスタ)
<ul style="list-style-type: none"> ・ 昨年の波野っ子フェスタを想起し積極的に参画しようとする意欲を高める。 ・ 地域の方も含めた異年齢集団についての関わり方を考える。 <p>・ 波野っ子フェスタのスローガンを考えよう（実行委員会より） 〔事前調査〕</p> <p>・ 地域の方とどのように交流したいですか。</p> <p>・ 楽しい波野っ子フェスタとするためには、どうすればいいと思いますか。</p> <p>昨年の活動の様子を写真で提示して振り返り、具体的なイメージをもって波野っ子フェスタについてのアンケートに答えられるようにする。</p> <p>〔題材を知る〕</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 題材を知り、自分の考えを持って話し合い活動に臨む。 ・ 学級活動の話し合いの進め方を確認する。 ・ 学級活動（１）計画委員会 ・ 司会団の役割分担をする。 <p>スローガンについては、小学校第２学年という発達の段階を考慮し、家庭に連絡をし、保護者と一緒に考えてもらうことを伝える。</p> <p>※アンケート詳細は事前調査参照</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 波野っ子フェスタに協力して取り組むことについての話し合いをすることができる。 ・ みんなで協力して楽しい波野っ子フェスタとするために話し合う。 <p>1 昨年の波野っ子フェスタを振り返る。 (1) アンケートの結果から (2) 昨年の波野っ子フェスタの写真やVTRから</p> <p>昨年の活動を振り返り、楽しかったことや今年やってみたいことなどを発表することで波野っ子フェスタへの意欲を喚起する。</p> <p>2 〔話し合い①〕 波野っ子フェスタのスローガンについて話し合う。 〔話し合い②〕 学年のステージ発表について話し合う。</p> <p>小グループでの話し合いの時間では、全員が考えを発表できるようにする。</p> <p>小グループでの話し合いで出された意見はグループの記録者がホワイトボードに書き、一人一人の自発的な思いを大切にしようという意識を高めるようにする。</p> <p>3 決定したことを発表する。 4 教師の話を聞く。</p> <p>※詳細は学級活動（１）学習指導案参照</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 波野っ子フェスタに向けてめあてを持ち、そのめあてに向かって自分の取組方を考える。 ・ 様々な集団において自分の役割を考え協力して実践しようとする。 <p>1 学級活動（１）で決定したことを確認する。 (1) 波野っ子フェスタ実行委員会から (2) 学年のステージ発表について</p> <p>学級活動（１）で話し合ったことが児童会活動や学校行事に生かされていることを確認することで自発的活動に自信を持って取り組めるようにする。</p> <p>2 〔話し合い①〕 どんな波野っ子フェスタにしたいか話し合う。 〔話し合い②〕 話し合い①で話し合ったことを実現するために方法や手段を話し合う。</p> <p>様々な集団の中で仲よく協力して活動するためにはどうしたらいいか話し合い、自主的な活動となるようにする。</p> <p>3 話し合ったことをもとに、個人目標を自己決定する。 4 教師の話を聞く。</p> <p>縦割り班での取組方を話し合うことを知らせ、学級活動と同様に自分の考えを持って臨むようにする。</p> <p>※詳細は学級活動指導案（２）参照</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 縦割り班による地域の方との交流の目標や交流を深めるための方法を話し合う。 ・ 縦割り班において自分の役割を考え、協力して活動に取り組もうとする <p>1 縦割り班による交流の内容の確認をする。</p> <p>6年生を中心として話し合いが進められるように事前に担当教師と十分に打合せをするようにする。</p> <p>2 〔話し合い①〕 縦割り班の目標について話し合う。</p> <p>縦割り班での地域の方との交流の意義を理解させ、交流を深めるための方法を考えることができるようにする。</p> <p>〔話し合い②〕 活動の時の異学年のペアを組む。</p> <p>活動の内容により、ペア、小グループなどの組み方を考えるようにする。</p> <p>〔話し合い③〕 どんな係が必要か</p> <p>発達の段階を考え、みんなで協力して活動に取り組めるように役割分担をする。</p> <p>活動内容や準備物、活動場所や話し合っただけで決定しためあてをまとめ、周知できるようにする。</p> <p>※詳細は活動支援案①参照</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 学級活動（１）で決定した取組を仲よく協力して取り組むことができる。 ・ 集団での取組を通して、協力して取り組むことで連帯感を高め、仲よく助け合い、地域の方とも交流を深める。 <p>○ 合意形成を図った集団目標をもとに実践する。</p> <p>自発的、自主的に取り組んだことでよかったことや改善した方よいところを考え、次の活動に生かすことができるようにする。</p> <p>協力して活動することの大切さを実感し仲よく助け合い、様々な集団の中でも自分の役割を意識して活動できるようにする。</p> <p>※詳細は活動支援案②参照</p> <p>事後（振り返り） 閉会式、帰りの会</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 振り返りを行い、反省を生かして、次の活動へとつなげる。 <p>様々な集団の中でもめあてを意識して取り組めたことを称賛し、連帯感を高め、自信をもって取り組むことができる自主的、実践的な活動とつなげることができるようにする。</p> <p>※詳細は振り返りカード参照</p>

【凡例】

人間関係を形成するための支援

自主的、実践的な態度を育てる手立て

指導上の留意点

プログラム7

なみのっ子フェスタにむけて

なみのっこ 波野っ子フェスタスローガン募集

波野っ子フェスタ実行委員会

○波野っ子フェスタのスローガンを募集します。

みんなで波野っ子フェスタを盛り上げましょう。

(参考(去年) : つなげよう みんなの笑顔と 地域の輪)

波野っ子フェスタ 2014 スローガン

ねん 年
くみ 組
なまえ 名前

*月*日に各学級担当の実行委員が取りに来ます。それまでに、学級で話し合
って、一つのスローガンを提案できるようにしてください。スローガンは、一人で
考えたものでも学級の合作でもかまいません。 よろしくお願ひします。

- 1 議題 波野っ子フェスタをせいこうさせよう
 (1) ウ 学校における多様な集団の生活の向上
 【関連】学級活動（2）、児童会活動（3）、学校行事（2）（波野っ子フェスタ）

2 議題について

(1) 児童の実態（計26名）

本学級の児童は、第1学年の時に12班の縦割り班に分かれ、継続して活動している。縦割り班遊びや校内清掃など定期的に交流を行っている。波野っ子フェスタは昨年も行い、児童は、学年のステージ発表や縦割り班で行う地域の方との交流活動を経験している。そこで、アンケートを実施した。（アンケート結果省略）

(2) 議題選定の理由

アンケート結果から児童は、波野っ子フェスタを楽しみにしていることが分かった。「楽しい」という思いだけではなく、話し合いを行うことで自発的、自治的な活動となるようにし、自主的、実践的な活動が助長されるようにしたい。また、学年のステージ発表では、児童の考えを生かし自発的、自治的な活動を行うことで積極的に学級活動に参画できるようにしたいと考え、本議題を設定した。

3 評価規準と本題材が目指す児童の姿

観点	集団活動や生活への 関心・意欲・態度	集団の一員としての 思考・判断・実践	集団活動や生活についての 知識・理解
評価規準	様々な集団との交流に関心を持ち、他の児童と協力して進んで活動に取り組もうとしている。	波野っ子フェスタに向けて、様々な集団においての活動の仕方を考え、判断し、友達と協力しながら実践している。	様々な集団において学校生活を楽しくする大切さ、そのための基本的な生活や学習の仕方などについて理解している。
目指す児童の姿	学年や縦割り班による活動で仲よく助け合い、よさを認め合って進んで活動に取り組もうとしている。	波野っ子フェスタにおける学年や縦割り班による活動での自分の役割を考え、実践している。 縦割り班の活動では、地域の方と交流を深める手立てを考え、実践している。	波野っ子フェスタでの学年や縦割り班による活動での自分の役割を理解したり、地域の方などと交流を深める大切さを理解している。

4 活動の指導の見通し

	活動内容	いつ	指導上の留意点・資料	目指す児童の姿・評価方法
事前	<ul style="list-style-type: none"> ・題材を知る ・小グループで話し合いをすることを知り、役割分担を行う。 ・司会グループは、話し合いの柱立てや役割分担などを教師と打ち合わせる。 	帰りの会	<ul style="list-style-type: none"> ・アンケート調査では、今までの縦割り班活動や波野っ子フェスタを振り返ることができるようにし、意見を持って学級活動に参加できるように意識付けを行う。 ・昨年の波野っ子フェスタの様子画像を用意し、振り返りができるようにする。 ・みんなで協力して自信を持って学級活動を運営できるように指導する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・昨年の波野っ子フェスタを振り返り、協力して行う波野っ子フェスタについて考える (関心・意欲・態度) 〔実態調査〕 ・話し合いの進め方を理解している。 (思考・判断・実践) 〔観察〕
話し合い	・本時の展開 参照			

話し合い	学級活動（２） なみのっ子フェスタにむけて	学級活動	※詳細は、学級活動（２）指導案参照	
事後	・波野っ子フェスタの縦割り班で行う活動でも自分に役割や活動の仕方を考え、活動することができるようにする。		・学年の発表のために実践していることや友達がんばっていることをワークシートに記録することを伝える。 ・帰りの会の中で取り組んだことを全員が発表できるようにする。	・自分で決めたことについて努力している。 ・友達の見方でのよいところを見つけることができる。 （思考・判断・実践） 〔観察・ワークシート〕 ・実践していることを発表している。 （思考・判断・実践） 〔発表・観察〕

5 本時の展開

(1) 本時のねらい

波野っ子フェスタに協力して取り組むことについて話し合いをすることができる。

(2) 児童の活動計画

学きゅう会 かつどう計画		11月〇日（〇）〇時間目	
ぎだい	なみのっ子フェスタをせいこうさせよう		
やくわり	し会（□□□□） 黒ばん書記（□□□□）	ふくし会・ていあんしゃ（□□□□） ノート書記（□□□□）	
ていあんりゆう	なみのっ子フェスタじっこういいん会から、スローガンのていあんをしてほしいと話がありました。楽しいなみのっ子フェスタとするために、みんなで考えたいと思いました。もう一つは、学年のステージ発表をみんなで考え、やくわりぶんたんをするなどしていいなみのっ子フェスタにしたいと考え、このぎだいをていあんしました。		
めあて	なみのっ子フェスタをせいこうさせるために、きょう力して取り組むことをみんなで話し合おう		
きまっていること	○やる日・・・*月*日（*） ○場所・・・なみの小学校、なみのこうみんかん ○学年のステージはっぴょう（歌、がっそう、スイミーのげき） ○たてわりはんでちいきのかたところりゅうかつどう		
話し合いのじゅんじょ（時間）	気をつけること		じゅんび
1 はじめのことば	・大きな声ではっきりと言う。		
2 し会グループのしょうかい	・じぶんのめあてを言って、じこしょうかいをする。		
3 ぎだいのかくにん	「なみのっ子フェスタをせいこうさせよう」		
4 ていあんりゆうやめあてのかくにん	・大きな声でみんなにわかりやすくせつめいする。 ・1年生の時のなみのっ子フェスタをおもいだせるように、しゃしんやビデオを見る。		・せつめいの紙 ・アンケートけっか ・1年生の時のなみのっ子フェスタのしゃしんとビデオ
5 きまっていることのかくにん	・黒ばんに書いて、わすれないようにする。		
4 話し合い			
①なみのっ子フェスタのスローガンについて話し合う	・ぜんいんが考えてきたスローガンを書いた紙をよういしてみんなで話し合う。 ・小グループで話し合ってから、いけんをグループごとにはっぴょうしてもらう。		・ぜんいんのスローガンを書いた紙

②学年のステージはっぴょうについて話し合う	<ul style="list-style-type: none"> ・はっぴょうのないようを聞いて、みんなできょう力してできることややくわりをぶんたんするようにする。 	<ul style="list-style-type: none"> ・タイマー ・ホワイトボード ・ペン
7 きまったことのはっぴょう	<ul style="list-style-type: none"> ・きまったことをみんなできょう力してできるようにおねがいます。 	
8 ふりかえり	<ul style="list-style-type: none"> ・じぶんや友だちのよかったところを考えて 	
9 先生の話	<ul style="list-style-type: none"> ・学びゆう会ががんばりをはっぴょうする。 	
10 おわりのことば	<ul style="list-style-type: none"> ・気持ちのよいあいさつをする。 	学びゆう会ノート

(3) 教師の指導計画

話し合いの順序	指導上の留意点 望ましい人間関係の形成に向けた支援ポイント	目指す児童の姿と 評価方法
1 始めの言葉		
2 計画委員の自己紹介	<ul style="list-style-type: none"> ・計画委員が話し合いの自分のめあてを自信をもって言えるように支援する。 	
3 議題の確認		
4 提案理由やめあての確認	<ul style="list-style-type: none"> ・提案者の思いを学級の全員が理解し、話し合いの指針となるように発表できるようにする。 ・話し合いを始める前に昨年の活動を振り返りながら、波野っ子フェスタの意義や協力して取り組むことの大切さを理解することができるようにする。 ・話し合いの準備の中で用意したものを活用する。 	<p>【知識・理解】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・波野っ子フェスタの意義や協力して取り組むことの大切さを理解している。 <p>[観察・学級活動ノート]</p>
5 決まっていること	<ul style="list-style-type: none"> ・自治的活動の条件についてもふれるようにする。 	
6 話し合い		
①スローガンの提案	<ul style="list-style-type: none"> ・計画委員会で話し合う内容についてすぐに話し合い活動に入れるように用意した資料を活用するようにする。 	<p>【思考・判断・実践】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・提案理由を踏まえて集会の目的に合った内容や工夫、役割分担について考えて発言している。
②学年のステージ発表について	<ul style="list-style-type: none"> ・小グループでの話し合いの時間を設け、全員が議題について考えを発表できるようにする。 ・小グループの話し合いでは、輪番制で司会者、発表者、記録者を決めておき、進めることができるようにする。 ・小グループで出された意見は、記録者がすべてホワイトボードに書く。全員の意見を可視化できるようにすることで、一人一人の考えを大切にしようという意識を高める。 ・発言者が偏らないように助言するとともに、なかなか発言できない児童や進んで参加できない児童には個別に助言する。 ・少数意見でも発言の機会を与え、話し合いがより深まるようにする。 ・自分（自分のグループ）の考えに固執せず、納得した上で考えを変えるなど、折り合いを付けることなどを司会者がうまく運べない場合は助言する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・友達の見解を参考にして、新たな意見や折衷案を考えて発言している。 <p>[観察・学級活動ノート]</p> <p>【知識・理解】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・話し合いの進め方や約束を理解している。 <p>[観察]</p>
7 決まったことの発表	<ul style="list-style-type: none"> ・決まったことは、全員で協力して取り組むことを司会者から確認する。 	
8 話し合いの振り返り	<ul style="list-style-type: none"> ・よかった点や課題について自己評価するとともに、友達のよかった点などについても相互評価ができるように助言する。 ・話し合いの最後に、話し合いの中で頑張ったことを発表する場面を設定することで、自分のことだけではな 	

9 先生の話	<p>く友達のよいところにも目を向けることができるようにする。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・前回の学級会と比べてよかったところを称賛するとともに、今後の課題を伝える。 ・計画委員へねぎらいの言葉を掛けるとともに、実践への見通しをもたせ、事後の活動への意欲が高まるような言葉掛けをする。
10 終わりの言葉	

6 事後の活動

日 時	児童の活動	指導上の留意点	目指す児童の姿と評価方法
*月*日 帰りの会	<ul style="list-style-type: none"> ・決まったことを学級活動コーナーに掲示する。 ・実行委員会にスローガンの提案をする。 ・学年のステージ発表の練習計画を立てる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・学級会で決まったことを要点をまとめて書けるように計画委員会に助言する。 ・計画委員会から、実行委員会に報告して自治的な活動とする。 ・学年で意見を交換できるように時間を設定する。 	<p>【関心・意欲・態度】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・準備や波野っ子フェスタに進んで取り組もうとしている。〔観察〕 <p>【思考・判断・実践】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・集会の目的を考え、友達と協力し責任を持って準備したり、参加したりしている。 <p>〔観察・振り返りカード・お礼の手紙・感想文〕</p>
*月*日	<ul style="list-style-type: none"> ・ステージ発表の準備をする。(飾り付け、練習等) 	<ul style="list-style-type: none"> ・協力したり、工夫したりして活動している児童を称賛する。 	
*月*日	<ul style="list-style-type: none"> ・縦割り班ごとに地域の方との交流について話し合う。 	<ul style="list-style-type: none"> ・縦割り班においてもめあてを意識し、自分の役割を考え、協力して取り組むことができるようにする。 	
*月*日	<ul style="list-style-type: none"> ・「波野っ子フェスタ」 	<ul style="list-style-type: none"> ・自分のめあてを意識して活動に取り組むことができるようにする。 	
*月*日	<ul style="list-style-type: none"> ・振り返り ・地域の方にお礼の手紙を書いて交流を深める。 	<ul style="list-style-type: none"> ・自分の態度を振り返り、今後の交流や生活づくりに生かせるようにするとともに、友達のよいところについても認められるように助言する。 	

なみのっ子フェスタについての
アンケート

名前

*月*日に「なみのっ子フェスタ」があります。

かい会ぎょうじ，学年のステージはっぴょう，たてわりはんこうり
ゆうかつどう，へい会ぎょうじをします。

1 なみのっ子フェスタは，どんなことが楽しみですか。

2 たくさんのちいきの人がきてくれます。ちいきの人となかよくなるためには，どうしたらいいと思いますか。

3 楽しいなみのっ子フェスタとするためには，どうしたらいいと思いますか。

なみのっ子フェスタを せいこうさせよう

名前

話し合うこと	じぶんの考え	きまったこと
① スローガンを考えよう		
② ステージはっぴょう ア 歌うきょく		
イ がっそうきょく		
ウ やくわり分たん		

今日の学びゆう会の話合いで思ったことを書きましょう。



【じぶんのやくわりぶんたんやじゅんびすること】

•めあてを考えてはっぴょうしましたか		•じぶんのいけんをはっぴょうしましたか	
•友だちのいけんをよく聞きましたか		•きまったこと、やくわりがわかりましたか	

- 1 題材 なみのっ子フェスタにむけて
 (2)ウ 望ましい人間関係の形成 その他(学校行事事前事後指導)
 【関連】 学級活動(1)「なみのっ子フェスタを成功させよう」
 児童会活動(3)「波野っ子フェスタを成功させよう」
 学校行事(3)「波野っ子フェスタ」

2 児童の実態と題材設定の理由

学校行事である波野っ子フェスタは、隣接する公民館と共催で行っている。主な活動内容は、各学年のステージ発表と地域の方を講師にお迎えし、縦割り班で活動する地域交流活動である。児童は第1学年の時に経験し、波野っ子フェスタを楽しみにしている。学年でのステージ発表は、前年度の感想から、自分たちで考えた劇をしてみたいなど、意欲的に取り組もうとしている様子が見られる。また、縦割り班での活動は、月に一度、「ふれ合い遊び(縦割り班遊び)」「縦割り班校内清掃活動」を行っている。その他にも、集会活動時に縦割り班で行うこともある。縦割り班において仲よく活動することはできているが、高学年の児童に頼ってしまい、自分の役割を果たすことができないことも見られる。

波野っ子フェスタは、様々な集団の中で活動が行われる。同年齢集団、地域の方も含めた異年齢集団による交流があり、学校行事の意義を理解し、その中で自分の役割を果たすとともに、仲よく助け合い、よさを認め合えるように目標を持ち、取り組むことができるように本題材を設定した。

3 評価規準と本題材が目指す児童の姿

観点	集団活動や生活への 関心・意欲・態度	集団の一員としての 思考・判断・実践	集団活動や生活についての 知識・理解
評価規準	様々な集団との交流に関心を持ち、他の児童と協力して進んで活動に取り組もうとしている。	波野っ子フェスタに向けて、様々な集団においての活動の仕方を考え、判断し、友達と協力しながら実践している。	様々な集団において学校生活を楽しくする大切さ、そのための基本的な生活や学習の仕方などについて理解している。
目指す児童の姿	学年や縦割り班による活動で仲よく助け合い、よさを認め合って進んで活動に取り組もうとしている。	波野っ子フェスタにおける学年や縦割り班による活動での自分の役割を考え、実践している。 縦割り班の活動では、地域の方と交流を深める手立てを考え、実践している。	波野っ子フェスタでの学年や縦割り班による活動での自分の役割を理解したり、地域の方などと交流を深める大切さを理解している。

4 活動の指導の見通し

	活動内容	いつ	指導上の留意点・資料	目指す児童の姿・評価方法
事前	<ul style="list-style-type: none"> ・題材を知る ・小グループで話し合いをすることを知り、役割分担を行う。 ・司会グループは、話し合いの柱立てや役割分担などを教師と打ち合わせる。 	帰りの会	<ul style="list-style-type: none"> ・アンケート調査では、今までの縦割り班活動や波野っ子フェスタを振り返ることができるようにし、意見を持って学級活動に参加できるように意識付けを行う。 ・今年の波野っ子フェスタの様子の画像を用意し、振り返りができるようにする。 ・みんなで協力して自信を持って学級活動を運営できるように指導する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・今年の波野っ子フェスタを振り返り、協力して行う波野っ子フェスタについて考える (関心・意欲・態度) [実態調査] ・話し合いの進め方を理解している。 (思考・判断・実践) [観察]
話し合い	学級活動(1) 議題 「波野っ子フェスタを成功させよう」	学級活動	※詳細は、学級活動(1)指導案参照	

話 合 い	・本時の展開 参照			
事 後	・波野っ子フェスタの縦割り班で行う活動でも自分に役割や活動の仕方を考え、活動することができるようにする。		<ul style="list-style-type: none"> ・学年の発表のために実践していることや友達がんばっていることをワークシートに記録することを伝える。 ・帰りの会の中で取り組んだことを全員が発表できるようにする。 	<ul style="list-style-type: none"> ・自分で決めたことについて努力している。 ・友達の取組方でよいところを見つけることができる。 (思考・判断・実践) [観察・ワークシート] ・実践していることを発表している。 (思考・判断・実践) [発表・観察]

5 本時の展開

(1) 本時のねらい

波野っ子フェスタの活動で学年の友達や縦割り班、地域の方と交流を深めるための手段や自分のめあてを考えることができる。

(2) 本時の展開

	児童の活動	指導上の留意点 望ましい人間関係の形成に 向けた支援ポイント	資料	目指す児童の姿と 評価方法
つ か む	<p>1 昨年の波野っ子フェスタを振り返り、今年 の取組方について考 える。 ○波野っ子フェスタ実 行委員会からのお知 らせを確認する。 ・スローガン ・縦割り班による交 流の活動内容</p> <p>○学年発表について役 割分担を確認する。</p> <p>2 話し合うことを確 認する。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・学級活動(1)で決定したことを確認する。 ・各学級から提案されたスローガンを実行委員会で話し合い、決定したスローガンを知り、自分の取組方を考える話し合いだということを意識させるようにする。 ・各縦割り班による交流の活動内容を知り、波野っ子フェスタへの意欲を喚起するようにする。 ・自分たちの意見が活かされているという意識を持ち、積極的に活動に取り組むことができるようにする。 ・話し合うことを黒板に書き出し、話し合いを可視化する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・学級活動(1)の話し合い資料 ・波野っ子フェスタ実行委員会だより ・学年ステージ発表プログラム 	<ul style="list-style-type: none"> ・波野っ子フェスタに関心をもっている。 (関心・意欲・態度) [観察・アンケート] ・自分から進んで協力して活動する大切さについて理解している。 (知識・理解) [観察]
さ ぐ る 見 つ け る	<p>3 [話し合い①] ○どんな波野っ子フェスタにしたいか</p> <p>[話し合い②] ○話し合い①で話し合ったことを実現するための方法や手段を話し合う。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・他のグループの発表を自分たちの意見と比較しながら聞くことができるように助言する。 ・グループ全員が自分の意見を言えるように司会者が進行するようにする。 ・始めにグループで話し合い、解決する方法を考える。その後、グループの発表者が、意見を発表す 	<ul style="list-style-type: none"> ・ワークシート ・ホワイトボード 	<ul style="list-style-type: none"> ・どんな波野っ子フェスタにしたいか自分の意見を出しながら話し合っている。 (思考・判断・実践) [観察]

		<p>ることで、学級全員が話し合いに積極的に参画できるようにする。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・話し合っ出て意見ホワイトボードに書き、自己決定の際に参考とできるように掲示する。 		
決める	<p>4 自分で実践しようと思うことをワークシート「なみのっ子フェスタにむけて」に書く。</p> <p>5 自己決定しためあてを発表したり、友達のめあてを聞く。</p> <p>6 教師の話聞く。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・具体的にどんなめあてを持って波野っ子フェスタに臨むのか書くことができるようにする ・なかなか書き出せない児童には、話し合い②で出された意見や友達の考えを参考にするように助言する。 ・友達のめあても確認して協力して取り組むことができるようにする。 ・司会団にねぎらいの言葉をかける。 	・ワークシート	<ul style="list-style-type: none"> ・自分が実践できそうなことを考え、波野っ子フェスタの取組方を決定している。(思考・判断・実践) [発表・カード]

(3) 事後指導

- ・帰りの会で、実践していることを学級全体に発表することを伝える。
- ・縦割り班による交流でも、自己決定したことを実践することができるようにする。

なみのっ子フェスタにむけて

名前

今日の学びゆうかつどうの話合いで思ったことを書きましょう。

【じぶんのめあて】



【なみのっ子フェスタのかんそうを書きましょう】

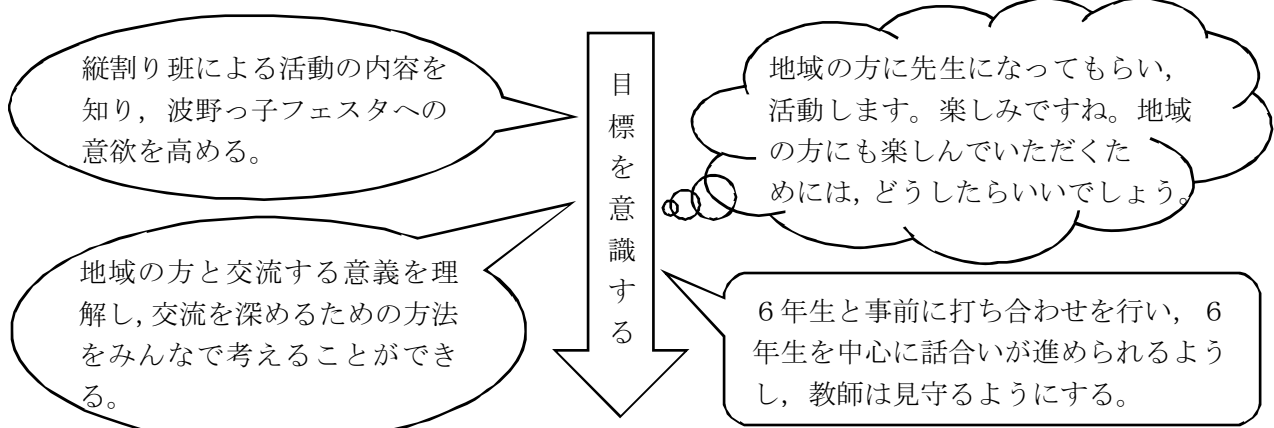
○学年のステージはっぴょう

○たてわりはんのこうりゆうかつどう

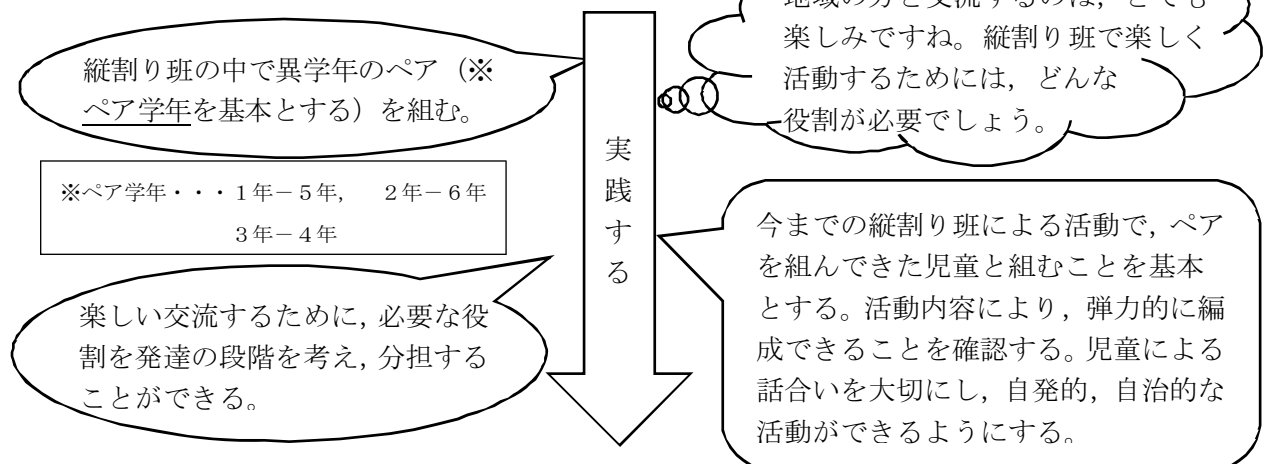
【児童会活動（縦割り班）】活動支援案①

〔ねらい〕 縦割り班による地域の方との交流の目標や地域の方と交流を深める方法などを考える。縦割り班で活動において、仲よく協力し、よさを認め合うことが大切であることを理解する。

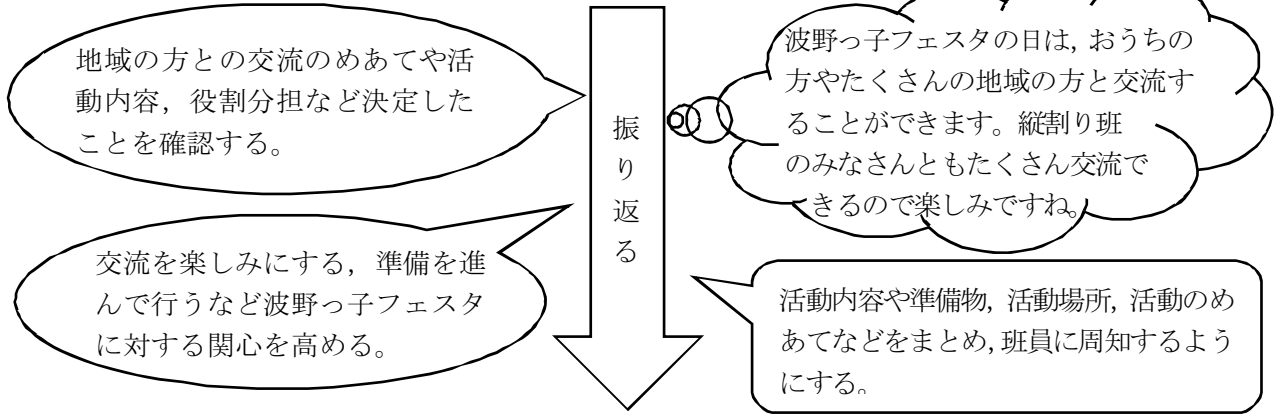
① 縦割り班で行う地域の方との交流の内容を知り、班の目標を考える。



② 目標をもとに役割分担を行う。



③ 振り返りを行う。



〈凡例〉

目指す児童の姿

望ましい人間関係の形成に向けた声かけの例

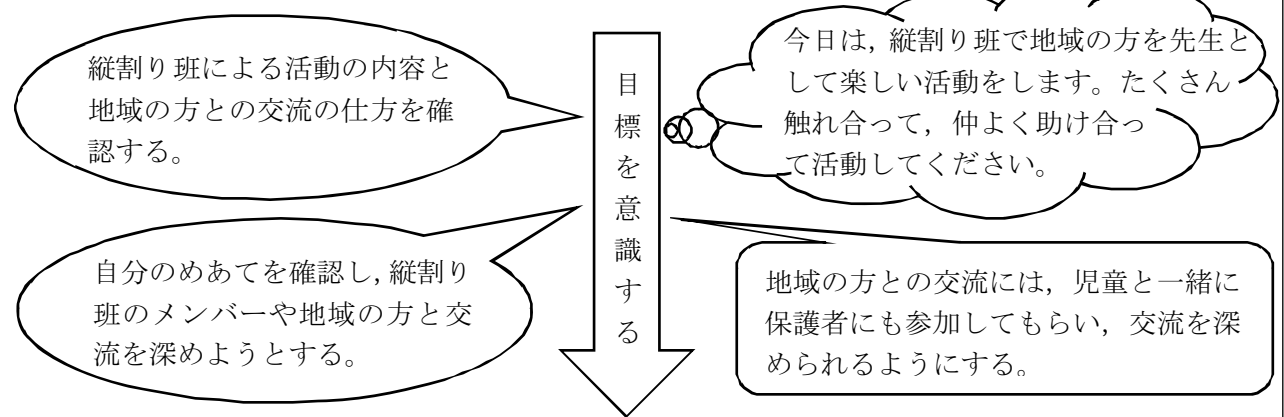
指導上の留意点など

題材 波野っ子フェスタ

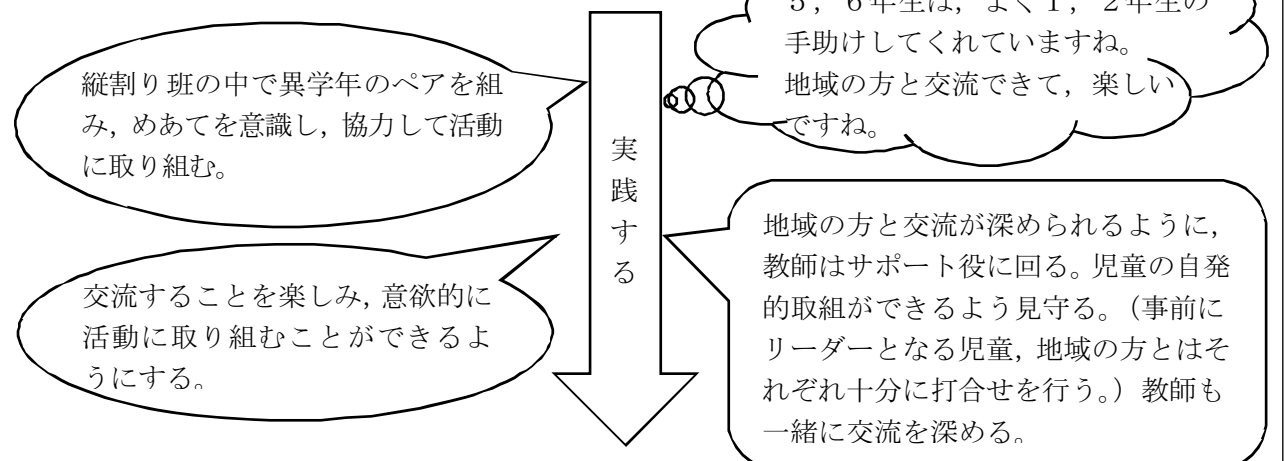
【学校行事（波野っ子フェスタ：縦割り班による地域の方との交流）】活動支援案②

〔ねらい〕 縦割り班による地域の方との交流で、地域の方と交流を深めたり、縦割り班で活動することで、児童相互の連帯感を高めたり、仲よく助け合い、よさを認め合ったりすることができるようにする。

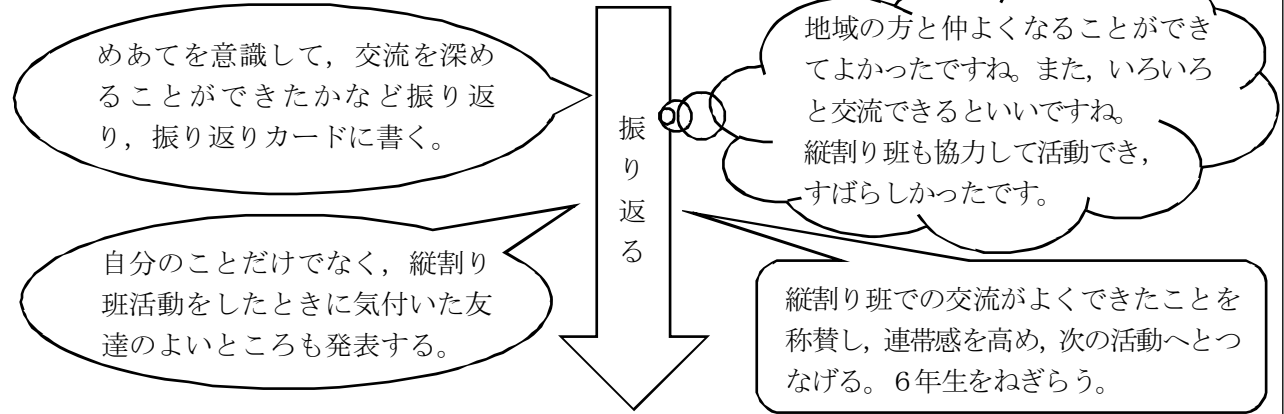
① 自己決定した各自のめあてを確認する。



② 自己決定したことをもとに実践する。



③ 振り返りを行う。【帰りの会】



〈凡例〉

目指す児童の姿

望ましい人間関係の形成に向けた声かけの例

指導上の留意点など

【題材】 気持ちのよいあいさつ

【関連及び統合】学級活動(2)イ 基本的な生活習慣の形成 ウ 望ましい人間関係の形成
学級活動(1)ア 学級や学校における生活上の諸問題の解決

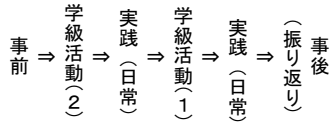
【プログラムのねらい】 気持ちのよい挨拶とはどんな挨拶かを考え、自分から進んで挨拶をしようすることができるようにする。

【プログラムを通して目指す児童の姿】 挨拶という基本的な生活習慣を身に付け、様々な集団の中でも自分から進んで、気持ちのよい挨拶ができるようにする。

【これまでの活動】

- ◎児童会活動〔委員会活動〕朝の挨拶運動
- ◎PTAとの合同による挨拶運動

【関連図】



【関連・統合の意図】

学級活動(2)で共通事項イ、ウを統合することによって友達と仲よく過ごすためには、気持ちのよい挨拶を心掛け、実践することが大切であることに気付くことができるようにする。さらに学級活動(1)と関連を図ることで、個人の取組から集団で協力しての取組として、自発的、自治的活動につなげるようにする。

【望ましい人間関係の形成に向けて】

気持ちのよい挨拶を自分から進んで行うことが、大切であることを理解し、実践しようとする。さらに、気持ちのよい挨拶をもっと広げるために、集団での取組を考え、実践することで、所属感や連帯感を持つことができるようにする。

【次の活動へつなげる】

- ◎PTAとの合同による挨拶運動
- ◎中学生との合同による挨拶運動



【凡例】

- 人間関係を形成するための支援
- 自主的、実践的な態度を育てる手立て
- 指導上の留意点

プログラム 8

気持ちのよいあいさつ

- 1 題材 気持ちのよいあいさつ
 (2) イ 基本的な生活習慣の形成 ウ 望ましい人間関係の形成
 (関連) (1) ア 学級や学校における生活上の諸問題の解決
 ウ 学校における多様な集団の生活向上

2 題材について

(1) 児童の実態

本学級の児童は、気持ちのよい挨拶ができる児童が少ない。しかし、教師に対してや同じ学級の児童に対しては積極的にできる児童も、他の学年や地域の人に自分から進んでできていない状況が見られる。また、挨拶はしているものの元気よく気持ちのよい挨拶とはなっていない場面も多く見られる。あいさつについてアンケート調査を行った。(平成*年*月*日26人実施)

	質 問	回 答 (人)
1	いつもどのように挨拶をしていますか。	<ul style="list-style-type: none"> ・自分から友達や地域の人にあいさつしている 15 ・相手(友達や地域の人)があいさつをしてくれてからする 7 ・あいさつをしようと思うけれど、できないことがある。 4
2	挨拶をするときに、大事だと思うことは何ですか。(複数回答)	<ul style="list-style-type: none"> ・元気にする 24 ・笑顔でする 22 ・相手の目を見てする 17 ・相手よりも先にする 16

毎朝、さわやか委員会が委員会活動の取組として「挨拶運動」を行っている。また、児童と保護者、中学生と一緒に朝の挨拶運動週間を設け、実施している。

しかし、挨拶については、日常的に行っているものの相手の立場になって行ったり、気持ちのよい挨拶をしようとして意識したりすることは、十分にできていない様子が見られることから、望ましい人間関係を築く態度を形成するために、気持ちのよい挨拶について考えさせたい。

(2) 題材設定の理由

基本的な生活習慣の一つである挨拶の指導は、望ましい人間関係を形成するために必要なことである。挨拶を通して、相手との関わりについて意識を高め、相手の気持ちも考えなければならないことも理解することができるようになることを考える。そこで、自分と他人との関わりを大切にしながら、いつでもどこでも自分から元気に挨拶できるような児童を育てたいと考え、本題材を設定した。

3 評価規準と本題材が目指す児童の姿

観 点	集団活動や生活への 関心・意欲・態度	集団の一員としての 思考・判断・実践	集団活動や生活についての 知識・理解
評 価 規 準	自己の身の回りの問題に関心を持ち、進んで日常生活や学習に取り組もうとしている。	学級生活を楽しくするために日常生活や学習の課題について話し合い、自分に合ったよりよい解決方法などについて考え、判断し、実践している。	学級生活を楽しくすることの大切さ、そのための基本的な生活や学習の仕方などについて理解している。
目 指 す 児 童 の 姿	今までの自分の挨拶の仕方を振り返り、気持ちのよい挨拶について考え、自分から進んで挨拶しようとしている。	挨拶についての課題について話し合い、自分から気持ちのよい挨拶をするための解決方法を考え、実践している。	自分から挨拶する大切さや喜びなどから挨拶するよさが分かり、挨拶の仕方を理解することができる。

4 活動の指導の見通し

	活動内容	いつ	指導上の留意点・資料	目指す児童の姿・評価方法
事前	<ul style="list-style-type: none"> ・題材を知る。 ・挨拶に関するアンケート調査を行う。 ・自分の問題について考えておく。 	朝の会	<ul style="list-style-type: none"> ・今までの自分の挨拶のしかたを振り返り、アンケートに答えることができるようにする。 (アンケート用紙) 	<ul style="list-style-type: none"> ・自分の挨拶の仕方を振り返り、気持ちのよい挨拶について考えようとする。 (関心・意欲・態度) [実態調査]

	<ul style="list-style-type: none"> 6年生との朝の挨拶の様子を撮影する。 グループでの話し合いがあることを知り、グループの中で役割分担を決めておくようにする。 	<p>朝 昼休み</p> <p>帰りの会</p>	<ul style="list-style-type: none"> 6年生から挨拶の仕方の実態を伝える映像の準備をする。 児童、保護者から撮影の許可をもらう。 司会者、報告者、記録者の役割を確認し、話し合いの進め方を確認する。(話し合いの進め方マニュアル) 	<ul style="list-style-type: none"> 話し合いの進め方を理解している。(思考・判断・実践) [観察]
本時	本時の展開 参照			
事後	<ul style="list-style-type: none"> 決めたことについて実践する。 実践したことを振り返り、発表する。 	<p>帰りの会</p>	<ul style="list-style-type: none"> 「気持ちのよいあいさつカード」に実践したことや友達ががんばっていることを記録することを伝える。 帰りの会の中で全員が発表できるように伝える。 	<ul style="list-style-type: none"> 自分で決めたことについて努力している。 友達の挨拶の仕方で見つけることができる。(思考・判断・実践) [観察・気持ちよいあいさつカード]

5 本時の展開

(1) 本時のねらい

今までの自分たちの挨拶の仕方を振り返り、より気持ちのよい挨拶をするためにどんなことに気をつければいいのか考え、具体的なめあてを設定し、実践しようとする意欲を持つことができるようにする。

(2) 本時の展開

	児童の活動	指導上の留意点 望ましい人間関係の形成に向けた支援ポイント	資料	目指す児童の姿と 評価方法
つかむ	<p>1 今までの挨拶の様子を振り返り、自分たちの挨拶の姿を知る。</p> <ul style="list-style-type: none"> 6年生からの挨拶の実態を伝える映像を見る。 自分自身の挨拶の様子を振り返り、発表する。 <p>2 話し合うことを確認する。</p>	<ul style="list-style-type: none"> アンケートの結果から挨拶はできているが、自分から元気よくできていないこともあることに気付くことができるようにする。 6年生の挨拶運動の様子や挨拶について自分たちの体験を語っている映像を視聴させ、気持ちのよい挨拶の仕方を考えることができるようにする。 アンケートから自分の挨拶の様子を振り返るようにする。 話し合うことを黒板に書き出し、話し合いの内容を可視化する。 	<ul style="list-style-type: none"> 実態調査 6年生からの挨拶の仕方の実態を伝える映像 	<ul style="list-style-type: none"> 自分の挨拶の仕方に関心をもっている。(関心・意欲・態度) [観察・アンケート] 自分から進んで気持ちのよい挨拶する大切さについて理解している。(知識・理解) [観察]

さ ぐ る 見 付 け る	<p>3 気持ちのよい挨拶について、グループごとに話し合う。</p> <p>4 解決方法をグループごとに発表する。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・情報収集してきたことをもとに試行体験活動を行い、気持ちのよい挨拶の方法を話し合うことができるようにする。 ・グループ全員が自分の意見を言うことができるようにグループの司会者に確認する。 ・話し合っただ意見をホワイトボードに書き、自己決定の際に参考にできるようにする。 	<ul style="list-style-type: none"> ・発表ボード ・ホワイトボード 	<ul style="list-style-type: none"> ・どんな挨拶の仕方がいいか自分の意見を出しながら話し合っている。 (思考・判断・実践) 〔観察〕
決 め る	<p>5 自分で実践しようと思うことを「気持ちのよいあいさつカード」に書く。</p> <p>6 教師の話聞く。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・具体的にどんな挨拶をするのかカードに書くことができるようにする。 ・なかなか書き出せない児童には、板書したものや友達の考えを参考にするように助言する。 ・司会団をねぎらい、話し合い活動のよかった点と今後の課題を話す。 	<ul style="list-style-type: none"> ・気持ちのよいあいさつカード 	<ul style="list-style-type: none"> ・自分が実践できそうなことを考え、挨拶の仕方を決定している。 (思考・判断・実践) 〔発表・カード〕

(3) 事後指導

- ・自己決定したことを1週間実践し、挨拶をしたときの気持ちや、友達のよいところなどを「気持ちのよいあいさつカード」に記録するようにする。
- ・帰りの会で、実践して感じたことや次に意識したいことなどを学級全体に発表する。

あいさつにかんするアンケート

2年 組 名前

○あいさつについてしつ問します。しつ問に答えましょう。

1 いつも、どのようにあいさつをしていますか。一つ○をつけましょう。

ア じぶんから友だちやちいきの人にあいさつをしている

イ あいて(友だちやちいきの人など)があいさつをしてくれてからする。

ウ あいさつをしようと思うけれど、できないことがある。

エ あいさつしない

2 あいさつをするときに、だいじだと思ふことはなんですか。○をつけましょう。○は、いくつつけてもかまいません。

ア 元気にあいさつする イ えがおであいさつする

ウ あい手の目をみてあいさつをする エ あい手よりも先にする

オ 気をつけていることはない

カ そのほか

--

気持ちのよいあいさつ

名前

今日の学きゅうかつどうの話合いで思ったことを書きましょう。

【じぶんのめあて】



【ふりかえってみよう】○じぶんのめあてをたっせいできたかな

日にち						
めあて(きめたこと)ができましたか。						

【やってみたかんそうを書きましょう】

Blank rounded rectangular box for writing.

題材 気持ちのよいあいさつ

【日常】活動支援案①

〔ねらい〕 自己決定した挨拶の仕方を意識して実践する。挨拶の仕方を友達と確認しながら、気持ちのよい挨拶となるようにして、互いのよさを認め合うことができるようにする。

① 自己決定した各自のめあてを確認する。

教室に各自のめあてを書いたカードを掲示し、意識して実践しようとする。

目標カードに書かれているめあてを意識して友達がしているか確認できるようにする。

目標を意識する

気持ちのよい挨拶は、される方もさわやかな気持ちになりますね。みなさんが、気持ちのよいあいさつができたらいいですね。

教師も積極的に児童一人一人に挨拶をする。目標を意識して取り組めるように教室に目標カードを掲示する。

② 自己決定したことをもとに実践する。

目を見て挨拶する、笑顔で挨拶するなど、気持ちのよい挨拶の仕方を意識して進んで行く。

友達と挨拶をしながら、よさを認め合うことができるようにする。

実践する

〇〇さんの挨拶の仕方は、とても気持ちがいいですね。誰にでも同じようにできるところがいいですね。

挨拶は、自分だけで元気よくすればいいというわけではなく、相手を意識して行うことも大切なことだということに気付くことができるようにする。

③ 振り返りを行う。【帰りの会】

めあてを意識して、気持ちのよい挨拶をすることができたか振り返り、振り返りカードに書く。

自分のことだけでなく、挨拶をしたときに気付いた友達のよいところも発表する。

振り返る

気持ちのよい挨拶は、仲良く過ごすためにも大切なことですね。気持ちのよい挨拶がどんどん広がって笑顔も増えますね。

学級の友達だけでなく、異学年や地域の人にもめあてを意識して積極的に取り組むことができるように声かけをする。

〈凡例〉

目指す児童の姿

望ましい人間関係の形成に向けた声かけの例

指導上の留意点など

- 1 議題 気持ちよいあいさつをもっと広げよう
 (1) ア 学級や学校における生活上の諸問題の解決
 【関連】(2) イ 基本的な生活習慣の形成 ウ 望ましい人間関係の形成

2 議題について

(1) 児童の実態（計26名）

本学級の児童は、学級活動（2）イ、ウにおいて「気持ちのよいあいさつ」についての話し合い活動を行った。今までの自分の挨拶の仕方を振り返り、気持ちのよい挨拶をするための自己目標を設定し、取り組んでいる。朝の会や帰りの会で、振り返りを行ったり、友達の挨拶のよいところを発表するなどお互いのよいところを認め合ったりしている。

(2) 議題選定の理由

気持ちのよい挨拶を個人の取組として行ってきたが、「学級としても取組をしたい」という提案があった。一人一人の取組を学級全体の共同の問題とし、さらに学級のみんなで気持ちのよい挨拶を広げていこうとする意識に発展し、議題化した。学級活動（2）日常の生活や学習への適応及び健康安全と（1）学級や学校の生活づくりを関連させ活動することで、児童は「気持ちのよいあいさつ」に対する意識が深まり、より充実した取組となると考える。

3 評価規準と本議題が目指す児童の姿

観点	集団活動や生活への 関心・意欲・態度	集団の一員としての 思考・判断・実践	集団活動や生活についての 知識・理解
評価規準	学級の身の回りも問題に関心を持ち、他の児童と協力して進んで集団活動に取り組もうとしている。	学級生活を楽しくするために話し合い、自己の役割や集団としてのよりよい方法などについて考え、判断し、仲良く助け合って実践している。	みんなで学級生活を楽しくすることの大切さや、学級集団としての意見をまとめる話し合い活動の基本的な進め方などについて理解している。
目指す児童の姿	気持ちのよい挨拶をするために、他の児童と協力して、進んで話し合いに参加しようとしている。	一人一人で行ってきた気持ちのよい挨拶について、もっと広げるために学級としての取組を考え、実践している。	気持ちのよい挨拶をするために、学級としてどんな取組をするか考え、学級で話し合っ、意見をまとめる活動について理解している。

4 活動の指導と見通し

	活動内容	いつ	指導上の留意点・資料	目指す児童の姿と 評価方法
話し合いの準備	<ul style="list-style-type: none"> 自己決定した「気持ちのよいあいさつ」実践する。 【計画委員会】議題の提案 役割分担 活動計画案の作成 ・議題を知る ・議題について考えておく。 	休み時間 帰りの会	<ul style="list-style-type: none"> ・「気持ちのよいあいさつ」の実践をもとに、学級全体で取り組むことでもっと広げることができないかはたらきかけ議題化を図る。 ・帰りの会で司会グループが議題「気持ちよいあいさつをもっと広げよう」を全員に図り、議題を決定できるようにする。 ・司会グループと教師で活動計画を作成し、役割を確認 	<ul style="list-style-type: none"> 【関心・意欲・態度】 ・自己決定した「気持ちのよいあいさつ」を実践する中で学級全体の取組を考えようとしている。 〔提案カード・観察〕 【知識・理解】 ・「気持ちのよいあいさつを広げる」ために話し合わなければならぬことを理解

			する。	している。 〔計画委員会活動計画〕
話し合い	本時の展開 参照			
実践活動	・「気持ちのよいあいさつ」のために集団決定した取組を実践する。	休み時間等	<ul style="list-style-type: none"> ・集団決定した取組を行うために係分担を行い、活動が滞ってしまっている係には助言をする。 ・自己決定した「気持ちのよいあいさつ」についても継続して実践できるように声かけをする。 ・係ごとに協力して活動できているか確認し、どの児童にも所属感や自己有用感が得られるような活動になるようにする。 	【関心・意欲・態度】 <ul style="list-style-type: none"> ・「気持ちのよいあいさつ」をするために、集団決定したことを進んで取り組もうとしている。〔観察〕 【思考・判断・実践】 <ul style="list-style-type: none"> ・活動の目的を考え、友達と協力し責任を持って準備したり、実践したりしている。〔観察，振り返りカード〕
振り返り	・学級全体や個人としてよかったこと，改善点などについて話し合い，次の活動に生かす点を明らかにする。	帰りの会	<ul style="list-style-type: none"> ・一人一人が自分の役割を果たすことの大切さを実感させ，集団決定したことを達成できたことを認め，称賛する。 ・今回だけで終わらず，これからも「気持ちのよいあいさつ」をしようとする気持ちを忘れずに，取組ことができるように継続指導する。 	【思考・判断・実践】 <ul style="list-style-type: none"> ・挨拶の大切さを実感し，これからも継続して挨拶をしようとする 〔観察，振り返りカード〕

5 本時の展開

(1) 本時のねらい

気持ちのよい挨拶を広げるために，自分たちができることを考え，協力して取り組む方法を話し合い，実践しようとする。

(2) 児童の活動計画

学びゆう会 かつどう計画		*月*日 (*)*時間目
ぎだい	気持ちのよいあいさつをもっと広げよう	
やくわり	し会 () 黒ばん書記 ()	ふくし会・ていあんしゃ () ノート書記 ()
ていあん りゆう	みんなで「気持ちのよいあいさつ」をがんばっているけれど，学びゆうのみんななどもっと「気持ちのよいあいさつ」を広げたいと思って，ていあんしました。	
めあて	気持ちのよいあいさつをもっと広げるための作せんを考えよう。	
きまって いること	学びゆうみんなのできることで，学校の人みんなに「気持ちのよいあいさつ」をしてもらえるようになってもらうようなこと。ばしょは，教室の前のろうかで行う。	
話し合いの じゅんじょ (時間)	気をつけること	
1 はじめのことば	大きな声ではっきりと言う。	
2 し会グループの しょうかい	・じぶんのめあてを言って，じこしょうかいをする。	
3 ぎだいのかく にん	「気持ちのよいあいさつをもっと広めよう」	
		じゅんび

4 ていあんりゆうやめあてのかくにん	・大きな声でみんなにわかりやすくせつめいする。	・せつめいの紙
5 きまっていることのかくにん	・黒ばんに書いて、わすれないようにする。	
6 話合い		
①学びゆうみんなでどんなことをするか。	・気もちのよいあいさつをひろげるためには、どんなことができるか考えてもらう	・タイマー ・ホワイトボード ・ペン
②どんなかかりがひつようか	・かならず、ぜんいんがかかりに入るように考えてもらう。	
7 きまったことのはっぴょう	・きまったことをみんなできょう力してできるようにおねがいする。	
8 ふりかえり	・じぶんや友だちのよかったところを考えて学びゆう会のよかったところをはっぴょうする。	学びゆう会ノート
9 先生の話		
10 おわりのことば	・気もちのよいあいさつをする。	

(3) 教師の指導計画

話合いの順序	指導上の留意点 望ましい人間関係の形成に向けた支援ポイント	目指す児童の姿と 評価方法
1 始めの言葉		
2 計画委員の自己紹介	・自分のめあてが言えるように事前に指導する。	
3 議題の確認		
4 提案理由やめあての確認	・提案者の思いを学級の全員が理解し、話合いの指針となるように事前に指導する。	
5 決まっていること	・理由を付けて発表できるように助言する。	
6 話合い		
①どんな取組にするか	・「気持ちのよいあいさつをもっと広げよう」という提案理由を意識し、みんなで「気持ちのよいあいさつを広げる」内容を提案できるように助言する。	【思考・判断・実践】 ・提案理由を踏まえて目的に合った内容や工夫、係について考えて発言している。
②どんな係が必要か	・自治的活動の範囲を超えそうなときは、必要に応じて助言する。 ・小グループでの話合いの時間を設け、全員が議題について考えを発表できるようにする。 ・発言者が偏らないように助言するとともに、なかなか発言できない児童や進んで参加できない児童には、個別に助言する。 ・少数意見でも発言の機会を与え、話合いがより深まるようにする。	・友達の見解を参考にして、新たな意見や折衷案を考えて発言している。 [観察・学級活動ノート]
7 決まったことの発表		【知識・理解】 ・話合いの進め方や約束を理解している。 [観察]
8 話合いの振り返り	・よかった点や課題について自己評価するとともに、	

9	先生の話	<p>友達のよかった点などについても相互評価ができるように助言する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・話合いの最後に、話合いの中で頑張ったことを自分のことだけではなく友達のよいところにも目を向け発表することができるようにする。 ・前回の学級活動の話合いよりもよかったところを称賛するとともに、今後の課題を伝える。 ・計画委員へねぎらいの言葉を掛けるとともに、実践への見通しをもたせ、事後の活動への意欲が高まるような言葉掛けをする。
10	終わりの言葉	

6 事後の活動

日時	児童の活動	指導上の留意点	目指す児童の姿と評価方法
*月*日 帰りの会	<ul style="list-style-type: none"> ・決まったことを学級活動コーナーに掲示する。 ・係の役割分担をする。 	<ul style="list-style-type: none"> ・学級会で決まったことを要点をまとめて書けるように計画委員会に助言する。 ・複数名で担当し、協力して活動できるようにする。 	<p>【関心・意欲・態度】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・集団決定したことに進んで取り組もうとしている。 <p>[観察]</p> <p>【思考・判断・実践】</p>
*月*日 から 随時	<ul style="list-style-type: none"> ・係ごとの準備をし、実践する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・協力したり、工夫したりして活動している児童を称賛する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・集団決定したことを友達と協力し責任を持って準備したり、実践したりしている。 <p>[観察・振り返りカード]</p>
帰りの会	<ul style="list-style-type: none"> ・振り返り 	<ul style="list-style-type: none"> ・自分の態度を振り返り、今後の生活づくりに生かせるようにするとともに、友達のよいところについても認められるように助言する。 	

気もちのよいあいさつを もっと広げよう

名前

【2年1組のあいさつもっと広げよううんどう】

今日の学びゆうかつどうの話合いで思ったことを書きましょう。



【ふりかえってみよう】○じぶんのめあてをたっせいできたかな

日にち						
めあて(きめたこと)ができましたか。						

【やってみたかんそうを書きましょう】

題材 気持ちのよいあいさつ

【日常】活動支援案②

〔ねらい〕 集団決定した取組を実践する。友達と仲よく協力して取り組むことができるようにする。集団で取り組むことで所属感や連帯感を高め、自信を持って活動できるようにする。

① 集団決定した取組を確認し、役割分担をする。

グループの中で、自分や友達
が得意なことを生かして役割
分担をするようにする。

グループごとに集団決定した
ことを確認し、実践への意欲を
高める。

目標
を意
識す
る

気持ちのよい挨拶がもっと広がって
学校中につながっていったら、すて
きですね。委員会のお兄さんや
お姉さんとも協力して頑張りま
しょう。

準備物等、必要だと思うものは、教師
が準備しておき、すぐに活動に取り組
めるようにする。

② 集団決定したことをもとに実践する。

はじめに、めあてを確認し意識し
て、グループで協力して挨拶運動を
行うことができるようにする。

友達と挨拶をしながら、よさを認
め合うことができるようにする。

実
践
す
る

グループのみなさんで気持ちのよ
い挨拶ができていますね。気持ち
のよい挨拶には、気持ちのよい
挨拶が返ってきますね。

グループで挨拶運動をするときに、互
いに気持ちよく挨拶できるように支
援する。気持ちのよい挨拶は、どん
な挨拶なのか常に意識して行えるよ
うにさせる。

③ 振り返りを行う。【帰りの会】

めあてを意識して、気持ちのよ
い挨拶をすることができたか振
り返り、振り返りカードに書く。

自分のことだけでなく、挨拶を
したときに気付いた友達のよい
ところも発表する。

振
り
返
る

委員会のお兄さんやお姉さんと
協力したり、他の学年の人にも、
進んで挨拶できたりして、気
持ちのよい挨拶が広がってい
ますね。

集団での取組で得た経験を生かし、異学
年や地域の人にも進んで挨拶するこ
とができるように支援する。

〈凡例〉

目指す児童の姿

望ましい人間関係の形成
に向けた声かけの例

指導上の留意点など

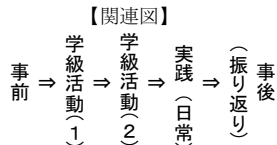
【題材】 かかりのしごと

【関連及び統合】 学級活動（１）イ 学級内の組織づくりや仕事の分担処理
学級活動（２）エ 清掃などの当番活動等の役割と働くことの意義の理解 ウ 望ましい人間関係の形成

【プログラムのねらい】 「楽しく豊かな学級」にするために、係活動の大切さを理解し、創意工夫してみんなと協力して活動することができるようにする。

【プログラムを通して目指す児童の姿】 「楽しく豊かな学級」にするために、みんなで係活動について話し合い、一人一人が役割を理解し、めあてを持って、仲よく助け合って楽しく活動できる。

【これまでの活動】
◎係活動（第1学期）
第1学年で実践してきた係を参考に編成し、活動する。



【関連・統合の意図】
学級活動（１）で今までの係活動の振り返り、楽しく豊かな学級とするために、発意、発想を生かして係活動を再編する。さらに学級活動（２）においてエとウの統合を図ることで、互いのよさを認め合い、仲よく助け合って取り組むことの大切さを理解することができるようにする。

【望ましい人間関係の形成に向けて】
楽しく豊かな学級とするために、係活動を充実することができるようにする。係活動を通して、協力して取り組むことで所属感や自己有用感を高め、仲よく助け合い、よさを認め合える関係が形成できるようにする。

【次の活動へとつなげる】
◎教室をきれいに
清掃において当番活動の役割を理解し、みんなと協力して取り組むことができる。

事前 帰りの会	話し合い活動 学級活動（１）	話し合い活動 学級活動（２）	実践 日常	振り返り 帰りの会
<ul style="list-style-type: none"> ・今までの係活動について振り返り、係について関心を持ち、自分の考えを持ち話し合い活動へつなげるようにする。 ・「楽しく豊かな学級」にするための係を考えることができるようにする。 	<ul style="list-style-type: none"> ・「楽しく豊かな学級」にするために係活動について話し合い、みんなにとってよりよい活動にしようという意欲を持つようにする。 ・様々な意見から、みんなにとってよりよい方法を考えることができる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・学級活動（１）で話し合って決まった自分の係の目標や活動内容を考えるとともに、個人目標も自己決定する。 ・「楽しく豊かな学級」にするための係活動をみんなで仲よく助け合い取り組むことができるように話し合う。 	<ul style="list-style-type: none"> ・係ごとに創意工夫し、「楽しく豊かな学級」にするために活動する。 ・係の目標や個人目標を意識し、仲よく助け合って係活動をする。 	<ul style="list-style-type: none"> ・振り返りを行い、次の活動へとつなげる。 ・互いのよさを認め合い、協力して活動することができる。
<p>【事前調査】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・どのように係活動をしていますか。 ・係活動をするときに、大事だと思うことは何ですか。 ・どんな係があったら、学級が楽しくなると思っていますか。 <p>ペア学級である6年生から、実際に行っている係の内容を教わるなど、係編成の具体的なイメージをもってアンケートに答えられるようにする。</p> <p>【題材を知る】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・題材を知り、自分の考えを持って話し合い活動に臨む。 ・学級活動の話し合いの進め方を確認する。 ・司会団の役割分担をする。 <p>係を編成する際の留意点として司会団と打合せを行う。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・児童が必要な係であること ・継続的に活動できること ・成果が学級に反映されること ・複数で協力し合って活動できること ・創意工夫が生かせること など <p>※アンケート詳細は事前調査参照</p>	<p>1 議題及び提案理由の確認</p> <p>司会団が、学級活動での自分のめあてを意識して進められるようにする。</p> <p>2 【話し合い①】 今までの係活動を振り返り、問題点について話し合う (1) アンケートの結果から (2) 6年生（ペア学級）の取組から</p> <p>楽しいクラスにするためにみんなの発意や発想を生かして係を編成することを理解し、積極的に話し合い活動ができるようにする。</p> <p>【話し合い②】 どんな係が必要か話し合う。</p> <p>小グループでの話し合いで出された意見はグループの記録者がホワイトボードに書き、一人一人の自発的な思いを大切にしようという意識を高めるようにする。</p> <p>【話し合い③】 自分が学級のために頑張れる係を見付け、係を決定する。</p> <p>3 決まったことの発表 4 話し合いの振り返り 5 教師の話</p> <p>※詳細は学級活動（１）学習指導案参照</p>	<p>1 今までの係活動を振り返る。</p> <p>児童の活動を振り返り、協力して取り組んでいたことを称賛し、仲よく助け合って活動することへの意欲付けを図る。さらに、児童がお互いのよさを認め合っている場面も取り上げ、称賛するようにする。</p> <p>2 係ごとに分かれて話し合う。 【話し合い①】 係の目標について 【話し合い②】 活動内容について</p> <p>係の話し合いで出された意見は係ごとの記録者がホワイトボードに書き、一人一人の自発的な思いを大切にしようという意識を高めるようにする。</p> <p>3 係についての個人目標を自己決定する。</p> <p>自分で実践できそうなめあてを考え、創意工夫しながら、継続して活動ができるように確認をする。</p> <p>4 係活動コーナーの掲示物を作成する。</p> <p>※詳細は学級活動（２）学習指導案参照</p>	<p>○係ごとに活動をする。</p> <p>創意工夫しながら仲よく助け合い係活動をしている係を紹介する。</p> <p>児童が創意工夫して、活動に意欲的に取り組むことができるように係活動の時間を確保する。</p> <p>自発的、自立的に取り組んだことでよかったことや改善した方がよいところを考え、次の活動に生かすことができるようにする。</p> <p>係活動発表会を実施する。発表会の場を設けることで、互いの係の頑張りを知る機会となり、他の係の活動のよさを自分たちの係に取り入れていこうとする意欲を高めるようにする。</p> <p>係活動発表会では、リクエストカードやアドバイスカードを用意して、互いの願いを伝え合えるようにする。</p> <p>※詳細は活動支援案参照</p>	<p>○振り返りを行う。</p> <p>自分のめあてについて、ワークシートを用い、振り返りを行う。</p> <p>帰りの会で、自分のことだけでなく、友達のがよかったことについても発表できるようにする。</p> <p>係で話し合いながらで取り組むことで、創意工夫のある係活動となるようにする。係活動自体が「楽しい」活動となるようにすることで、自発的、自立的な活動を助長するようにする。</p> <p>※詳細は振り返りカード参照</p>

【凡例】

人間関係を形成するための支援

自主的、実践的な態度を育てる手立て

指導上の留意点

プログラム 9

かかりのしごと

- 1 議題 かかりのしごとを考えよう
- （1）イ 学級内の組織づくりや仕事の分担処理
- 【関連】（2）エ 清掃などの当番活動等の役割と働くことの意義の理解
- ウ 望ましい人間関係の形成

2 議題について

（1）児童の実態（計26名）

本学級の児童は、1学期は、第1学年の係活動を参考に係を編成し、活動してきた。係の友達と声をかけ合うなど協力して取り組もうとする様子が見られた。しかし、活動内容は当番的な活動を多く含み、児童の発意や発想を生かす活動とはなっていないことがある。また、係活動コーナーには、児童一人一人の取組の様子が分かるように掲示しているため、意欲的に取り組んでいる。しかし、与えられた仕事には取り組むことができるが、自主的な活動は少ないなどの課題がある。

（2）議題選定の理由

楽しく豊かな学級にするために、係が必要であることの意識を高め、児童の発意や発想を生かし、係を再編成する。ペア学級である6年生から係を紹介してもらい、どんな係が必要か、またどんな係があると楽しく豊かな学級になるか話し合い、決定することで、係活動が創意工夫のできる自治的な活動となるように議題を選定した。本議題の話し合い活動を通して、児童一人一人に、創意工夫をしながら楽しく豊かな学級生活を送ろうとする態度を身に付けさせたいと考える。また、学級の一員としてその役割を果たし自己有用感を高めることができるようにしたい。

本議題では、様々な意見があることを知り、自分とは違う意見でも尊重し、折り合いをつける態度を養いたいと考える。多くの意見を聞き、みんなで話し合うことで、活動がより充実し、よりよいものとなっていくことに気付かせたい。また、自治的な活動とすることで児童同士が仲よく助け合って取り組むことができるようにする。

3 評価規準と本議題が目指す児童の姿

観点	集団活動や生活への関心・意欲・態度	集団の一員としての思考・判断・実践	集団活動や生活についての知識・理解
評価規準	自分がやりたいことを見付け、仲よく助け合って、進んで係活動に取り組もうとしている。	学級生活を楽しくするために話し合い、自己の役割や集団としてのよりよい方法などについて考え、判断し、仲良く助け合って実践している。	みんなで学級生活を楽しくすることの大切さや、学級集団としての意見をまとめる話し合い活動の基本的な進め方などについて理解している。
目指す児童の姿	自分のやりたいことを見付け、友達の意見も聞き入れ、係活動がよりよいものになるように進んで取り組もうとしている。	これまでの係の取組方を見直し、活動の仕方を見直し、楽しく豊かな学級とするための活動を仲よく助け合い、創意工夫のあるものとして実践する。	みんなで話し合い、様々な意見のよさを認め合うことで、係活動がよりよいものになることができることを理解している。

4 活動の指導と見直し

	活動内容	いつ	指導・支援	目指す児童の姿と評価方法
話し合いの準備	<ul style="list-style-type: none"> 1学期の係活動を振り返るとともに、楽しく豊かな学級とするために行ってほしい活動などについてアンケートを実施する。 <p>【計画委員会】 議題の提案 役割分担 活動計画案の作成</p> <ul style="list-style-type: none"> 議題を知る 議題について考えておく。 	帰りの会	<ul style="list-style-type: none"> 1学期の係活動を振り返り、帰りの会で司会グループが議題「かかりのしごとを考えよう」を全員に図り、議題を決定できるようにする。 司会グループと教師で活動計画を作成し、役割を確認する。 	<p>【関心・意欲・態度】</p> <ul style="list-style-type: none"> 1学期の係活動を振り返り、問題点を見つけ、改善しようとする <p>[提案カード・観察]</p> <p>【知識・理解】</p> <ul style="list-style-type: none"> 「楽しいクラス」にするための係活動について話し合うことを理解している。 <p>[計画委員会活動計画]</p>
話し合い	本時の展開 参照			
話し合い	<p>学級活動（2） 「かかりのしごと」</p> <ul style="list-style-type: none"> 係ごとに活動のめあてと活動内容を考える。 かかり活動の個人目標を自己決定する。 	学級活動	<ul style="list-style-type: none"> 係ごとに活動のめあてと活動内容を考え、実践できるようにする。 係活動の個人目標を自己決定する。 	<ul style="list-style-type: none"> 自分が実践できそうなことを考え、係活動のめあてを決定している。
実践活動	<ul style="list-style-type: none"> 係ごとに創意工夫しながら活動する。 	休み時間等	<ul style="list-style-type: none"> 「楽しく豊かな学級」にするための係活動を積極的に取り組むようにする。活動が滞ってしまっている係には助言をする。 自己決定した個人目標についても実践できるように声かけをする。 係ごとに協力して活動できているか確認し、どの児童にも所属感や自己有用感が得られるような活動になるようにする。 	<p>【関心・意欲・態度】</p> <ul style="list-style-type: none"> 「楽しく豊かな学級」にするために、集団決定したことや個人目標の達成に向けて進んで取り組もうとしている。 [観察] <p>【思考・判断・実践】</p> <ul style="list-style-type: none"> 活動の目的を考え、友達と協力し責任を持って実践している。 <p>[観察、振り返りカード]</p>
振り返り	<ul style="list-style-type: none"> 学級全体や個人としてよかったこと、改善点などについて話し合い、次の活動に生かす点を明らかにする。 	帰りの会	<ul style="list-style-type: none"> 一人一人が自分の役割を果たすことの大切さを実感させ、集団決定したことを達成できたことを認め、称賛する。 今回だけで終わらず、これからも楽しく豊かな学級とするための係活動をしようとする気持ちを忘れずに、取組ことができるように継続指導する。 	<p>【思考・判断・実践】</p> <ul style="list-style-type: none"> 係活動の大切さを実感し、これからも継続して創意工夫して活動しようとする <p>[観察、振り返りカード]</p>

5 本時の展開

(1) 本時のねらい

「楽しいクラス」にするために係活動について話し合い、みんなにとってよりよい活動にしようという意欲を持つことができる。様々な意見を聞き、みんなにとってよい方法を考えることができる。

(2) 児童の活動計画

学びゅう会 かつどう計画		9月〇日 (〇) 〇時間目
ぎだい	かかりのしごとを考えよう	
やくわり	し会 () 黒ばん書記 ()	ふくし会・ていあんしゃ () ノート書記 ()
ていあんりゆう	「たのしいクラス」にするために、かかりをあたらしく考えたり、かかりでやることをみんなで考えたりしたいと思って、ていあんしました。	
めあて	「たのしいクラス」にするためのかかりのしごとを考えよう。	
きまっていること	学びゅうみんなのできることで、学校の人みんなに「気持ちのよいあいさつ」をしてもらえるようになってもらうようなこと。	
話し合いのじゅんじょ (時間)	気をつけること	じゅんび
1 はじめのことば	・大きな声ではっきりと言う。	
2 し会グループのしょうかい	・じぶんのめあてを言って、じこしょうかいをする。	
3 ぎだいのかくにん	「かかりのしごとを考えよう」	
4 ていあんりゆうやめあてのかくにん	・大きな声でみんなにわかりやすくせつめいする。	・せつめいの紙
5 きまっていることのかくにん	・黒ばんに書いて、わすれないようにする。	
6 話し合い		
①1 学きのかかりかつどうをふりかえって	・アンケートけっかのはっぴょう ・6年生から (6年生のかかり) ・今までのかかりでこまっていることやかえたほうがいいことを考えてはっぴょうしてもらおう。	・タイマー ・ホワイトボード ・ペン
②どんなかかりがひつようか	・「たのしいクラス」にするためにどんなかかりがあるといいかみんなで話し合う。 ・きまったことをみんなできょう力してできるようにおねがいする。	
③かかりをきめる	・ぜんいんが、かかりに入るようにする。 ・じぶんがやりたいかかりをみつけて、えらぶ。同じかかりをきぼうする人が多くなったときは、話し合う。	・ネームマグネット
7 きまったことのはっぴょう	・ノート書記がはっぴょうする。	・学びゅう会ノート
8 ふりかえり	・じぶんや友だちのよかったところを考えてはっぴょうする。	
9 先生の話		
10 おわりのことば	・気持ちのよいあいさつをする。	

(3) 教師の指導計画

話合いの順序	指導上の留意点 ※太字は望ましい人間関係を形成するための支援ポイント	目指す児童の姿と 評価方法
<p>1 始めの言葉</p> <p>2 計画委員の 自己紹介</p> <p>3 議題の確認</p> <p>4 提案理由やめ あての確認</p> <p>5 決まっている こと</p> <p>6 話合い</p> <p>① 1学期の係活 動を振り返っ て</p> <p>② どんな係が必 要か</p> <p>③ 所属する係を 決める</p> <p>7 決まったこと の発表</p> <p>8 話合いの振り 返り</p> <p>9 先生の話</p> <p>10 終わりの言葉</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・自分のめあてが言えるように事前に指導する。 ・提案者の思いを学級の全員が理解し、話合いの指針となるように事前に指導する。 ・理由を付けて発表できるように助言する。 ・1学期の係活動を振り返り、問題点をアンケート結果などから話し合い、反省を生かすことができるようにする。 ・6年生が実際に取り組んでいる係について、司会団から紹介し、参考にできるようにする。 ・「楽しいクラス」にするために係活動が内容を提案できるように助言する。 ・自治的活動の範囲を超えそうなときは、必要に応じて助言する。 ・小グループでの話合いの時間を設け、全員が議題について考えを発表できるようにする。 ・発言者が偏らないように助言するとともに、なかなか発言できない児童や進んで参加できない児童には、個別に助言する。 ・少数意見でも発言の機会を与え、だれもが話し合いに参加できるようにする。 ・自分（自分のグループ）の考えに固執せず、納得した上で考えを変えるなど、折り合いを付けることも必要であることについて助言する。 ・よかった点や課題について自己評価するとともに、友達よかった点などについても相互評価ができるように助言する。 ・自分のことだけではなく友達のよいところにも目を向けることができるようにする。 ・前回の学級活動の話合いよりもよかったところを称賛するとともに、今後の課題を伝える。 ・計画委員へねぎらいの言葉を掛けるとともに、実践への見通しをもたせ、事後の活動への意欲が高まるような言葉掛けをする。 	<p>【思考・判断・実践】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・提案理由を踏まえて目的に合った内容や工夫、係について考えて発言している。 ・友達の意見を参考にし、新たな意見や折衷案を考えて発言している。 <p>[観察・学級活動ノート]</p> <p>【知識・理解】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・話合いの進め方や約束を理解している。 <p>[観察]</p>

6 事後の活動

日 時	児童の活動	指導上の留意点	目指す児童の姿と 評価方法
*月*日 帰りの会	<ul style="list-style-type: none"> ・決まったことを学級活動コーナーに掲示する。 ・学級活動（２）「係の仕事」の司会団の役割分担をする。 	<ul style="list-style-type: none"> ・学級会で決まったことを要点をまとめて書けるように計画委員会に助言する。 ・学級活動（２）の題材を知り、自分の考えを持って話し合い活動ができるようにする。 	<p>【関心・意欲・態度】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・集団決定したことに進んで取り組もうとしている。 <p>[観察]</p> <p>【思考・判断・実践】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・集団決定したことを友達と協力し責任を持って準備したり、実践したりしている。
*月*日 から 随時	<ul style="list-style-type: none"> ・係ごとの準備をし、実践する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・協力したり、工夫したりして活動している児童を称賛する。 	<p>[観察・振り返りカード]</p>
帰りの会	<ul style="list-style-type: none"> ・振り返り 	<ul style="list-style-type: none"> ・自分の態度を振り返り、今後の生活づくりに生かせるようにするとともに、友達のよいところについても認められるように助言する。 	

かかりかつどうにかんするアンケート

2年 組 名前

○かかりかつどうについてしつ問します。しつ問に答えましょう。

1 どのようにかかりかつどうをしていますか。一つ○をつけましょう。

ア じぶんからかかりのしごとを考えてしている。

イ 友だちに声をかけられていっしょにやっている。

ウ かかりかつどうをあまりしていない。

2 かかりかつどうをするときに、だいじだと思うことはなんですか。○をつ

けましょう。○は、いくつつけてもかまいません。

ア わすれずにかつどうする

イ きょう力してかつどうする

ウ 新しいしごとを考える

エ 気をつけていることはない

カ そのほか

3 どんなかかりがあったら、学びゅうが楽しくなると思いますか。あったら

いいと思うかかりを書きましょう。いくつ書いてもかまいません。

かかりのしごとを

考えよう 名前

【1学びのかかり】

かかり

- きゅうしょく くばり お手紙 しゅう会
 いきもの ほけん おてつだい

【2学びのかかり】

かかりになりました！

そのほかのかかりは、↓これです。

今日の学びゆうかつどうの話合いで思ったことを書きましょう。



【かかりのみんなとどんなことやりたいかを書きましょう】

※このつぎの学びゆうかつどうで、話し合います。楽しいアイデア大ぼしゅう！

- 1 題材 かかりのしごと
 (2) エ 清掃などの当番活動等の役割や働くことの意義の理解
 ウ 望ましい人間関係の形成
 (関連) 学級活動 (1) 「かかりのしごとを考えよう」

2 児童の実態と題材設定の理由

本学級の児童は、当番活動などで声をかけ合うなど協力して活動することができている。係活動については、1学期は第1学年で行っていた係活動を参考に取り組んできた。当番的な活動を多く含んでおり、児童の楽しく豊かな学級にするための発意や発想を生かす活動には、なりにくいことがあった。

そこで、係についての話し合い活動を行うことで、今までの経験や反省を生かし、一人一人がめあてをもち、仲よく助け合い、進んで活動できるようにするとともに、自分たちの学級生活を楽しく豊かにするために協働の大切さや自分の役割を考えて働く喜びを感じることができるようになりたいと考え、本題材を設定した。

3 評価規準と本題材が目指す児童の姿

観点	集団活動や生活への 関心・意欲・態度	集団の一員としての 思考・判断・実践	集団活動や生活について 知識・理解
評価規準	楽しく豊かな学級にするために係活動に関心をもち、友達と協力しながら、進んで取り組もうとしている。	楽しく豊かな学級にするために係活動について話し合い、自分に合ったよりよい解決方法などについて考え、判断し、友達と協力しながら実践している。	係活動の役割や協力して取り組む意義や大切さを理解し、そのための基本的な生活や学習の仕方などについて理解している。
目指す児童の姿	楽しく豊かな学級にするために係活動について関心を持ち、自分の発意、発想を生かし、よさを認め合いみんなと協力して取り組もうとしている。	楽しく豊かな学級にするために係活動において、めあてを自己決定しようとする。 係の児童と協力して活動内容を考えながら実践している。	楽しく豊かな学級とするために係活動の大切さが分かり、自分たちの発意、発想を生かしたり、みんなで協力して行ったりする取組方を理解している。

4 活動の指導の見通し

	活動内容	いつ	指導上の留意点・資料	目指す児童の姿・評価方法
事前	<ul style="list-style-type: none"> 題材を知る 係活動に関するアンケート調査を行う 自分の問題について考えておく <ul style="list-style-type: none"> 係について話し合いをすることを知り、話し合いの役割分担を行う。 司会グループは、話し合いの柱立てや役割分担などを教師と打ち合わせを行う。 	帰りの会	<ul style="list-style-type: none"> アンケート調査では、今までの係活動を振り返ることができるようにし、意見を持って学級活動に参加できるように意識付けを行う。 ペア学級の6年生が行っている係活動について6年生から紹介してもらい、参考にできるようにする。 みんなで協力して自信を持って学級活動を運営できるように指導する。 	<ul style="list-style-type: none"> 係活動を振り返り、学級が楽しくなるように協力して行う係活動について考える(関心・意欲・態度) [実態調査] 話し合いの進め方を理解している。(思考・判断・実践) [観察]
話し合い	学級活動 (1) 「かかりをきめよう」 <ul style="list-style-type: none"> 2学期の係を話し合い、決定し、分担を行う。 	学級活動	<ul style="list-style-type: none"> 学級生活を楽しくするための係を考え、分担を行うようする。 	<ul style="list-style-type: none"> 学級が楽しくなるように係を考え、互いのよさを認め、係を分担することができる。(思考・判断・実践) [観察, ワークシート]
話し合い	<ul style="list-style-type: none"> 本時の展開 参照 			

事後	・「かかりかつどうコーナー」を教室に設置し、自分のめあてにそって係活動を行い、1週間後振り返りを行う。	・「かかりかつどうカード」に実践したことや友達がんばっていることを記録することを伝える。 ・帰りの会の中で全員が発表できるように伝える。	・自分で決めたことについて努力している。 ・友達の係活動でよいところを見つけることができる。 (思考・判断・実践) [観察・かかりかつどうカード]
----	---	---	--

5 本時の展開

(1) 本時のねらい

学級活動(1)で決まった自分の係について協力して係の目標や活動内容を考えるとともに、楽しくて豊かな学級とするための係についてのめあてを自己決定することができる。

(2) 本時の展開

	児童の活動	指導上の留意点 望ましい人間関係の形成に向けた支援ポイント	資料	目指す児童の姿と 評価方法
つかむ	1 今までの係活動を振り返る。 ○アンケート結果をから気付いたことを話し合う。 2 問題点は何かを考え発表する。	<ul style="list-style-type: none"> ・1学期までの係活動について振り返り、楽しく豊かな学級にするための活動になっていたかを考えることができるようにする。 ・アンケートの結果発表は司会団の児童とともに行う。 ・困っていることや大変なことが何かを確認させ、それを改善するためにはどうしたらいいか考える話し合いだということを意識させるようにする。 ・自分たちの係だけでなく他の係のことでも考えたことがあれば、提案できることを知らせる。 	・アンケートの結果	<ul style="list-style-type: none"> ・自分の係について関心をもっている。(関心・意欲・態度) [観察・アンケート] ・楽しく豊かな学級とするための係活動の意義を理解している。(知識・理解) [観察]
さぐる 見つける	3 係ごとに分かれて話し合う。 4 話し合うことを確認する。 5 [話し合い①] それぞれの係で目標について話し合い、決定する。 [話し合い②] 係ごとに活動内容を考え、発表する。	<ul style="list-style-type: none"> ・係ごとに分かれて話し合いを進めることで、実践につながる話し合いになるようにする。 ・話し合うことを黒板に書き出し、話し合いを可視化する。 ・グループ全員が自分の意見を言えるように司会者が進行するようにする。 ・具体的に提案ができるように支援する。 ・始めにグループで話し合い、解決する方法を考える。その後、グループの発表者が、意見を発表することで、学級全員が話し合いに積極的に参画できるようにする。 ・自分の係でなくても、楽しく豊かな学級づくりのための発想したことがあれば、提案できることを 	・ワークシート ・ホワイトボード	<ul style="list-style-type: none"> ・どんな活動がいいか自分の意見を出しながら話し合っている。(思考・判断・実践) [観察]

決める	5 自分で実践しようと思うことを「かかりかつどうカード」に書く。	知らせる。 <ul style="list-style-type: none"> ・具体的にどんなめあてを持って係活動をするのか分かるようにカードに書くことができるようにする。 ・なかなか書き出せない児童には、板書したものや友達の考えを参考にするように助言する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・かかりかつどうカード (個人) 	<ul style="list-style-type: none"> ・自分が実践できそうなことを考え、係活動のめあてを決定している。 (思考・判断・実践) [発表・カード]
	6 自己決定したことや係の目標を意識して係活動コーナーの掲示物を作成する。	<ul style="list-style-type: none"> ・友達のめあても確認することで、協力して取り組むことを意識できるようにし、掲示物を作成するようにする。 	<ul style="list-style-type: none"> ・かかりかつどうカード (掲示用) 	

(3) 事後指導

- ・ 1週間自己決定したことを実践し、係活動に取り組んだときの気持ちや、友達のよいところなどを「かかりかつどうカード」に記録するように伝える。
- ・ 帰りの会で、実践していることを学級全体に発表することを伝える。

かかりのしごと

名前

今日の学びゆうかつどうの話合いで思ったことを書きましょう。

【かかりのめあて】

かかり

【じぶんのめあて】

【ふりかえってみよう】○じぶんのめあてをたっせいできたかな

日にち						
めあて(きめたこと)ができましたか。						

【やってみたかんそうを書きましょう】



【係活動】活動支援案

〔ねらい〕 係ごとに創意工夫をするなどして「楽しいクラス」にするために活動する。係の目標や個人目標を意識し、仲よく助け合って係活動をする。

① 係ごとの目標や自己決定した各自のめあてを確認し、実践する。

教室に係活動コーナーを設置し、係や個人のめあてを意識して進んで実践しようとする。

目標カードに書かれているめあてを意識して友達も取り組んでいるか確認できるようにする。

目標を意識する

「楽しいクラス」にするためには、係活動は大切ですね。活動するときに、係のみんなが楽しくできることも大切ですね。

創意工夫をするなどして、児童の自発的、自治的な活動となるようにする。活動目標を意識して取り組めるように教室に係活動コーナーを設置する。

② 係活動発表会をする。

係活動発表会で、いろいろな係の頑張っていることを知り、よいところを自分の係にも生かそうとすることができる。

他の係にリクエストやアドバイスをを行い、互いの願いを伝え合う。(リクエストカード、アドバイスカードに記入)

実践する

〇〇係は、みんなで協力して活動していますね。楽しみながら係活動ができて素敵です。工夫がたくさんあっていつも楽しみにしています。アドバイスしてあげるのもいいですね。

朝の会や帰りの会で、係活動発表会を行う。互いを尊重し、よさを認め合える会となるようにする。

③ 振り返りを行う。【帰りの会】

めあてを意識して、協力して係活動をすることができたか振り返り、振り返りカードに書く。

自分のことだけでなく、係活動をしたときに気付いた友達のよいところも発表しようとする。

振り返る

みなさんが係活動を協力して行っているので、*年*組がとても楽しいクラスになってきていますね。続けられるよう頑張りましょう。

児童が所属感や自己有用感を高めることができるように声かけなどをし、自主的、実践的な活動を助長できるようにする。

〈凡例〉

目指す児童の姿

望ましい人間関係の形成に向けた声かけの例

指導上の留意点など

かかりさんへ

リクエストします

アドバイスします



やってほしいことがあるとき.....リクエストします
こうするともっとうまくできるかも.....アドバイスします
どちらかをえらんで○でかこみましょう。

名前

より